

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針1 市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ 施策1 誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	誰でもピアノ	文化振興課		令和6年5月6日（月） ほか9回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	1階エントランスにあるYAMAHAグランドピアノ（C3）を一般開放し、誰でも無料で弾ける体験型事業。誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供及び市民の文化芸術活動意欲の向上を目的として実施。	一般（どなたでも演奏可）	236人	市報	実施日：令和6年5月6日、5月7日～5月10日、6月22日（土）～6月25日（火）（全9回） 1階エントランスにあるYAMAHAグランドピアノ（C3）を一般開放し、誰でも無料で弾ける体験型事業を実施。	心身の健康	ピアノを無料開放することにより、誰もが文化芸術活動の発表・鑑賞できる場を提供し、多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、市民の活力向上に寄与した。	他の利用者からピアノの音がうるさいという意見をいただいたため、次年度からはカフェが一番混雑する時間帯である12時～14時は休憩時間とし、カフェ利用者に配慮した実施形態で実施する予定である。 ・事業実施後に誰でもピアノの実施回数を増やしてほしいという要望を多数いただいたため、次年度からはメインホールの貸館予約がキャンセルされた枠などを活用し、一般の貸館利用に影響しない範囲で、実施回数を出来るだけ増やしていくことを検討している。 ・事業を実施するにあたり、主に当館情報誌、ホームページ等を活用していたが、今年度からは、SNSを活用したPRを積極的に行った結果、1万を超える閲覧があった。今後も発信力のある媒体を活用し、より多くの市民に文化芸術情報が届くように市の内外に向け情報発信を継続する。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
2	高齢者大学	高齢者支援課	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	令和6年6月19日（水）ほか16回	老人福祉センター・住吉老人福祉センター	高齢者の生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かにするとともに、生き生きとした高齢者社会の実現を目指します。	市内に居住する60歳以上の高齢者	397人	市報	事業は、西東京市社会福祉協議会への委託事業として実施している。令和6年度のテーマを生活、芸能、考古学、歴史、動物、福祉、健康、防災、音楽、国際、演芸と設定し各テーマに講師を招聘し、1時間45分の講義を実施している。	心身の健康	健康をテーマとした講座では、ヨガインストラクターによる健康的な体づくりを行った。	・定員30人に対し78人の応募があり、受講いただけない方が多数出ている。会場の定員を増やすなど一定の改善を図った。 ・応募者は、毎年度リピーターが多く、仲間同士で応募する例が散見され、受講決定に苦慮しているが、新規応募の方を優先とするなど、受講機会の均等化に努めている。
			ホームページ										
3	ひろばであそぼう	子ども家庭課	1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり	令和6年4月28日（日）ほか11回	のどか広場（6回）、ピッコロ広場（6回）	すべての子育て家庭がゆとりを持って子育てできるよう、家族で参加できる日曜日の時間帯に申込不要のイベントを開催する。	子育てひろばを利用する親子	609人	ホームページ	開催当日、親子で簡易な工作などを実施する。	地域への愛着	季節を感じるテーマで事業内容を企画し、親子で参加してもらうことにより、地域への愛着向上に寄与した。	より安全に楽しめるよう、工作の内容を工夫した。
			チラシ										
			各広場窓口										

4	ルピナスまつり	子ども家庭課	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	令和6年10月6日(日)	住吉会館ルピナス	あらゆる世代の交流と活動拠点を目的としている住吉会館ルピナスを会場としたおまつりを行うことで、世代の枠を超えた地域のつながりが生まれ、子ども達にとってより安心・安全な場所になることを目的とし実施する。	西東京市民(主に住吉小学校区にお住いの方、住吉会館を利用のあらゆる世代の方)	1,127 人	市報	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会方式で企画・運営を行う。(主催：西東京市青少年育成会わかば) ・実行委員会に参加の各団体は、緑日や体験型のブース形式による出し物を行う。 ・中学校・高校生・大学生のボランティア活動の場とする。 ・ルピナスまつり参加者に、住吉会館内にある「のどか広場」「ひいらぎ」「バリテ」「ほっとルーム」の持つ機能を周知するため、作品展示及びパンフレット、チラシを設置する。 	地域への愛着	おまつりを通じて、世代や立場を超えた交流の場が生まれた。日頃あまり接点のない住民同士が協力し合ったことで「顔の見える関係性」が築かれ、地域に対する安心感と親しみが増し地域への愛着向上に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施しており、そのアンケート結果から見えてきた市民ニーズを踏まえ、ベビーカー置き場や駐輪場等、参加者がより立ち寄りやすく安心して楽しんでもらえるよう計画する。 ・高齢者の参加者を増やすため、老人福祉センターに高齢者に向けたチラシを配架した。(チラシは青少年育成会わかば作成による)
			2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実										
5	男女平等参画関連事業	協働コミュニケーション課	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	令和6年6月20日(木)ほか8回	住吉会館ほか	固定的性別役割分担意識の解消等に向けて男女平等参画に関する情報提供を行い、市民意識の醸成を図る。	市内在住・在勤・在学の市民など	124 人	市報	<ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間講演会：令和6年6月20日、10人(会場)、409回(アーカイブ配信) ②女性に対する暴力をなくす運動期間講演会：令和6年11月11日から令和7年3月31日まで、476回(アーカイブ配信) ③FIRE父さんが子どもに贈りたい言葉～限りある人生、どのように生きていくべきか～：令和6年4月20日、22人(ライブ配信) ④カンタン！かわいい！癒しのハーバリウム～好きなお花、好きな色で世界に一つだけのハーバリウムを作ろう！～：令和6年6月5日、16人 ⑤女性がこれから更年期に向けて気をつけるべき生活習慣・セルフケア～更年期を一緒に考えよう！～：令和6年7月6日、10人 ⑥それって“男性更年期”？～明日からできる対策を知ろう～：令和6年7月10日から令和7年3月31日、2,401回(オンデマンド配信) ⑦ママとパパにきいてほしい「思春期」とは！？～子どもとの関わりのヒントにしよう～：令和6年10月16日、14人 ⑧赤ちゃんと一緒に、話そう、遊ぼう！初めてのママのプログラム～マザースタート・プログラム～：令和6年10月17日、31日、11月7日、21日、延べ19人 ⑨やりたい事を見つけて自分らしく生きる秘訣：令和7年3月12日、42人(会場)、79人(ライブ配信視聴者数) 	共生社会の実現	対面だけでなくオンラインで実施することで、平日含めて時間を取りづらい市民に参加機会を提供した。	市のYouTubeチャンネルやオンライン講座を実施することで、参加しやすい環境づくりに努めた。また、より興味をひく講座内容で開催することで、参加者数の増加に努める。
			ホームぺージ										
			SNS										
6	公民館における文化芸術事業	公民館	1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり	令和6年6月17日(水)ほか	各公民館	様々な世代を対象に文化芸術に触れる機会を創出するため、音楽会、映画会、講座などの主催事業を実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	846 人	ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ①ムービールーム柳沢(柳沢公民館) 令和6年6月17日(水)～令和7年3月19日(金10回)延べ499人 ②サロンコンサート(芝久保公民館) 令和6年8月25日38人、12月15日 39人 ③谷戸公民館40th Anniversary Concert(谷戸公民館) 令和3月20日 120人 ④保谷駅前バンドをやる発表会(保谷駅前公民館) 令和7年3月9日 150人 	心身の健康	多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動が心の栄養となって、市民の活力向上につながっているため。	観客として鑑賞するだけでなく、参加者同士でコミュニケーションの取れる工夫などを行い、さらなる事業の充実を図る。
			SNS										
			チラシ										
			公民館だより										
以下再掲													
1	東京都・西東京市芸術文化連携事業	文化振興課		令和7年3月26日(水)	タクトホームこもれびGRAFAREホール	第3期文化芸術振興計画の基本方針1(市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ)で掲げる施策を実現するため、東京都と連携しワークショップ及びコンサートを実施した。	①ワークショップ：市内在住の小学生から高校生まで②コンサート：市内外問わず誰でも参加可能	定員：①40②200 実績：①11②45 応募：①12②147	市報 ホームページ SNS チラシ 外部委員会への周知	①ワークショップ「みんなで楽器チャレンジ2025」公募した市内の子どもを対象とし、楽器演奏のワークショップを実施 ②コンサート「みんなで手づくりコンサートin西東京2025」誰でも参加できる管楽器を中心としたコンサートを実施し、ワークショップの参加者がコンサートにもゲスト出演し、ワークショップの成果を披露	共生社会の実現	ワークショップとコンサートを実施することで、幅広い市民を対象とし、市民の誰もが親しめる鑑賞機会を提供することで、多様な価値や個性、表現や考え方に会うことにつながり、共生社会の実現に寄与した。	子ども向けのワークショップだけでなく、成果発表のコンサートを実施することで、幅広い世代が文化芸術を身近に楽しむ機会につなげることができた。より幅広い市民が文化芸術を楽しむ機会を創出するため、効果的な文化芸術情報の提供が課題として挙げられる。これまで行ってきた事業と同様の広報手段に加え、東京都による広報、外部委員会への周知等を実施したが、引き続き広報手段の検討を行う必要がある。

2	「対話による美術鑑賞」事業	文化振興課		令和6年5月20日(月)ほか14回	西東京市立小学校対象校 ほか	第3期文化芸術振興計画に基づいた複数の施策の推進するため、市民ボランティア(以下「アートみーる」という。)を活用した「対話による美術鑑賞」事業を市内小学校や市内のイベント等を活用して実施し、①子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり、②誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供、③文化芸術活動を支える市民ボランティア育成と活用を目的とする。	小学校4年生、その他事業内容のとおり	-	<p>【小学校における事業】 専門的な研修を受けたアートみーるが小学校に出向いて、児童と対話をしながら美術鑑賞を行う。実施校のうち1校では、学校の授業と併せて美術館訪問授業を実施する。また、小学校における事業の実施を担うコーディネーターを養成するため、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。</p> <p>(1)実施校 田無小学校、保谷小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、谷戸小学校、東伏見小学校、中原小学校、向台小学校、碧山小学校、住吉小学校(事前授業2回、美術館訪問を実施) 計10校</p> <p>(2)対象児童 4年生</p> <p>(3)実施内容 少人数ワーク(アートカードの鑑賞)、少人数VTS(ポスター作品の鑑賞)</p> <p>【地域活動】 美術館を持たない西東京市で気軽に美術鑑賞ができるように、市内のイベント等を活用して、地域活動を実施する。また、地域活動を実施するために必要な企画・運営に関しては、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。</p> <p>(1)～おしゃべりアート鑑賞会～ みーる・みーる・みーる お気に入りをおさがそう 実施日:令和6年7月20日(土) 場 所:栄小学校体育館 体験者:12人 内 容:アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS</p> <p>(2)アートみーる対話型鑑賞ワークショップ(青空ギャラリー アートでおしゃべり つながりを探そう!) 実施日:令和6年10月27日(日) 場 所:ひばりテラス118隣接けやき公園内 体験者:87人 内 容:アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS</p> <p>(3)多摩5美術展「対話による美術鑑賞」事業体験会 実施日:令和6年11月24日(日) 場 所:南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」 体験者:12人 内 容:グループ鑑賞</p>	地域への愛着	市内路上にある美術作品や市内のイベント等を活用して、地域で気軽に美術鑑賞ができる機会の提供に寄与したため。	<p>【課題解消に向けた工夫】 ・小学校での事業実施について、先生の負担軽減のため、打ち合わせの時間短縮を心掛けるよう市民ボランティアと調整した。</p> <p>【課題】 ・年度内での全校実施に向けた、市民ボランティアの育成と人材の確保 ・練馬区立美術館の改修工事による、美術館訪問の実施場所の検討・調整</p>
3	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課(保谷こもれびホール指定管理者)		令和6年5月26日(日)ほか23回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、音楽、演劇、伝統芸能、映画、ショー等のさまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	子ども～シニア	8,954人	<p>市報</p> <p>①こもれびふらり寄席:令和6年5月26日～令和7年1月9日(全4回)、261人 ②森山良子コンサートツアー My Story : 令和6年6月5日、616人 ③西東京市民名画座:令和6年7月6日～令和7年3月15日(1日2回上映、全4回)、2751人 ④柳田理科雄 サイエンスショー:令和6年8月11日、417人 ⑤和太鼓 東京打撃団:令和6年9月14日、280人 ⑥こもれび笑実ステージ「春風亭一之輔と華麗な仲間たち」:令和6年9月30日、578人 ⑦舞台「裸足で散歩」:令和6年10月13日、464人 ⑧こもれび狂言会 野村万作・萬斎「狂言の世界」:令和6年11月15日、本公演:363人、講座20人 ※「狂言をもっと楽しむための『狂言師による狂言講座』」を本公演に先駆け、令和6年10月6日に実施。</p> <p>⑨ビューティーこくぷXよよちゃん 歌まねジョイントコンサート in こもれびホール:令和6年11月17日、523人 ⑩JUN SKY WALKER(S) 2days Live トゥギャザーしようぜ! 1日目:アコギな奴らの聖なる夜、2日目:ロックン! ホーリーナイト:令和6年12月21、22日、791人(延べ人数) ⑪フレッシュ名曲キャンペーンコンサート「佐川渚和ピアノリサイタル」:令和7年1月19日、157人 ⑫ピバ! 中南米音楽祭:令和7年2月8日、191人 ⑬フレッシュ名曲コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団「新世界より」:令和7年2月16日、606人 ⑭しまじろうコンサート「しまじろうとわくわくドーナツフェスティバル」:令和7年3月8日(1日2回公演)、1319人(延べ人数)</p> <p>友の会DM、市内掲示板、地域情報誌、地元ラジオ局</p>	共生社会の実現	年齢や障害の有無等に捉われず、幅広い市民を対象とし、市民の誰もが親しめる鑑賞機会を提供することで、多様な価値観や個性、表現や考え方に合うことにつながり、共生社会の実現に寄与した。	<p>・公演ごとにアンケートを実施しており、そのアンケート結果から見えてきた市民ニーズを踏まえ、より多くの市民のニーズに応える事業を展開していく。事前講座付き公演やキャンペーンコンサート付き公演等、様々な手法を取り入れながら、タクトホームこもれびGRAFAREホールならではの公演を実施し、一人でも多くの市民が文化芸術に触れ、体験することができるように、さらなる機会の充実を図る。</p> <p>・事業を実施するにあたり、情報紙やホームページ、SNS等を活用しているが、こもれびホールチャンネルや地域メディア、PR親善大使等、発信力のある媒体やアーティストを活用し、より多くの市民等に文化芸術情報が行き届くように市の内外に向け情報発信を行っていく。</p> <p>・今後の課題として、「子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり」は当館のミッションの1つである。子ども向け及び親子向けの音楽、演劇、伝統芸能など多彩な公演ラインナップを充実していく。</p>

4	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）	令和7年3月2日(日)ほか	西東京市民文化プラザ	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、さまざまな公演を通して、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	-	1,510 人	SNS	【おきがるラテンコンサート】令和7年3月2日(日)文化芸術に市民が気軽に触れることのできる無料の公演。全2回公演とし、様々な打楽器による演奏で、小さなお子様をお連れの方も含め誰もが音楽に親しむ機会を提供する。 【施設見学会】令和6年12月5日(木)～9日(月)市内文化芸術団体の演奏・演技(12/8のみ)、市民団体の作品展示、市職員による機能紹介(プロジェクターで西東京市PR映像放映)、「ONE FOR ALL西東京」が出来るまでの履歴を展示 【施設竣工式】令和6年12月7日(土)式辞・来賓紹介・祝辞・感謝状贈呈・祝賀会	地域への愛着	地域で多くの方が文化芸術に触れる機会を提供したことにより、地域への愛着向上につながった。	「おきがるラテンコンサート」では、午前(1回目)の公演で、子どもにとって「スピーカーの音が大きい」との指摘があったため、2回目の公演では小さな子供連れの方はスピーカーからなるべく離れた席をご案内した。当館初の本格的な音楽イベントとなり機材関連のセッティングに時間を要するなど対応にも追われた部分があったため、今後の開催に向けた課題とした。
								チラシ				
5	市民の文化・芸術活動の奨励・普及に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	令和6年4月14日(日)ほか36回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	幅広い年齢を対象としたワークショップ、講座、教室や市民参加型公演や体験型事業等さまざまなイベントを通して、市民が新しい文化芸術に触れる機会を創出することや市民に発表の場を提供することを目的に実施する。	-	1,792 人	市報	①こもれびこどもアートカフェ：令和6年4月14日～令和7年1月26日(全10回)、182人 ②だれでもチャレンジライブ：令和6年5月19日、98人 ③メインホール開放事業 おいでよ！こもれびホール：令和6年6月22、23日、7月27、28日(全4回)、51人 ④東京打撃団 和楽器体験ワークショップ 叩く！楽しむ！汗をかく！：令和6年7月13日、28人 ⑤こもれびこどもコンシェルジュ：①令和6年8月14日公開、②令和7年1月31日公開、3人(延べ人数) ⑥西東京市ゆかりのアーティストコンサート ウインドアンサンブル和のインクルーシブコンサート：令和6年8月18日、92人 ⑦こどものためのオペラ創作プログラム：令和6年8月31日～令和6年9月28日(全5回)、119人 ⑧こどものためのオペラ創作プログラム発表会：令和6年9月29日、73人 ⑨親子食育教室 ①野菜と仲良くなるう教室、②野菜パウダーでアイシングクッキーを作ろう：①令和6年11月27日、②令和7年2月15日、53人 ⑩クラシック音楽鑑賞講座：令和7年1月25日、2月24日、3月23日(全3回)、116人 ⑪音楽健康講座：令和7年2月4日、2月11日(全2回)、40人 ⑫リーディング体験講座：令和7年3月1日、3月2日、3月9日(全3回)、46人 ⑬ミュージカル入門「歌って踊って楽しもう！」：令和7年3月22日、20人	共生社会の実現	西東京市ゆかりのアーティストコンサートではインクルーシブコンサートと題し、視覚に障がいを持った方でも振動と光で音楽を体験できるデバイス「SOUND HUG」の導入や舞台モニターでMC内容・演奏曲目をリアルタイム表示する文字同時通訳、車椅子・ベビーカーでの来場に制限を設けないように客席内をフルフラット仕様にするなど、障がいのあるなしに関わらず文化芸術を享受できる環境を整えることにより、共生社会の実現に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は既存の情報紙やホームページによるPRに加え、SNSやYouTubeといった媒体によるPRを強化した結果、昨年度よりも参加者が大幅に増加した事業が複数あった。これからも各事業の魅力をより多くの市民に伝えるため、多角的なPRを心掛けていきたい。 ・8月に実施したインクルーシブコンサートでは、アートカウンシル東京による「東京芸術文化鑑賞サポート助成事業」に採択され、SOUND HUG・文字同時通訳についての負担は全額助成された。 ・今後の課題として「特定のターゲット層の広報手段や繋がり強化」が挙げられる。障害者施設、養護学校、支援学校などの他、民間の放課後等デイサービスや福祉施設など、障がい者サポートのある公演を実施する際には公演を直接お伝えできるよう地域との繋がりを強化していきたい。 ・来場者から事業時の会場案内が分かりにくいというご指摘があったため、外看板及び幟旗を新設し、事業当日のPRを強化し、より多くの市民に来場いただくことで当館の賑わいの創出に繋がってほしい。
								ホームページ				
								SNS				
								チラシ				
								市内掲示板				
6	市民の文化・芸術活動の奨励・普及に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）	令和6年12月15日(日)ほか	西東京市民文化プラザ	幅広い年齢を対象としたワークショップ、講座、教室や市民参加型公演や体験型事業等さまざまなイベントを通して、市民が新しい文化芸術に触れる機会を創出することや市民に発表の場を提供することを目的に実施する。	-	66 人	ホームページ	【シットピクス体験ワークショップ】令和6年12月15日(日)身体が不自由な方や高齢者も気軽に参加できるシットピクストレーニング(着座体験)を発案者の白井氏をインストラクターとして招いて実施。 【チョークアート体験講座】令和7年1月19日(日)日常で触れる機会の少ないテーマで市民の「やってみよう」を喚起する講座として「チョークアート」を実施。持ち帰り用キット付きの講座で、体験に加え成果物を持ち帰りたい。 【桂伸衛門の落語道場】令和7年2月2日(日)見習い、前座、2つ目までのエッセンスを伝授。挨拶の仕方から始まり、見習い全員が通る師匠の着物の脱がせ方・畳み方、てぬぐい・扇子の使い方、小断など盛りだくさんの内容を参加者に解説・体験いただいた。	地域への愛着	西東京市民文化プラザにて様々な事業を実施し、幅広い方に参加していただいたことにより、地域への愛着向上につながった。	<ul style="list-style-type: none"> ・当初開催予定日としていた2月に市の事業が入ったため講師と調整し12月に実施したが、広報期間が極端に短くなってしまい、最終的には13名の参加者に留まった。来年度はスケジュールに余裕をもたせて進められるようにする。 ・参加者からの要望として「講座の対象年齢の指定・明確化」「付き添い・見学の保護者の着席場所」などについてご意見をいただいたため、次年度以降の開催時の検討事項とする。 ・落語を開催する備品の準備が不十分でしたので、市と相談して今後も落語をテーマにした事業を実施できるように備品を充実することにした。
								SNS				
								チラシ				
7	くらしの情報の発行	文化振興課	令和6年4月5日(土)ほか11回	-	外国籍市民への情報提供を目的とし、市報から記事を抜粋し、翻訳(英語・中国語・韓国語・やさしい日本語併記)した「くらしの情報」を毎月1回市ホームページに掲載。	-	-	ホームページ	市報から記事を抜粋し、翻訳(英語・中国語・韓国語・やさしい日本語併記)した「くらしの情報」を毎月1回市ホームページに掲載。	共生社会の実現	英語・中国語・韓国語・やさしい日本語の4言語で情報発信することで、外国籍市民へ文化芸術鑑賞機会を提供した。	より多くの人に見てもらえるよう、チラシや市HPで広報を行った。
								チラシ				

8	こもれびインフォメーションの発行	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和6年4月1日（月）ほか5回	西東京市内全域	タクトホームこもれびGRAFAREホールで毎月開催されるイベント内容告知のため、市内全域に配布される市報に挟み込み西東京市民に対して効率的に周知する。 配布日：令和6年4月1日、6月1日、8月1日、10月1日、12月1日、令和7年2月1日	西東京市民	-	市報	西東京市全戸に配布される市報に「こもれびインフォメーション」を挟み込むことにより、会館情報を市民に対して公平に周知する。年6回偶数月に定期的に発行することにより、各催事の応募期間を十分に確保し、より多くの市民に鑑賞の機会を提供する。	地域への愛着	イベント後のアンケート調査では、各回満足度が高く類似イベントの再演を望む声が多く、保谷こもれびホールの認知拡大と来場促進に寄与した。	発行当初より紙質や紙の大きさに対して改善要求の声があったが、紙のサイズを一回り大きくしレイアウトも横から縦に変更することにより、掲載情報量も増えた。掲載情報もイベント開催時期から十分な告知期間をとることに より、1つの公演に対して複数回の告知ができるようになった。
9	文ブラ情報局の発行	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）		令和6年12月1日（日）	西東京市民文化プラザ	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を発刊、市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの下地を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行う。	大人・子ども	-	市報 ホームページ SNS チラシ	情報誌は「文ブラ 2024年冬号」を発行。10万部印刷し、西東京市報への折込を実施したことにより主催事業の告知に繋がり、内覧会の約1,300名来場に寄与した。年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。またInstagramの反応が良くフォロワーは350を超え、現在も増加中。自主事業開催を「インスタを見て知った」とのアンケート回答者数も増えている。	地域への愛着	今年度は情報誌の作成や各種SNSの立ち上げなどを実施。施設利用者や近隣の団体・施設等との関係性を構築し、PR情報発信の下地を整えることができたため。	今後は市内各所の文化芸術関連施設にチラシの配架など積極的にPRをしていきたい。
10	市民文化祭	文化振興課		令和6年9月19日（木）～11月4日（月・休）	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	日頃の文化活動の成果を発表し、市民の文化活動の向上及び相互交流する機会を提供することを目的とし、市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場にて実施した。	参加者（個人）：市内在住・在勤・在学、参加団体：市内で活動しており、会員の半数以上が市内在住・在勤・在学の方で構成された団体	13,689人	市報 ホームページ SNS チラシ アスタビジョン	【西東京市民文化祭】令和6年10月14日（月・祝）～11月4日（月・休） 市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場にて実施した。 ・参加団体：18部（151団体） ・参加者数：2,154名 ・来場者数：9,977名（会場来場者数6,950名、ライブ配信視聴者数3,027名） 【西東京市民文化祭PR inアスタ】令和6年9月19日（木）～22日（日） 市民文化祭をより多くの市民に周知するため、アスタセンターコートにおいて、市民文化祭の概要等を紹介したパネル展示及びステージ発表を実施した。 来場者数：1,002名 【西東京市民文化祭オープニングイベント】10月14日（月・祝） 西東京市民文化祭を紹介するために、実施期間初日に、西東京市民文化祭に参加する一部団体による演目や、ポスターや総合プログラムに掲載した優秀作品に対して、表彰式を実施した。 来場者数：484名（会場来場者274名、ライブ配信視聴者数210名） 【「日本の文化体験フェス」 in 市民文化祭】10月20日（日）～11月3日（日） 市民文化祭に参加している日本の文化に知識の深い市民または市民団体を講師として、体験会を実施した。 ・応募者数：延べ162名 ・参加者数：延べ72名	心身の健康	市内6会場での実施に加え、関連事業の開催により、多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となって、市民の活力向上に寄与した。	西東京市民文化祭及び関連事業について、周知方法の検討が課題として挙げられている。令和6年度は、アスタビジョンへの動画放映、西東京市公式LINEにおける「市民文化祭つうしん」の運用等新たな周知方法を検討・実施し、来場者の増加につながった。引き続き、効果的な周知ができるよう検討する。
11	市民まつり	文化振興課		令和6年11月9日（土）・10日（日）	西東京いこいの森公園	西東京市民まつりは、市の伝統、風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働により、人と人とのつながりをより大切にしたいまつりを目指すことを目的とする。	制限なし	97,000人	市報 ホームページ SNS チラシ	テーマ みんなでつくる市民まつり 共催 西東京市民まつり実行委員会、西東京市 開催日時 令和6年11月9日（土）午前10時から午後4時まで 令和6年11月10日（日）午前9時から午後3時30分まで 会場 西東京いこいの森公園 来場者数 令和6年11月9日（土） 50,000人 令和6年11月10日（日） 47,000人 2日間合計97,000人	地域への愛着	野外ステージやパフォーマンスストリートでのダンスや和太鼓等の出演者を募集し、発表機会の提供、来場者への鑑賞の機会の提供に寄与したため。	「課題解消に向けた工夫」 ・西東京市民まつりオリジナルグッズを販売し、実施資源の確保に取り組んだ。 ・環境学習の機会等として、環境フェスティバルを同時開催環境アワードの表彰式を野外ステージで実施、環境に配慮した容器等を使用し、プラスチックごみを削減、市民まつりで排出されるごみの削減を目指した。 ・子どもがより楽しめるように子どもゾーンの出店者をより子ども向けの出店となるよう募集をかけた。 「今後の課題」 ・重要行政課題にも挙げている、市民まつり実行委員会との役割分担について、持続可能な市民まつりの実施体制の構築を検討していく。 →商工会との連携、若い世代の実行委員会への参加、財源の確保等 ・事務負担の軽減 →紙資料の削減、電子申込フォームの利用等

12	伝統文化親子教室事業への支援	文化振興課		令和7年11月23日 (金)ほか4日	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	市内の親子が伝統文化に親しむきっかけとなるよう西東京市親子体験教室事業実行委員会が事業を実施しており、西東京市が文化庁への補助金申請等を支援している。	小学1年生～高校3年生と保護者	定員： 270 実績： 306 応募： 306	人	チラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・11月23日(土)J.COMコールド田無：琴体験、和装着付け ・日本舞踊体験 ・11月24日(日)J.COMコールド田無：日本かつら・舞台化粧・和装体験、日本舞踊体験 ・12月22日(日)J.COMコールド田無：華道体験、茶道体験 ・1月11日(土)タクトホームこもれびGRAFAREホール：古典芸能である日本舞踊の舞台を体験 	心身の健康	子どもたちが様々な伝統文化を体験することでの豊かな心や感性、創造性をはくむことにつながり、市民の活力向上に寄与した。	例年多くの方に参加していただいているが、さらに多くの方に参加していただくため、広報支援等を継続して実施していく。
13	多摩六都フェアパラアート制作ワークショップ及びパラアート展覧会	文化振興課		8月24日(土)ほか30日	障害者総合支援センター「フレンドリー」ほか	<p>【事業概要】多摩北部都市広域行政圏協議会(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)(以下「圏域5市」という。)の市民の内、在住・在学している中学生以上18歳以下で、障害のある方を対象として希望者を募集し、専門講師のもとでオリエンテーションを含む講習会を行い、パラアートを制作し、作品完成後に、圏域5市を順番に回り、展覧会を実施する。</p> <p>作品の展覧会については、圏域5市に在住・在勤・在学している障害のある方からも広く募集し、展示する。また、展覧会にて展示した作品の中から表彰する作品を選考し、表彰式を開催する。</p> <p>【目的】障害の有無にかかわらず、文化芸術に触れ、創造する環境づくりを促進するため、圏域市民が相互に交流しながら作品の制作や展覧会の実施などに取り組み、多摩北部地域の振興を図ることを目的とする。</p>	<p>①圏域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)に在住・在学の中学生以上18歳以下で、障害のある方</p> <p>②圏域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)に在住・在勤・在学で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、または発達障害、難病などがある方</p> <p>③パラアート制作ワークショップ受講生、パラアート展覧会優秀作品受賞者</p>	定員： ①10 ②③なし 実績： ①10 ②722 ③45 応募： ①10 ②③なし	人	市報 ホームページ SNS チラシ 圏域4市ホームページ	<p>①パラアート制作ワークショップ：8月24日(土)～9月14日(土)の土曜日4回、障害者総合支援センター「フレンドリー」</p> <p>②パラアート展覧会：10月16日(水)～12月8日(日)の27日間、清瀬市郷土博物館、東久留米市立東部地域センター、小平市中央公民館、東村山市立中央公民館、J.COMコールド田無</p> <p>③表彰式：12月8日(日)、J.COMコールド田無</p>	共生社会の実現	障害の有無に関わらず、誰もが文化芸術に親しめるよう圏域5市の障害のある方を対象に本事業を実施することで、共生社会の実現に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・パラアート制作ワークショップ受講生の申込者数が定員と同数であるなど、さらに効果的な広報が必要であるため、チラシ等の配布先や市ホームページ・SNSの掲載方法等について検討していく。 ・パラアート制作ワークショップパラアート展覧会・表彰式の実施内容については、これまでの実施内容を振り返り、新たな内容を盛り込んでいく等見直す必要があるため、委託事業者から意見をもらいながら検討していく。
14	都市間交流事業	文化振興課		令和7年3月20日 (木・祝)	オンライン (Zoom)	西東京市の参加者の北杜市への興味・関心を高め、都市間の交流の発展に寄与することを目的に西東京市の友好都市である山梨県北杜市とともにワークショップを実施した。	市内在住・在勤・在学の小学1年生以上	定員： 20 実績： 21 応募： 428	人	市報 ホームページ SNS チラシ	北杜市から産出される水晶(石英)を用いて、オンライン(Zoom)で水晶アクセサリー(ネックレス)を作る。	心身の健康	コンサートや参加型講演等、さまざまな手法での公演を通じて、多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となっており、市民の活力向上に寄与した。	姉妹都市・友好都市と交流事業を実施するにあたり、限られた特産等を用いて実施しなければならないため、内容の検討に課題がある。庁内各課長が集って行う西東京市都市間交流検討会議の場等を活用し、魅力的な事業になるよう内容を検討する。

15	多摩5美術展	文化振興課		令和6年11月23日(土)から29日(金)まで	西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」	①圏域5市を代表する著名な画家の作品を、圏域住民に鑑賞いただくことにより、市域を越えた芸術家及び市民の交流を図るとともに、圏域内における文化芸術の普及と還元を図る。 ②キットバスを活用した文化芸術事業を通じて、市民の誰もが身近に文化芸術に親しめるよう鑑賞・体験機会の充実を図るとともに、圏域5市の広域的交流を促進し、文化芸術の更なる振興を図る。 ③圏域5市で活動する作家の方たちが描いた作品を選び、同じ地域の鑑賞者(圏域5市の市民)と対話型鑑賞をして作品を身近に感じてもらいながら他者との見え方の違いに気づけたり、様々な意見を肯定的に受け入れることで新たな発見をするような体験をしてもらう。アートみーるのことも知ってもらえる機会となる。	①小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の美術家 ②圏域5市(西東京市、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市)に在住、在学、在勤の小学4年生以上の方 ③多摩5美術展来場者	定員： ①③なし ②15 実績： ①936 ②9 ③12 応募： ①③なし ②15	市報 ホームページ SNS チラシ	①多摩5美術展 ②多摩5美術展ワークショップ「キットバスを使って会場のガラスを彩ろう！」 ③「対話による美術鑑賞」事業体験会	心身の健康	多摩5美術展だけでなく、関連事業としてワークショップ等を実施したことにより、多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となって、市民の活力向上に寄与した。	新たな出品者や来場者を取り込むことが課題として挙がっているため、関連事業を実施することで、新たな出品者や来場者の掘り起こしにつながった。
16	食育推進事業	健康課		原画展実施期間：令和6年12月10日から令和7年1月10日	防災・保谷保健福祉総合センター	野菜たっぷりカレンダーの作成・野菜たっぷりカレンダーイラスト原画展の実施を通して園児・児童へ食育推進を行う。	公立保育園児・公立小学校児童	320人	市報 ホームページ チラシ	保育園児及び小学生から「やさしい」をテーマとしたイラストを募集し、入選作品12点を掲載した野菜たっぷりカレンダーを作成した。また応募作品320点の中から一次選者を通過した78点に関して、防災・保谷保健福祉総合センター4階にて「野菜たっぷりカレンダーイラスト原画展」を行った。	地域への愛着	応募作品の中から一次選者を通過した78点に関して、たっぷりイラスト原画展を行うことで、誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供ができた。イラスト原画展は市内で行い、地域への愛着向上に寄与した。	今後も継続して保育園及び小学校と連携し、食育を進める。
17	児童館・児童センターにおける文化芸術事業	児童青少年課		毎月複数回実施	各児童館・児童センター	子どもを対象とした季節事業を実施し、多様な児童の参加や交流を図る。	子ども	-	ホームページ 児童館だより	・子どもを対象とした季節事業 ・児童館・児童センターでの工作やスポーツイベント ・児童館・児童センターにおける折り紙や造形・読み聞かせ等行事等 ※毎月様々なイベントを各児童館・児童センターで実施のため、参加者数は様々。	共生社会の実現	多様な子どもたちが一緒に同じ空間を楽しむことで、互いを理解し、違いを尊重しながら共に過ごす経験を育むことにつながったため。	興味関心の異なる子どもたちへの対応が課題であり、多様な企画等を実施した。
18	中学・高校生年代イベントプロジェクト	児童青少年課		令和7年2月9日(日)	タクトホームこもれびGRAFAREホール	・イベントの運営や実施を通して中学・高校生年代の交流の場を設定する。 ・中学・高校生年代に対して、発表の場を通じた様々な体験をする機会を提供する。 ・中高校生の興味関心のあるプロフェッショナルとのコラボレーションを図る。	市内および近隣に在住、在学、在勤の高校生	定員： 30 実績： 28 応募： 28	チラシ 各高等学校へ協力依頼	高校生スタッフによる、イベントの企画から運営までの実践 中学・高校生年代による、特技や技術の発表 高校生スタッフが選んだ講師によるゲスト出演	共生社会の実現	互いを理解し合う土壌が育ち、他者への配慮や多様性の尊重を学んだため。	情報発信を強化し、学校・地域と連携して参加促進を図った。 振り返り機会の設置により、活動の質と継続性を高めた。
19	スポーツ関連事業	スポーツ振興課		①令和6年4月28日(日)ほか10回 ②-1令和6年5月11日(土) ②-2令和7年1月5日(日) ③令和6年12月8日(日)	①スポーツセンター、きらっと ②-1武蔵砂川駅→玉川上水緑道→残堀川歩道→昭和記念公園 ②-2鶯谷駅→下谷七福神(神社、寺等)→東盛公園 ③J.COM コール田無	①ENJOYニュースポーツ：老若男女、障害の有無に関わらず、レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目までスポーツが体験できる機会を提供し、参加者の交流、健康増進を目的とする。 ②ウォーキング事業：ウォーキングを通して、参加者同士の交流を図りながら、市民の健康と体力づくりを目的とする。 ③多摩六都フェアパラアート展覧会でのスポーツ体験：会場に来られた方にスポーツ(モルック)を体験してもらいスポーツへの理解促進と普及啓発を目的とする。	①市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ②市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ③来場者などなたでも	①360人 ②-1：20人 ②-2：58人 ③16人	市報 ホームページ チラシ	①②③の事業は、いずれも様々なスポーツ・運動を定期的に実施することで、参加者との交流を図りつつ、健康づくりやスポーツを実施する機会をつくる。	共生社会の実現	年齢や障害の有無に関わらず、幅広い市民を対象とし、パラアート展覧会においてもチラシの配布や市報等でご案内するなど、生涯スポーツの推進を目指してスポーツの理解促進及び普及啓発に努めている。一方で、事業に参加される方々が同じ傾向にあるため、これまで事業に参加されたことがない方でも参加しやすく楽しめる事業を検討する必要がある。あわせて多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法についても検討する必要がある。	各種事業については、継続的に参加してもらおうよう、スポーツ推進委員や体育協会等と連携を図り内容を検討して事業を実施している。また、参加された事業だけではなく、他の事業についてもチラシの配布や市報等でご案内するなど、生涯スポーツの推進を目指してスポーツの理解促進及び普及啓発に努めている。一方で、事業に参加される方々が同じ傾向にあるため、これまで事業に参加されたことがない方でも参加しやすく楽しめる事業を検討する必要がある。あわせて多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法についても検討する必要がある。

20	平和事業	協働コミュニティー課		令和6年4月12日(金)ほか6回	アスタセンターコートほか	市民の参加と協力のもと、「非核・平和をすすめる西東京市民の会」とともに平和事業を実施する。「西東京市平和の日」事業等を実施し、市民に対して非核・平和の意義の普及と平和意識の高揚を図る。	市内在住・在勤・在学の市民など	2,048人	市報	①西東京市平和の日(4/12 500人) ②広島平和の旅(8/5~8/6 5人) ③非核・平和パネル展(8/7~8/9 300人) ④ピースウォーク(10/27 21人) ⑤平和映画会(3/20 300人)	共生社会の実現	歌や絵画、映像作品を通じた平和学習の展示や映画会を実施したほか、ピースウォークで、丸木美術館を訪問し、原爆の図の絵画等の鑑賞を行ったため。	各種事業において文化・芸術を活用した講座や事業を実施できた。平和を継承していくために、子どもや若者などの若い世代に対して関心を持ってもらえる事業に取り組んでいる。今後も引き続き、文化・芸術も活用しながら、若い世代を巻き込んだ平和推進の取り組みを進めていく。
									ホームページ				
									SNS				
									チラシ				
									市内掲示板				
21	公民館まつり	公民館		令和6年11月11日(水)ほか	各公民館	公民館を利用して活動する団体の活動成果発表の場、地域住民や参加団体の交流の場、日ごろ公民館を利用しない市民に公民館に関心を持ち、足を運んでもらう機会とするため各公民館で公民館祭まつりを実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	6,581人	ホームページ	①ヤギフェスVol.13(柳沢公民館)令和6年11月11日(水)~11月24日 2,025人 ②田無公民館ロビーまつり(田無公民館)令和6年7月14日 860人 ③第41回芝久保公民館まつり(芝久保公民館)令和6年10月26日、27日 926人 ④谷戸まつり(谷戸公民館)令和6年4月27日、28日 1,489人 ⑤第16回ひばりが丘フェスティバル(ひばりが丘公民館)令和7年3月2日 552人 ⑥第15回駅前フェスタ2024(保谷駅前公民館)令和6年10月19日、20日 729人	地域への愛着	乳幼児から大人まで参加可能なおまつりとして定着しており、リピーターも多く地域への愛着向上に寄与しているため。	実行委員会の世代循環が課題。新たなまつり参加者や担い手等の人材発掘のため広報や呼びかけを強化し、事業の継続とさらなる充実を図る。
									SNS				
									チラシ				
									公民館だより				
22	児童館・児童センターだよりの発行	児童青少年課		毎月実施	各児童館・児童センター	児童館・児童センターが実施する行事や講座、文化芸術の紹介を発信し、地域の子育て世代や関係機関に広く情報を届ける。	-	-	ホームページ	月1回または季節ごとに「児童館・児童センターだより」を発行	地域への愛着	文化芸術に触れる機会が身近な日常に溶け込むことで、特別なものではなく、日常の中で楽しめるものとなり、地域に対する親しみが醸成される。	HPIにおいても公開し、より広い層へのリーチを実現。レイアウトを分かりやすく見やすい構成へと改善。
									児童館だより				
23	自治会・町内会等への支援(自治会・町内会等活性化補助金)	協働コミュニティー課		令和6年8月2日(金)ほか12回	市内各所	自治会・町内会等の活性化及び良好な地域社会の維持、形成を目的として、自治会・町内会等がより良い地域社会実現のために行う事業に対して補助金の交付を行うもの。	市内自治会・町内会・マンション管理組合	-	チラシ	補助事業のうち、文化芸術に関するものの抜粋 ①地域交流活性化づくりの夏まつり：令和6年8月2~5日 約900人 ②秋の文化祭：令和6年9月28日、11月16日 381人 ③納涼盆踊り大会：令和6年8月24日 300人 ④多文化交流会：令和6年7月28日 25人 ⑤夏祭り：令和6年8月24日 78人 ⑥ヴィーガータン夏祭り：令和6年7月28日 923人 ⑦歌芝居「あなたの扉を開けて」上映：令和6年11月2日 41人 ⑧落語を楽しむ会：令和6年10月20日 30人 ⑨新春コンサート：令和7年3月2日 37人 ⑩早春のつどい：令和7年2月24日 180人 ⑪七夕まつり：令和6年7月1~7日及び11日 150人 ⑫七夕短冊飾りイベント：令和6年7月6日 94人 ⑬荒屋敷こどもまつり：令和6年7月20日 800人	地域への愛着	誰もが気軽に参加できる地域イベントを開催することで、子どもから大人まで世代を問わず、同じ地域文化の体験を共有することができる。また、地域イベントをきっかけに住民同士の交流が生まれ、地元への愛着を育てていくことに繋がる。	自治会・町内会等活性化補助金は、地域の伝統文化や様々な芸術鑑賞の機会の提供等、地域活動を支える大切な仕組みであるが、自治会等の会員の減少、役員の高齢化などにより、担い手の負担が増えている。市では、活性化補助金の地域連携部門を創設するなど、自治会等とそのほかの地域団体が連携して、地域の活動を担える仕組みづくりに取り組んでいる。
									ポスター				
									回覧板				
									掲示板等				
24	地域介護予防活動支援事業	高齢者支援課		月1回以上	北町コミュニティーセンターほか	街中いこいなサロンは、住民の方々が運営している”誰でも気軽に参加できる”集いの場である。サロン活動では、住民の方々が工夫を凝らしながら、様々な活動を提供している。	-	13,068人	チラシ	住民による自主的活動であるため、活動場所や運営についても住民主体で実施している集いの場である。サロン活動で、子どもから高齢者まで誰でも参加できる。46の団体(令和6年4月現在)により、茶話会、健康体操、傾聴、囲碁、将棋、麻雀、俳句など様々である。月に1回以上の開催が補助金交付の条件であるが、中には補助金を受けず、完全な自主運営の団体もある。参加費は無料が基本であるが、茶菓等の実費負担の団体もある。	心身の健康	サロンの中には、映画鑑賞や音楽等の文化芸術活動を主体とする団体があり、参加者の心身の健康の向上に繋がっている。	・住民による自主活動であり、その運営内容に行政が関与することなく補助金についても活動を支える文具、通信運搬費等となっている。補助金の交付を受けず、完全に自主運営による団体もあることから、本事業の目指すべき方向としては、補助金を要せず実施できる仕組みに成熟させていく。

25	図書館縁講演会	図書館		令和6年8月18日 (日) ほか1回	①谷戸公民館 ②田無公民館	地域に関連した講演会を行うことにより、地域への愛着や理解を深める機会を創設する。	①小学生以上だれでも ②年齢制限なし	①26 ②45 人	市報 ホームページ SNS チラシ 「たまろくナビ」ホームページ掲載	①西東京市図書館子どものための地域を知る講演会「刀・鉄砲と農民たちの幕末ー150年前の田無・保谷ー」 講師：行田健晃氏 令和6年8月18日(日) ②「地形と地図を読む-ハザードマップへの応用-」 講師：原芳生氏 令和6年12月14日(土)	地域への愛着	開催場所や時期を検討することにより、参加率を上げる試みをし、興味のある市内の情報にアクセス出来るようにしたこと、地域への愛着向上へ寄与した。	毎年度、各部署に広報物等の資料について、移管を依頼しているものの、依頼する時期、方法によっては対応されないこともあり、各部署における広報物や計画書などは市の資料として保存する必要があることを理解されていないことが間々あることから、依頼方法や時期などを変更するなどの対策を行った。加えて、各部署や機関に対し、個別の問い合わせや交渉をすることで、移管に至っている。また、市全体としてのペーパーレス化により、各部署の情報がインターネット(市ホームページ等)掲載のみになっているケースが散見されるため、今後の収集方法について、担当部署や機関と相談・交渉の上、検討していく必要がある。
26	下保谷四丁目特別緑地保全地区活用事業	みどり公園課		令和6年4月4日(金) ほか27回	下保谷四丁目特別緑地保全地区	春(桜)、夏(緑陰)、秋(紅葉)等のイベントを実施し、より多くの方に屋敷林という特徴を持っている下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全活用へ関心を持ってもらう。また、イベントや自然文化体験をした来場者がより「日常的な場所」として利用する習慣を醸成するために、定期的な一般開放を行う。	市内在住・在勤・在学の市民など	2,211 人	市報 ホームページ SNS チラシ	①一般開放(月2回) 917人 ②深緑のイベント 令和6年6月23日 80名 ③秋のイベント 令和6年9月23日 179名 ④冬のイベント 令和6年12月8日 366名 ⑤春のイベント 令和7年3月30日 669名	地域への愛着	イベントを通して、屋敷林という地域の自然文化に触れたり体験することによって地域への愛着が育まれている。	下保谷四丁目特別緑地保全地区を安心して活用するには、建物の整備や植物の適切な維持管理が必要になる。当該地区の保全活用計画をより具体的に実践するための方針を定める「保全活用ガイドライン」を令和6年度に策定した。ガイドラインに沿って保全活用を行っていく。
27	文化財普及事業	地域学習推進課		令和6年4月19日ほか 4回	郷土資料室ほか	文化財の保存・活用を推進し、文化財の魅力を発信により、地域活性化や文化振興に貢献。 市が主催・共催となって文化財を活用するほか、石仏など、文化財の所有者に管理をお願いしつつ、市民に公開していただくことで文化財を確実に保存し、広く普及することが目的。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	①名勝小金井サクラ「桜樹接種碑」解説会 R6.4/19 ②下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活 R6.4/20~11/24 ③土器と生け花 R6. 11/20~11/24 ④秋の屋敷林企画 保谷のアイ R6. 11/3 ⑤”和紙わらべ人形”で伝えたい 昭和の子どものくらし R7. 1/30~3/16 ⑥市指定文化財36件を所有者・管理者に管理を依頼しており、管理報告書の確認と謝金の支払い。 また、新たに指定文化財のパトロールを開始した。 ⑦劣化石造物の3D撮影による記録保存。	地域への愛着	文化財に関する講座や講演会、イベントや展示会を行うことで、地域で文化財に接する機会を提供できた。	文化財の保存・継承に関しては、所有者・保持者の高齢化、無形文化財の後継者の不足が課題となっている。活用事業の充実などを通して、価値と魅力を広く周知することが大切であるため、サクラの解説会や、生け花を絡めた展示などを行っている。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針1 市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ 施策2 子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	東京都・西東京市芸術文化連携事業	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和7年3月26日 (水)	タクトホームこもれびGRAFAREホール	市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、東京都と連携しワークショップ及びコンサートを実施した。	①ワークショップ：市内在住の小学生から高校生まで ②コンサート：市内外問わず誰でも参加可能	定員： ①40 ②200 実績： ①11 ②45 応募： ①12 ②147	市報	①ワークショップ「みんなで楽器チャレンジ2025」公募した市内の子どもの対象とし、楽器演奏のワークショップを実施 ②コンサート「みんなで手づくりコンサートin西東京2025」誰でも参加できる管楽器を中心としたコンサートを実施し、ワークショップの参加者がコンサートにもゲスト出演し、ワークショップの成果を披露	心身の健康	ワークショップやコンサートを実施することで、多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となって、市民の活力向上に寄与した。	子ども向けのワークショップだけでなく、成果発表のコンサートを実施することで、幅広い世代が文化芸術を身近に楽しむ機会につなげることができた。より幅広い市民が文化芸術を楽しむ機会を創出するため、効果的な文化芸術情報の提供が課題として挙げられる。これまで行ってきた事業と同様の広報手段に加え、東京都による広報、外部委員会への周知等を実施したが、引き続き広報手段の検討を行う必要がある。
			ホームページ										
			SNS チラシ 外部委員会への周知										
			1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実										
			1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供										
2	「対話による美術鑑賞」事業	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年5月20日 (月) ほか 14回	西東京市立小学校対象校 ほか	第3期文化芸術振興計画に基づいた複数の施策の推進するため、市民ボランティア（以下「アートみーる」という。）を活用した「対話による美術鑑賞」事業を市内小学校や市内のイベント等を活用して実施し、①子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり、②誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供、③文化芸術活動を支える市民ボランティア育成と活用を目的とする。	小学校4年生、その他事業内容のとおり	-	【小学校における事業】 専門的な研修を受けたアートみーるが小学校に出向いて、児童と対話しながら美術鑑賞を行う。実施校のうち1校では、学校の授業と併せて美術館訪問授業を実施する。また、小学校における事業の実施を担うコーディネーターを養成するため、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。 (1)実施校 田無小学校、保谷小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、谷戸小学校、東伏見小学校、中原小学校、向台小学校、碧山小学校、住吉小学校（事前授業2回、美術館訪問を実施） 計10校 (2)対象児童 4年生 (3)実施内容 少人数ワーク（アートカードの鑑賞）、少人数VTS（ポスター作品の鑑賞） 【地域活動】 美術館を持たない西東京市で気軽に美術鑑賞ができるように、市内のイベント等を活用して、地域活動を実施する。また、地域活動を実施するために必要な企画・運営に関しては、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。 (1)～おしゃべりアート鑑賞会～ みーる・みーる・みーる お気に入りをおさがそう 実施日：令和6年7月20日（土） 場 所：栄小学校体育館 体験者：12人 内 容：アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS (2)アートみーる対話型鑑賞ワークショップ（青空ギャラリー アートでおしゃべり つながりを探そう！） 実施日：令和6年10月27日（日） 場 所：ひばりテラス118隣接けやき公園内 体験者：87人 内 容：アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS (3)多摩5美術展「対話による美術鑑賞」事業体験会 実施日：令和6年11月24日（日） 場 所：南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」 体験者：12人 内 容：グループ鑑賞	心身の健康	小学校における事業の実施や美術館訪問の実施を通して、子どもが気軽に美術鑑賞ができる機会を作り、感性を高め、豊かな情操を養うとともに観察力、思考力、コミュニケーション能力の向上に寄与したため。	【課題解消に向けた工夫】 ・小学校での事業実施について、先生の負担軽減のため、打ち合わせの時間短縮を心掛けるよう市民ボランティアと調整した。 【課題】 ・年度内での全校実施に向けた、市民ボランティアの育成と人材の確保 ・練馬区立美術館の改修工事による、美術館訪問の実施場所の検討・調整	

3	学校へのアウトリーチ事業	文化振興課 (保谷こもれび指定管理者)	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	令和6年7月16日 (火) ほか7回	西東京市内 小学校7校	若年層が文化芸術に触れる機会をつくることを目的に、西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、アウトリーチ公演を行う。	田無小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、碧山小学校、栄小学校、東小学校、本町小学校、住吉小学校、けやき小学校	871 人	各対象校に連絡し、事業主旨を説明	西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、体育館、音楽室を会場にアウトリーチ公演を行う。学校側には事前に複数組アーティスト候補を提示し、学校側に選定いただいた。市内小学校全18校を2グループに分け、1年に9校ずつ順に巡回する。昨年度9校巡回、今年度は残り9校を実施する予定であったが、田無小学校、栄小学校の2校については学校の都合により実施が見送りとなった。	心身の健康	子どもたちが触れる機会の少ない本格的なクラシック音楽等を身近な場所である学校で生音で聴いてもらうことで、豊かな感受性の育成に寄与した。	昨年度の反省も踏まえ、年度当初から各学校に調整を行った結果、7校へのアーティスト派遣は調整が付いたが、残りの2校については学校の都合により実施が見送りとなった。担当課である文化振興課と協議した結果、未実施の2校に関しては、次年度予定の中学校を2校繰り上げて実施することとなり、各中学校に打診してみたが、調整が付かず、実施には至らなかった。実施した小学校の担当者に学校行事のスケジュールを伺ったところ、例年3月までに次年度のスケジュールが決定するサイクルのため、次年度は3月までに各学校へ周知を完了する予定である。また、学校の動き方改革により、年間の授業のコマ数が削減された関係で、アウトリーチなどに割けるコマが少なくなったということも確認できた。今後も地元で活躍するアーティストを学校に派遣することで、地域の人的資源の活用、人材育成に寄与していきたい。
			2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実										
4	食育推進事業	健康課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	原画展実施期間： 令和6年12月10日から 令和7年1月10日	防災・保谷保健福祉総合センター	野菜たっぷりカレンダーの作成・野菜たっぷりカレンダーイラスト原画展の実施を通して園児・児童へ食育推進を行う。	公立保育園児・公立小学校児童	320 人	市報	保育園児及び小学生から「やさい」をテーマとしたイラストを募集し、入選作品12点を掲載した野菜たっぷりカレンダーを作成した。また応募作品320点の中から一次選考を通過した78点に関して、防災・保谷保健福祉総合センター4階にて「野菜たっぷりカレンダーイラスト原画展」を行った。	地域の活性化	「やさい」をテーマとしたイラストを募集することで、園児や児童が文化芸術に出会うきっかけづくりができた。応募作品がカレンダーになり、地域に掲示されることで野菜摂取の意識付けとなって、地域の活性化につながった。	今後も継続して保育園及び小学校と連携し、食育を進める。
			ホームページ										
			チラシ										
5	保育園合同観劇	幼児教育・保育課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年10月29日 (火) ほか 2回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	(1) 西東京市認可保育園の5歳児が集い、友だちと同じ経験を共有し共感し合う心を育てる。 (2) 舞台観劇を通して豊かな感性を育てる。 (3) 公共の場でのマナーを知り、身につける。	西東京市認可保育園の5歳児	659 人	対象園宛てに開催通知を送付	劇団：劇団 風の子 演目：「とんからり」 令和6年10月29日(火) 11園 園児178名 引率者36名 計214名 令和6年10月30日(水) 11園 園児201名 引率者31名 計232名 令和6年10月31日(木) 9園 園児186名 引率者27名 計213名	心身の健康	コンサートや参加型講演等、さまざまな手法での講演を通じて、多くの子どもが文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となって、子どもたちの活力向上に寄与した。	後方の座席であったり、手すりがない園児の視線に被ったりすると舞台上の動きが分かりづらかったため、今年度は全体的に観劇しやすい座席になるよう配慮し、より楽しむことができた。今後も引き続き、公演ごとにアンケートを実施し、その結果から見えてきたニーズを踏まえ、解説付きの公演やワークショップ等様々な手法を取り入れながら、より多くの子どもが文化芸術に触れ体験することができるように、さらなる機会の充実を図る。
6	児童館・児童センターにおける文化芸術事業	児童青少年課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	毎月複数回実施	各児童館・児童センター	子どもを対象とした季節事業を実施し、多様な児童の参加や交流を図る。	子ども	-	ホームページ	子どもを対象とした季節事業 ・児童館・児童センターでの工作やスポーツイベント ・児童館・児童センターにおける折り紙や造形・読み聞かせ等行事等 ※毎月様々なイベントを各児童館・児童センターで実施のため、参加者数は様々。	心身の健康	子どもにとって感性を刺激し、表現力を育む機会となった。また、ストレス発散や自己肯定感の向上にも繋がりが、心の安定や健やかな発育を支えることで、心身のバランスが整う機会となったため。	興味関心の異なる子どもたちへの対応が課題であり、多様な企画等を実施した。
			児童館だより										
7	中学・高校生年代イベントプロジェクト	児童青少年課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和7年2月9日(日)	タクトホームこもれびGRAFAREホール	・イベントの運営や実施を通して中学・高校生年代の交流の場を設定する。 ・中学・高校生年代に対して、発表の場を通し様々な体験をする機会を提供する。 ・中高生年代の興味関心のあるプロフェッショナルとのコラボレーションを図る。	市内および近隣に在住、在学、在勤の高校生	定員：30 実績：28 応募：28	チラシ	高校生スタッフによる、イベントの企画から運営までの実践 中学・高校生年代による、特技や技術の発表 高校生スタッフが選んだ講師によるゲスト出演	地域の活性化	若い世代が地域で活動する姿が住民の関心を引き、地域全体の文化的活力を高め、文化芸術を通じたつながりが参加意識の向上につながった。	情報発信を強化し、学校・地域と連携して参加促進を図った。振り返り機会の設置により、活動の質と継続性を高めた。
			各高等学校へ協力依頼										

8	学校における文化芸術事業	教育指導課	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	-	市内各学校等	小中学校において展覧会、学芸会、音楽会、合唱コンクール等を実施する。児童・生徒の豊かな感性を磨くための学芸的行事等を実施する。	西東京市立学校児童・生徒	-		小中学校における展覧会、学芸会、音楽会、合唱コンクール等校内学芸的行事の実施、その他学芸的行事の実施 ※参加者数については集計していないため、空欄となっています。	心身の健康	規模や方法は変更しても文化的行事実施のねらいを達成できるような工夫をして実施できた。地域・保護者等に十分な鑑賞する機会が持てたことについては、可能な限り実施することができた。	社会の状況に応じた行事の在り方について検討、改善をすともに行事の意義を考え、計画を作成するよう指導していく。子どもたちの実態に応じた内容を今後も検討していく。
9	まちなか先生	地域学習推進課	3-1文化資源の継承・活用・発掘によるまちづくりの推進 3-3関係機関・他分野と結び付けた文化芸術活動の促進	令和6年9月12日ほか12回	市内各学校	学芸員、司書、公民館を拠点とする団体などが「まちなか先生」として、学校の授業やイベントに協力している。地域全体で子どもたちの成長をサポートし、学校を核とした地域づくりを目的とする。	西東京市立小中学校の児童・生徒	-	市内各校に直接連絡	①「したのやいせき」のどんぐりアート：R6. 10/17・11/6・11/28 3校 ②やってみよう！考えよう！縄文時代と下野谷遺跡：R6. 11/22 1校 ③民具に触れて 昔のくらしを考える：R6. 9/12・11/13・12/4・R7. 1/14・2/21 5校 ④縄文のムラ 下野谷遺跡を知ろう！：R6. 11/15・12/23・R7. 1/21・2/14 4校 合計13校（重複含む）	地域への愛着	市内にある国史跡下野谷遺跡の土器や地域でかつて使われていた民具などを題材とした授業を行うことで、子どもたち自身が地域の文化を身近なものと感じるきっかけとなり、地域への愛着につながった。	・児童・生徒の学習ニーズに合った柔軟な対応が可能となるよう内容を充実させることを目指し、講座ごとに従来以上に丁寧に学校と連絡調整を図りながら、計画的な実施を進めた。また、講師となる地域人材の発掘や養成が引き続き課題である。

以下再掲

1	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和6年5月26日（日）ほか23回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、音楽、演劇、伝統芸能、映画、ショー等のさまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	子ども～シニア	8,954人	市報 ホームページ SNS チラシ 友の会DM、市内掲示板、地域情報誌、地元ラジオ局	①こもれびふらり寄席：令和6年5月26日～令和7年1月9日（全4回）、261人 ②森山良子コンサートツアー My Story：令和6年6月5日、616人 ③西東京市民名画座：令和6年7月6日～令和7年3月15日（1日2回上映、全4回）、2751人 ④柳田理科雄 サイエンスショー：令和6年8月11日、417人 ⑤和太鼓 東京打撃団：令和6年9月14日、280人 ⑥こもれび笑笑ステージ「春風亭一之輔と華麗な仲間たち」：令和6年9月30日、578人 ⑦舞台「裸足で散歩」：令和6年10月13日、464人 ⑧こもれび狂言会 野村万作・萬斎「狂言の世界」：令和6年11月15日、本公演：363人、講座20人 ※「狂言をもっと楽しむための『狂言師による狂言講座』」を本公演に先駆け、令和6年10月6日に実施。 ⑨ビューティーこくふ×よよちゃん 歌まねジョイントコンサート in こもれびホール：令和6年11月17日、523人 ⑩JUN SKY WALKER(S) 2days Live トゥギャザーしようぜ！ 1日目:アコギな奴らの聖なる夜、2日目:ロックン！ホーリーナイト：令和6年12月21、22日、791人（延べ人数） ⑪フレッシュ名曲キャンペーンコンサート「佐川渚和ピアノリサイタル」：令和7年1月19日、157人 ⑫ビバ！中商米音楽祭：令和7年2月8日、191人 ⑬フレッシュ名曲コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団「新世界より」：令和7年2月16日、606人 ⑭しまじろうコンサート「しまじろうとわくわくドーナツフェスティバル」：令和7年3月8日（1日2回公演）、1319人（延べ人数）	地域への愛着	しまじろうコンサートや柳田理科雄 サイエンスショーのように子ども対象や親子対象とした公演を実施することで、多くの子どもが参加し、地域で文化芸術に触れ、体験し、文化芸術を身近に楽しむ機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。 ・公演ごとにアンケートを実施しており、そのアンケート結果から見えてきた市民ニーズを踏まえ、より多くの市民のニーズに応える事業を展開していく。事前講座付き公演やキャンペーンコンサート付き公演等、様々な手法を取り入れながら、タクトホームこもれびGRAFAREホールならではの公演を実施し、一人でも多くの市民が文化芸術に触れ、体験することができるように、さらなる機会の充実を図る。 ・事業を実施するにあたり、情報紙やホームページ、SNS等を活用しているが、こもれびホールチャンネルや地域メディア、PR親善大使等、発信力のある媒体やアーティストを活用し、より多くの市民等に文化芸術情報が行き届くように市の内外に向け情報発信を行っていく。 ・今後の課題として、「子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり」は当館のミッションの1つである。子ども向け及び親子向けの音楽、演劇、伝統芸能など多彩な公演ラインナップを充実していく。
---	-----------------------	-----------------------	--	-------------------	----------------------	--	---------	--------	--	--	--------	---

2	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和6年5月26日（日）ほか23回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、音楽、演劇、伝統芸能、映画、ショー等のさまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	子ども～シニア	8,954人	市報 ホームページ SNS チラシ 友の会DM、市内掲示板、地域情報誌、地元ラジオ局	<p>①こもれびふらり寄席：令和6年5月26日～令和7年1月9日（全4回）、261人</p> <p>②森山良子コンサートツアー My Story：令和6年6月5日、616人</p> <p>③西東京市民名画座：令和6年7月6日～令和7年3月15日（1日2回上映、全4回）、2751人</p> <p>④柳田理科雄 サイエンスショー：令和6年8月11日、417人</p> <p>⑤和太鼓 東京打撃団：令和6年9月14日、280人</p> <p>⑥こもれび笑笑ステージ「春風亭一之輔と華麗な仲間たち」：令和6年9月30日、578人</p> <p>⑦舞台「裸足で散歩」：令和6年10月13日、464人</p> <p>⑧こもれび狂言会 野村万作・萬斎「狂言の世界」：令和6年11月15日、本公演：363人、講座20人</p> <p>※「狂言をもっと楽しむための『狂言師による狂言講座』」を本公演に先駆け、令和6年10月6日に実施。</p> <p>⑨ビューティーこくぶ×よよちゃん 歌まねジョイントコンサート in こもれびホール：令和6年11月17日、523人</p> <p>⑩JUN SKY WALKER(S) 2days Live トゥギャザー！しやうぜ！1日目：アコギな奴らの聖なる夜、2日目：ロックン！ホーリーナイト：令和6年12月21、22日、791人（延べ人数）</p> <p>⑪フレッシュ名曲キャンペーンコンサート「佐川冨和ピアノリサイタル」：令和7年1月19日、157人</p> <p>⑫ピバ！中南米音楽祭：令和7年2月8日、191人</p> <p>⑬フレッシュ名曲コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団「新世界より」：令和7年2月16日、606人</p> <p>⑭しまじろうコンサート「しまじろうとわくわくドーナツフェスティバル」：令和7年3月8日（1日2回公演）、1319人（延べ人数）</p>	心身の健康	演劇、落語、ポップス、ロック、クラシック等、さまざまなジャンルの公演を通じて、多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となって、市民の活力向上に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・公演ごとにアンケートを実施しており、そのアンケート結果から見てきた市民ニーズを踏まえ、より多くの市民のニーズに応える事業を展開していく。事前講座付き公演やキャンペーンコンサート付き公演等、様々な手法を取り入れながら、タクトホームこもれびGRAFAREホールならではの公演を実施し、一人でも多くの市民が文化芸術に触れ、体験することができるように、さらなる機会の充実を図る。 ・事業を実施するにあたり、情報紙やホームページ、SNS等を活用しているが、こもれびホールチャンネルや地域メディア、PR親善大使等、発信力のある媒体やアーティストを活用し、より多くの市民等に文化芸術情報が行き届くように市の内外に向け情報発信を行っていく。 ・今後の課題として、「子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり」は当館のミッションの一つである。子ども向け及び親子向けの音楽、演劇、伝統芸能など多彩な公演ラインナップを充実していく。
3	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）		令和7年3月2日（日）ほか	西東京市民文化プラザ	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、さまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	-	1,510人	SNS チラシ	<p>【おきがるラテンコンサート】令和7年3月2日（日）文化芸術に市民が気軽に触れることのできる無料の公演。全2回公演とし、様々な打楽器による演奏で、小さなお子様をお連れの方も含め誰もが音楽に親しむ機会を提供する。</p> <p>【施設見学会】令和6年12月5日（木）～9日（月）市内文化芸術団体の演奏・演技（12/8のみ）、市民団体の作品展示、市職員による機能紹介（プロジェクターで西東京市PR映像放映）、「ONE FOR ALL西東京」が出来るまでの履歴を展示</p> <p>【施設竣工式】令和6年12月7日（土）式辞・来賓紹介・祝辞・感謝状贈呈・祝賀会</p>	地域への愛着	地域で多くの方が文化芸術に触れる機会を提供したことにより、地域への愛着向上につながった。	<p>「おきがるラテンコンサート」では、午前（1回目）の公演で、子どもにとって「スピーカーの音が大きい」との指摘があったため、2回目の公演では小さな子供連れの席はスピーカーからなるべく離れた席をご案内した。当館初の本格的な音楽イベントとなり機材関連のセッティングに時間を要するなど対応にも追われた部分があったため、今後の開催に向けた課題とした。</p>
4	市民の文化・芸術活動の奨励・普及に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和6年4月14日（日）ほか36回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	幅広い年齢を対象としたワークショップ、講座、教室や市民参加型公演や体験型事業等さまざまなイベントを通じて、市民が新しい文化芸術に触れる機会を創出することや市民に発表の場を提供することを目的に実施する。	-	1,792人	市報 ホームページ SNS チラシ 市内掲示板	<p>①こもれびこどもアートカフェ：令和6年4月14日～令和7年1月26日（全10回）、182人</p> <p>②だれでもチャレンジライブ：令和6年5月19日、98人</p> <p>③メインホール開放事業 おいでよ！こもれびホール：令和6年6月22、23日、7月27、28日（全4回）、51人</p> <p>④東京打撃団 和楽器体験ワークショップ 叩く！楽しむ！汗をかく！：令和6年7月13日、28人</p> <p>⑤こもれびこどもコンシェルジュ：①令和6年8月14日公開、②令和7年1月31日公開、3人（延べ人数）</p> <p>⑥西東京市ゆかりのアーティストコンサート ウインドアンサンブル和のインクルーシブコンサート：令和6年8月18日、92人</p> <p>⑦こどものためのオペラ創作プログラム：令和6年8月31日～令和6年9月28日（全5回）、119人</p> <p>⑧こどものためのオペラ創作プログラム発表会：令和6年9月29日、73人</p> <p>⑨親子食育教室 ①野菜と仲良くなろう教室、②野菜パウダーでアイシングクッキーを作ろう：①令和6年11月27日、②令和7年2月15日、53人</p> <p>⑩クラシック音楽鑑賞講座：令和7年1月25日、2月24日、3月23日（全3回）、116人</p> <p>⑪音楽健康講座：令和7年2月4日、2月11日（全2回）、40人</p> <p>⑫リーディング体験講座：令和7年3月1日、3月2日、3月9日（全3回）、46人</p> <p>⑬ミュージカル入門「歌って踊って楽しもう！」：令和7年3月22日、20人</p>	地域への愛着	こどもアートカフェ、こどもコンシェルジュ、こどものためのオペラ創作プログラム、親子食育教室のように子ども対象や親子対象としたイベントを実施することで、多くの子どもが参加し、地域で文化芸術に触れ、体験し、文化芸術を身近に楽しむ機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は既存の情報紙やホームページによるPRに加え、SNSやYouTubeといった媒体によるPRを強化した結果、昨年度よりも参加者が大幅に増加した事業が複数あった。これからも各事業の魅力により多くの市民に伝えるため、多角的なPRを心掛けていきたい。 ・8月に実施したインクルーシブコンサートでは、アーツカウンシル東京による「東京芸術文化鑑賞サポート助成事業」に採択され、SOUND HUG・文字同時通訳についての負担は全額助成された。 ・今後の課題として「特定のターゲット層の広報手段や繋がり強化」が挙げられる。障害者施設、養護学校、支援学校などの他、民間の放課後等デイサービスや福祉施設など、障がい者サポートのある公演を実施する際には公演を直接お伝えできるよう地域との繋がりを強化していきたい。 ・来場者から事業時の会場案内が分かりにくいという指摘があったため、外看板及び幟旗を新設し、事業当日のPRを強化し、より多くの市民に来場いただくことで当館の賑わいの創出に繋げていきたい。

5	市民の文化・芸術活動の奨励・普及に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）		令和6年12月15日(日)ほか	西東京市民文化プラザ	幅広い年齢を対象としたワークショップ、講座、教室や市民参加型公演や体験型事業等さまざまなイベントを通じて、市民が新しい文化芸術に触れる機会を創出することや市民に発表の場を提供することを目的に実施する。	-	66人	ホームページ SNS チラシ	<p>【シットピクス体験ワークショップ】令和6年12月15日(日) 身体が不自由な方や高齢者も気軽に参加できるシットピクストレーニング（着座体操）を発案者の白井氏をインストラクターとして招いて実施。</p> <p>【チョークアート体験講座】令和7年1月19日(日) 日常で触れる機会の少ないテーマで市民の「やってみよう」を喚起する講座として「チョークアート」を実施。持ち帰り用キット付きの講座で、体験に加え成果物を持ち帰りいただく。</p> <p>【桂伸衛門の落語道場】令和7年2月2日(日) 見習い、前座、2つ目までのエッセンスを伝授。挨拶の仕方から始まり、見習い全員が通る師匠の着物の脱がせ方・畳み方、てぬぐい・扇子の使い方、小唄など盛りだくさんの内容を参加者に解説・体験いただいた。</p>	地域の活性化	様々な事業を実施し、幅広い方が参加したことにより、地域の活性化につながった。	<ul style="list-style-type: none"> ・当初開催予定日としていた2月に市の事業が入ったため講師と調整し12月に実施としたが、広報期間が極端に短くなってしまい、最終的には13名の参加者に留まった。来年度はスケジュールに余裕をもたせて進められるようにする。 ・参加者からの要望として「講座の対象年齢の指定・明確化」「付き添い・見学の保護者の着席場所」などについてご意見をいただいたため、次年度以降の開催時の検討事項とする。 ・落語を開催する備品の準備が不十分であったので、市と相談して今後も落語をテーマにした事業を実施できるように備品を充実することにした。
6	子どもの文化芸術事業に関わる団体への支援（子どもの文化芸術事業補助金）	文化振興課		令和6年5月3日(金)ほか	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業に対し、市がその事業に係る経費の一部を補助することにより、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動の場及び機会の充実を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に在住、在勤若しくは在学をする18歳以上の者 ・以下要件を満たす団体 (1) 市内に事務所又は活動の拠点を有する非営利団体であること。 (2) 団体の規約又はこれに類するものを有し、代表者及び所在地が明らかであること。 (3) 会計経理が明確であること。 (4) 国、地方公共団体、独立行政法人その他の公法人及びこれらに類する団体でないこと。 	7団体	市報 ホームページ SNS チラシ	<p>子どもの文化芸術事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、個人・団体を募集した。その結果、7団体より交付申請があり、ウエスト・ファン・ジュニアへ112,000円、Kidsミュージカルファクトリーへ200,000円、一般社団法人 西東京市文化芸術振興会へ26,000円、ウインドアンサンブル和へ175,000円、西東京ジュニア・ユースオーケストラへ107,000円、碧山吹奏楽部へ200,000円、個人へ200,000円を交付し、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動に関わる個人及び団体への支援を行うことができた。</p>	心身の健康	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業を実施する個人及び団体に対し、補助金の交付を行うことで子どもを対象とした文化芸術事業の継続に繋がりが、子どもの心身の健康に寄与した。	令和6年度に新設された補助金であり、認知度が低いことが課題であることから、補助金の周知に努める。

7	市民文化祭			令和6年9月19日(木)～11月4日(月・休)	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	日頃の文化活動の成果を発表し、市民の文化活動の向上及び相互交流する機会を提供することを目的とし、市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。	参加者(個人):市内在住・在勤・在学、参加団体:市内で活動しており、会員の半数以上が市内在住・在勤・在学の方で構成された団体	13,689人	市報	【西東京市民文化祭】令和6年10月14日(月・祝)～11月4日(月・休) 市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。 ・参加団体:18部(151団体) ・参加者数:2,154名 ・来場者数:9,977名(会場来場者数6,950名、ライブ配信視聴者数3,027名) 【西東京市民文化祭PR inアスタ】令和6年9月19日(木)～22日(日) 市民文化祭をより多くの市民に周知するため、アスタセンターコートにおいて、市民文化祭の概要等を紹介したパネル展示及びステージ発表を実施した。 来場者数:1,002名 【西東京市民文化祭オープニングイベント】10月14日(月・祝) 西東京市民文化祭を紹介するために、実施期間初日に、西東京市民文化祭に参加する一部団体による演目や、ポスターや総合プログラムに掲載した優秀作品に対して、表彰式を実施した。 来場者数:484名(会場来場者274名、ライブ配信視聴者数210名) 【「日本の文化体験フェス」in市民文化祭】10月20日(日)～11月3日(日) 市民文化祭に参加している日本の文化に知識の深い市民または市民団体を講師として、体験会を実施した。 ・応募者数:延べ162名 ・参加者数:延べ72名	地域への愛着	「日本の文化体験フェス」in市民文化祭を実施することで、多くの子どもが参加し、地域の文化芸術活動者と一緒に文化芸術に触れ、体験し、文化芸術を身近に楽しむ機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。	西東京市民文化祭及び関連事業について、周知方法の検討が課題として挙げられている。令和6年度は、アスタビジョンへの動画放映、西東京市公式LINEにおける「市民文化祭つうしん」の運用等新たな周知方法を検討・実施し、来場者の増加につながった。引き続き、効果的な周知ができるよう検討する。
									ホームページ				
									SNS				
									チラシ				
									アスタビジョン				
8	伝統文化親子教室事業への支援			令和7年11月23日(金)ほか4日	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	市内の親子が伝統文化に親しみきっかけとなるよう西東京市親子体験教室事業実行委員会が事業を実施しており、西東京市が文化庁への補助金申請等を支援している。	小学1年生～高校3年生と保護者	定員:270人	チラシ	・11月23日(土)J:COMコール田無:琴体験、和装着付け・日本舞踊体験 ・11月24日(日)J:COMコール田無:日本かつら・舞台化粧・和装体験、日本舞踊体験 ・12月22日(日)J:COMコール田無:華道体験、茶道体験 ・1月11日(土)タクトホームこもれびGRAFAREホール:古典芸能である日本舞踊の舞台を体験	地域への愛着	子ども対象を対象に体験事業を実施することで、多くの子どもが参加し、地域で文化芸術に触れ、体験し、文化芸術を身近に楽しむ機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。	例年多くの方に参加していただいているが、さらに多くの方に参加していただくため、広報支援等を継続して実施していく。
								実績:306人					
								応募:306人					
9	都市間交流事業			令和7年3月20日(木・祝)	オンライン(Zoom)	西東京市の参加者の北州市への興味・関心を高め、都市間の交流の発展に寄与することを目的に西東京市の友好都市である山梨県北州市とともにワークショップを実施した。	市内在住・在勤・在学の小学1年生以上	定員:20人	市報	北州市から産出される水晶(石英)を用いて、オンライン(Zoom)で水晶アクセサリー(ネックレス)を作る。	地域への愛着	友好都市である山梨県北州市と交流事業を実施することで、多くの子どもが参加し、西東京市及び友好都市について学ぶ機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。	姉妹都市・友好都市と交流事業を実施するにあたり、限られた特産等を用いて実施しなければならないため、内容の検討に課題がある。市内各課長が集って行う西東京市都市間交流検討会議の場等を活用し、魅力的な事業になるよう内容を検討する。
								実績:21人	ホームページ				
								応募:428人	SNS				
									チラシ				
10	ひろばであそぼう	子ども家庭課		令和6年4月28日(日)ほか11回	のどか広場(6回)、ピッコロ広場(6回)	すべての子育て家庭がゆとりを持って子育てできるよう、家族で参加できる日曜日の時間帯に申込不要のイベントを開催する。	子育てひろばを利用する親子	定員:609人	ホームページ	開催当日、親子で簡易な工作などを実施する	地域への愛着	年中行事を取り入れた事業内容で事業内容を企画し、親子で参加してもらうことにより、地域への愛着向上に寄与した。	より安全に楽しめるよう、工作の内容を工夫した。
									チラシ				
									各広場窓口				
11	公民館における文化芸術事業	公民館		令和6年6月17日(水)ほか	各公民館	様々な世代を対象に文化芸術に触れる機会を創出するため、音楽会、映画会、講座などの主催事業を実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	846人	ホームページ	①ムービールーム柳沢(柳沢公民館)令和6年6月17日(水)～令和7年3月19日(全10回)延べ499人 ②サロンコンサート(芝久保公民館)令和6年8月25日38人、12月15日39人 ③谷戸公民館40th Anniversary Concert(谷戸公民館)令和3月20日120人 ④保谷駅前バンドをやる発表会(保谷駅前公民館)令和7年3月9日150人	地域への活性化	乳幼児から大人まで参加可能とした12月のサロンコンサートでは、リピーターよりも新規の参加者が多く、新たな公民館利用者の開拓につながっているため。	観客として鑑賞するだけでなく、参加者同士でコミュニケーションの取れる工夫などを行い、さらなる事業の充実を図る。
									SNS				
									チラシ				
									公民館だより				

12	スポーツ関連事業	スポーツ振興課		<p>①令和6年4月28日（日）ほか 10回 ②-1令和6年5月11日（土） ②-2令和7年1月5日（日） ③令和6年12月8日（日）</p>	<p>①スポーツセンター、きらっと ②-1武蔵砂川駅→玉川上水緑道→残堀川歩道→昭和記念公園 ②-2鷺谷駅→下谷七福神（神社、寺等）→東盛公園 ③J.COM コールド無</p>	<p>①ENJOYニュースポーツ：老若男女、障害の有無に関わらず、レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目までスポーツが体験できる機会を提供し、参加者の交流、健康増進を目的とする。 ②ウォーキング事業：ウォーキングを通して、参加者同士交流を図りながら、市民の健康と体力づくりを目的とする。 ③多摩六都フェアパラアート展覧会でのスポーツ体験：会場に来られた方にスポーツ（モルック）を体験してもらいスポーツへの理解促進と普及啓発を目的とする。</p>	<p>①市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ②市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ③来場者ならどなたでも</p>	<p>①360人 ②-1：20人 ②-2：58人 ③16人</p>	<p>市報 ホームページ チラシ</p>	<p>①ENJOYニュースポーツ ②ウォーキング事業 ③多摩六都フェアパラアート展覧会でのスポーツ体験</p> <p>①②③の事業は、いずれも様々なスポーツ・運動を定期的実施することで、参加者との交流を図りつつ、健康づくりやスポーツを実施する機会をつくる。</p>	地域への愛着	<p>早稲田大学の協力による少年野球教室（春・秋）の実施し、大学の伝統的な文化にも触れ、市内にある民間施設を活用し、技術力向上に繋げる機会を提供することができた。</p>	<p>各種事業については、継続的に参加してもらおう、スポーツ推進委員や体育協会等と連携を図り内容を検討して事業を実施している。また、参加された事業だけではなく、他の事業についてもチラシの配布や市報等でご案内するなど、生涯スポーツの推進を目指してスポーツの理解促進及び普及啓発に努めている。一方で、事業に参加される方々が同じ傾向にあるため、これまで事業に参加されたことがない方でも参加しやすく楽しめる事業を検討する必要がある。あわせて多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法についても検討する必要がある。</p>
13	平和事業	協働コミュニケーション課		<p>令和6年4月12日（金）ほか6回</p>	<p>アスタセンターコートほか</p>	<p>市民の参加と協力のもと、「非核・平和をすすめる西東京市民の会」とともに平和事業を実施する。「西東京市平和の日」事業等を実施し、市民に対して非核・平和の意義の普及と平和意識の高揚を図る。</p>	<p>市内在住・在勤・在学の市民など</p>	<p>2,048人</p>	<p>市報 ホームページ SNS チラシ 市内掲示板</p>	<p>①西東京市平和の日（4/12 500人） ②広島平和の旅（8/5～8/6 5人） ③非核・平和パネル展（8/7～8/9 300人） ④ピースウォーク（10/27 21人） ⑤平和映画会（3/20 300人）</p>	地域への愛着	<p>平和映画会や、商業施設でのパネル展示など、子どもが参加しやすいイベントを行い、地域の学習を行ったため。</p>	<p>各種事業において文化・芸術を活用した講座や事業を実施できた。平和を継承していくために、子どもや若者などの若い世代に対して関心を持ってもらえる事業に取り組んでいる。今後も引き続き、文化・芸術も活用しながら、若い世代を巻き込んだ平和推進の取り組みを進めていく。</p>
14	下保谷四丁目特別緑地保全地区活用事業	みどり公園課		<p>令和6年4月4日（金）ほか27回</p>	<p>下保谷四丁目特別緑地保全地区</p>	<p>春（桜）、夏（緑陰）、秋（紅葉）等のイベントを実施し、より多くの方に屋敷林という特徴を持っている下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全活用へ関心を持ってもらう。また、イベントや自然文化体験をした来場者がより「日常的な場所」として利用する習慣を醸成するために、定期的な一般開放を行う。</p>	<p>市内在住・在勤・在学の市民など</p>	<p>2,211人</p>	<p>市報 ホームページ SNS チラシ</p>	<p>①一般開放（月2回） 917人 ②深緑のイベント 令和6年6月23日 80名 ③秋のイベント 令和6年9月23日 179名 ④冬のイベント 令和6年12月8日 366名 ⑤春のイベント 令和7年3月30日 669名</p>	地域への愛着	<p>近隣の保育園が一般開放日に来るなど、地域に開かれた場として子供が自然文化に触れ合う場面になっている。また、保育園の保護者が当該地区の清掃のボランティアに参加するなどの連携が生まれている。</p>	<p>下保谷四丁目特別緑地保全地区を安心して活用するには、建物の整備や植木の適切な維持管理が必要になる。当該地区の保全活用計画をより具体的に実践するための方針を定める「保全活用ガイドライン」を令和6年度に策定した。ガイドラインに沿って保全活用を行っていく。</p>

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針1 市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ 施策3 さまざまな参加機会を促す事業の充実													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年5月26日（日）ほか23回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、音楽、演劇、伝統芸能、映画、ショー等のさまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	子ども～シニア	8,954人	市報	①こもれびふらり寄席：令和6年5月26日～令和7年1月9日（全4回）、261人 ②森山良子コンサートツアー My Story：令和6年6月5日、616人 ③西東京市民名画座：令和6年7月6日～令和7年3月15日（1日2回上映、全4回）、2751人 ④柳田理科雄サイエンスショー：令和6年8月11日、417人 ⑤和太鼓 東京打撃団：令和6年9月14日、280人 ⑥こもれび笑笑ステージ「春風亭一之輔と華麗な仲間たち」：令和6年9月30日、578人 ⑦舞台「裸足で散歩」：令和6年10月13日、464人 ⑧こもれび狂言会 野村万作・萬斎「狂言の世界」：令和6年11月15日、本公演：363人、講座20人 ※「狂言をもっと楽しむための『狂言師による狂言講座』」を本公演に先駆け、令和6年10月6日に実施。 ⑨ビューティーこくふ×よよちゃん 歌まねジョイントコンサート in こもれびホール：令和6年11月17日、523人 ⑩JUN SKY WALKER(S) 2days Live トッギャザーしようぜ！ 1日目：アコギな奴らの聖なる夜、2日目：ロックン！ホーリーナイト：令和6年12月21、22日、791人（延べ人数） ⑪フレッシュ名曲キャンペーンコンサート「佐川冨和ピアノリサイタル」：令和7年1月19日、157人 ⑫ビバ！中商米音楽祭：令和7年2月8日、191人 ⑬フレッシュ名曲コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団「新世界より」：令和7年2月16日、606人 ⑭しまじろうコンサート「しまじろうとわくわくドーナツフェスティバル」：令和7年3月8日（1日2回公演）、1319人（延べ人数）	心身の健康	演劇、落語、ポップス、ロック、クラシック等、さまざまなジャンルの公演を通じて、多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となって、市民の活力向上に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・公演ごとにアンケートを実施しており、そのアンケート結果から見えてきた市民ニーズを踏まえ、より多くの市民のニーズに応える事業を展開していく。事前講座付き公演やキャンペーンコンサート付き公演等、様々な手法を取り入れながら、タクトホームこもれびGRAFAREホールならではの公演を実施し、一人でも多くの市民が文化芸術に触れ、体験することができるように、さらなる機会の充実を図る。 ・事業を実施するにあたり、情報紙やホームページ、SNS等を活用しているが、こもれびホールチャンネルや地域メディア、PR親善大使等、発信力のある媒体やアーティストを活用し、より多くの市民等に文化芸術情報が行き届くように市の内外に向け情報発信を行っていく。 ・今後の課題として、「子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり」は当館のミッションの1つである。子ども向け及び親子向けの音楽、演劇、伝統芸能など多彩な公演ラインナップを充実していく。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
2	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和7年3月2日（日）ほか	西東京市民文化プラザ	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、さまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	-	1,510人	SNS	【おきがるラテンコンサート】令和7年3月2日（日）文化芸術に市民が気軽に触れることのできる無料の公演。全2回公演とし、様々な打楽器による演奏で、小さなお子様をお連れの方も含め誰もが音楽に親しむ機会を提供する。 【施設見学会】令和6年12月5日（木）～9日（月）市内文化芸術団体の演奏・演技（12/8のみ）、市民団体の作品展示、市職員による機能紹介（プロジェクターで西東京市PR映像放映）、「ONE FOR ALL 西東京」が出来るまでの履歴を展示 【施設竣工式】令和6年12月7日（土）式辞・来賓紹介・祝辞・感謝状贈呈・祝賀会	地域の活性化	近隣の幅広い年代の方にお越しいただいたことで、地域の活性化に寄与した。	「おきがるラテンコンサート」では、午前（1回目）の公演で、子どもにとって「スピーカーの音が大きい」との指摘があったため、2回目の公演では小さな子供連れの方はスピーカーからなるべく離れた席をご案内した。当館初の本格的な音楽イベントとなり機材関連のセッティングに時間を要するなど対応にも追われた部分があったため、今後の開催に向けた課題とした。
			チラシ										
			1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり										
			1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供										

3	市民の文化・芸術活動の奨励・普及に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年4月14日（日）ほか 36回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	幅広い年齢を対象としたワークショップ、講座、教室や市民参加型公演や体験型事業等さまざまなイベントを通じて、市民が新しい文化芸術に触れる機会を創出することや市民に発表の場を提供することを目的に実施する。	-	1,792 人	市報	①こもれびこどもアートカフェ：令和6年4月14日～令和7年1月26日（全10回）、182人 ②だれでもチャレンジライブ：令和6年5月19日、98人 ③メインホール開放事業 おいでよ！こもれびホール：令和6年6月22、23日、7月27、28日（全4回）、51人 ④東京打撃団 和楽器体験ワークショップ 叩く！楽しむ！汗をかく！：令和6年7月13日、28人 ⑤こもれびこどもコンシェルジュ：①令和6年8月14日公開、②令和7年1月31日公開、3人（延べ人数） ⑥西東京市ゆかりのアーティストコンサート ウィンドアンサンブル和のインクルーシブコンサート：令和6年8月18日、92人 ⑦こどものためのオペラ創作プログラム：令和6年8月31日～令和6年9月28日（全5回）、119人 ⑧こどものためのオペラ創作プログラム発表会：令和6年9月29日、73人 ⑨親子食育教室 ①野菜と仲良くなろう教室、②野菜パウダーでアイシングクッキーを作ろう：①令和6年11月27日、②令和7年2月15日、53人 ⑩クラシック音楽鑑賞講座：令和7年1月25日、2月24日、3月23日（全3回）、116人 ⑪音楽健康講座：令和7年2月4日、2月11日（全2回）、40人 ⑫リーディング体験講座：令和7年3月1日、3月2日、3月9日（全3回）、46人 ⑬ミュージカル入門「歌って踊って楽しもう！」：令和7年3月22日、20人	心身の健康	ワークショップ、講座、教室等、さまざまな文化・芸術事業の実施やYouTubeによる公演のライブ配信などを通じて、より多くの市民が文化芸術に触れる機会につながり、その楽しさや感動等が心の栄養となって、市民の活力向上に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は既存の情報紙やホームページによるPRに加え、SNSやYouTubeといった媒体によるPRを強化した結果、昨年度よりも参加者が大幅に増加した事業が複数あった。これからも各事業の魅力をより多くの市民に伝えるため、多角的なPRを心掛けていきたい。 ・8月に実施したインクルーシブコンサートでは、アーツカウンシル東京による「東京芸術文化鑑賞サポート助成事業」に採択され、SOUND HUG・文字同時通訳についての負担は全額助成された。 ・今後の課題として「特定のターゲット層の広報手段や繋がり強化」が挙げられる。障害者施設、養護学校、支援学校などの他、民間の放課後等サービスや福祉施設など、障がい者サポートのある公演を実施する際には公演を直接お伝えできるよう地域との繋がりを強化していきたい。 ・来場者から事業時の会場案内が分かりにくいという指摘があったため、外看板及び幟旗を新設し、事業当日のPRを強化し、より多くの市民に来場いただくことで当館の賑わいの創出に繋げていきたい。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
市内掲示板													
4	市民の文化・芸術活動の奨励・普及に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年12月15日（日）ほか	西東京市民文化プラザ	幅広い年齢を対象としたワークショップ、講座、教室や市民参加型公演や体験型事業等さまざまなイベントを通じて、市民が新しい文化芸術に触れる機会を創出することや市民に発表の場を提供することを目的に実施する。	-	66 人	ホームページ	【シットピクス体験ワークショップ】令和6年12月15日（日） 身体が不自由な方や高齢者も気軽に参加できるシットピクストレーニング（着座体操）を発案者の白井氏をインストラクターとして招いて実施。 【チョークアート体験講座】令和7年1月19日（日） 日常で触れる機会の少ないテーマで市民の「やってみよう」を喚起する講座として「チョークアート」を実施。持ち帰り用キット付きの講座で、体験に加え成果物を持ち帰りいただく。 【桂仲衛門の落語道場】令和7年2月2日（日） 見習い、前座、2つ目までのエッセンスを伝授。挨拶の仕方から始まり、見習い全員が通る師匠の着物の脱がせ方・畳み方、てぬぐい・扇子の使い方、小断など盛りだくさんの内容を参加者に解説・体験いただいた。	地域の活性化	様々な事業を実施し、幅広い方に参加していただいたことにより、地域の活性化につながった。	<ul style="list-style-type: none"> ・当初開催予定日としていた2月に市の事業が入ったため講師と調整し12月に実施したが、広報期間が極端に短くなってしまい、最終的には13名の参加者に留まった。来年度はスケジュールに余裕をもたせて進められるようにする。 ・参加者からの要望として「講座の対象年齢の指定・明確化」「付き添い・見学の保護者の着席場所」などについてご意見をいただいたため、次年度以降の開催時の検討事項とする。 ・落語を開催する備品の準備が不十分でしたので、市と相談して今後も落語をテーマにした事業を実施できるように備品を充実することにした。
			SNS										
			チラシ										
5	スポーツ関連事業	スポーツ振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	①令和6年4月28日（日）ほか 10回 ②-1令和6年5月11日（土） ②-2令和7年1月5日（日） ③令和6年12月8日（日）	①スポーツセンター、きらっと ②-1武蔵砂川駅→玉川上水緑道→残堀川歩道→昭和記念公園 ②-2鶯谷駅→下谷七福神（神社、寺等）→東盛公園 ③J.COM コール田無	①ENJOYニュースポーツ：老若男女、障害の有無に関わらず、レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目までスポーツが体験できる機会を提供し、参加者の交流、健康増進を目的とする。 ②ウォーキング事業：ウォーキングを通して、参加者同士交流を図りながら、市民の健康と体力づくりを目的とする。 ③多摩六都フェアパラアート展覧会でのスポーツ体験：会場に来られた方にスポーツ（モルック）を体験してもらいスポーツへの理解促進と普及啓発を目的とする。	①市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ②市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ③来場者ならどなたでも	①360人 ②-1：20人 ②-2：58人 ③16人	市報	①②③の事業は、いずれも様々なスポーツ・運動を定期的に実施することで、参加者との交流を図りつつ、健康づくりやスポーツを実施する機会をつくる。	心身の健康	様々なスポーツ・運動をする機会を定期的に提供することで、参加者の心身の健康づくりに寄与した。	各種事業については、継続的に参加してもらおう、スポーツ推進委員や体育協会等と連携を図り内容を検討して事業を実施している。また、参加された事業だけではなく、他の事業についてもチラシの配布や市報等でご案内するなど、生涯スポーツの推進を目指してスポーツの理解促進及び普及啓発に努めている。一方で、事業に参加される方々が同じ傾向にあるため、これまで事業に参加されたことがない方でも参加しやすく楽しめる事業を検討する必要がある。あわせて多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法についても検討する必要がある。
			ホームページ										
			チラシ										
			市内掲示板										
6	平和事業	協働コミュニケーション課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年4月12日（金）ほか6回	アスタセンターコートほか	市民の参加と協力のもと、「非核・平和をすすめる西東京市民の会」とともに平和事業を実施する。「西東京市平和の日」事業等を実施し、市民に対して非核・平和の意義の普及と平和意識の高揚を図る。	市内在住・在勤・在学の市民など	2,048 人	市報	①西東京市平和の日（4/12 500人） ②広島平和の旅（8/5～8/6 5人） ③非核・平和パネル展（8/7～8/9 300人） ④ピースウォーク（10/27 21人） ⑤平和映画会（3/20 300人）	共生社会の実現	平和事業を通じて、多世代が参加できる様々なイベントを行ったため。	各種事業において文化・芸術を活用した講座や事業を実施できた。平和を継承していくために、子どもや若者などの若い世代に対して関心を持ってもらえる事業に取り組んでいる。今後も引き続き、文化・芸術も活用しながら、若い世代を巻き込んだ平和推進の取り組みを進めていく。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
			市内掲示板										

7	公民館まつり	公民館	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年11月11日 (水) ほか	各公民館	公民館を利用して活動する団体の活動成果発表の場、地域住民や参加団体の交流の場、日ごろ公民館を利用しない市民に公民館に関心を持ち、足を運んでもらう機会とするため各公民館で公民館祭まつりを実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	6,581 人	ホームページ	①ヤギフェスVol.13 (柳沢公民館) 令和6年11月11日 (水) ~11月24日 2,025人 ②田無公民館ロビーまつり (田無公民館) 令和6年7月14日 860人 ③第41回芝久保公民館まつり (芝久保公民館) 令和6年10月26日、27日 926人 ④谷戸まつり (谷戸公民館) 令和6年4月27日、28日 1,489人 ⑤第16回ひばりが丘フェスティバル (ひばりが丘公民館) 令和7年3月2日 552人 ⑥第15回駅前フェスタ2024 (保谷駅前公民館) 令和6年10月19日、20日 729人	地域の活性化	多くの市民が文化芸術に触れる機会であると同時に、地域団体の活動を間近に見られる機会であり、作品や発表の内容を楽しむだけでなく、その地域のにぎやかさや元気に触れる場として	実行委員会の世代循環が課題。新たなまつり参加者や担い手等の人材発掘のため広報や呼びかけを強化し、事業の継続とさらなる充実を図る。	
			SNS											
			チラシ											
			2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進						公民館だより					
			2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実											

以下再掲

1	東京都・西東京市芸術文化連携事業	文化振興課	/	令和7年3月26日 (水)	タクトホームこもれびGRAFAREホール	第3期文化芸術振興計画の基本方針1 (市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ) で掲げる施策を実現するため、東京都と連携しワークショップ及びコンサートを実施した。	市内在住の小学生から高校生まで ②コンサート：市内外問わず誰でも参加可能	定員： ①40 ②200 実績： ①11 ②45 応募： ①12 ②147	市報	①ワークショップ「みんなで楽器チャレンジ2025」公募した市内の子どもの対象とし、楽器演奏のワークショップを実施 ②コンサート「みんなで手づくりコンサートin西東京2025」誰でも参加できる管楽器を中心としたコンサートを実施し、ワークショップの参加者がコンサートにもゲスト出演し、ワークショップの成果を披露	地域への愛着	ワークショップとコンサートを実施することで、参加機会を創出し、文化芸術を身近に楽しむ機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。	子ども向けのワークショップだけでなく、成果発表のコンサートを実施することで、幅広い世代が文化芸術を身近に楽しむ機会につながることで、より幅広い市民が文化芸術を楽しむ機会を創出するため、効果的な文化芸術情報の提供が課題として挙げられる。これまで行ってきた事業と同様の広報手段に加え、東京都より広報、外部委員会への周知等を実施したが、引き続き広報手段の検討を行う必要がある。
									ホームページ				
2	学校へのアウトリーチ事業	文化振興課 (保谷こもれび指定管理者)	/	令和6年7月16日 (火) ほか7回	西東京市内小学校7校	若年層が文化芸術に触れる機会をつくることを目的に、西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、アウトリーチ公演を行う。	田無小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、碧山小学校、栄小学校、東小学校、本町小学校、住吉小学校、けやき小学校	871 人	各対象校に連絡し、事業主旨を説明	西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、体育館、音楽室を会場にアウトリーチ公演を行う。学校側には事前に複数組アーティスト候補を提示し、学校側に選定いただいた。市内小学校全18校を2グループに分け、1年に9校ずつ順に巡回する。昨年度9校巡回、今年度は残り9校を実施する予定であったが、田無小学校、栄小学校の2校については学校の都合により実施が見送りととなった。	心身の健康	様々な楽器演奏や音楽ジャンルを聴くことにより、音楽の楽しさ、素晴らしさを多くの子どもが体験することにより、心の栄養となって、心身の健康向上に寄与した。	昨年度の反省も踏まえ、年度当初から各学校に調整を行った結果、7校へのアーティスト派遣は調整が付いたが、残りの2校については学校の都合により実施が見送りととなった。担当課である文化振興課と協議した結果、未実施の2校に関しては、次年度予定の中学校を2校繰り上げて実施することとなり、各中学校に打診してみたが、調整が付かず、実施には至らなかった。実施した小学校の担当者に学校行事のスケジュールを伺ったところ、例年3月までに次年度のスケジュールが決定するサイクルのため、次年度は3月までに各学校へ周知を完了する予定である。また、学校の働き方改革により、年間の授業のコマ数が削減された関係で、アウトリーチなどに割けるコマが少なくなったということも確認できた。今後も地元で活躍するアーティストを学校に派遣することで、地域の人的資源の活用、人材育成に寄与していきたい。

3	多文化共生推進事業	文化振興課		令和6年5月18日(土)ほか16回	田無第二庁舎ほか	日本人と外国人が協力し合いながら地域社会を創っていく多文化共生社会の実現のため、多文化共生推進関係行事を実施する。	外国籍市民ほか	約630人	市報 ホームページ SNS チラシ 市内掲示板、庁内掲示板	<ul style="list-style-type: none"> 日本語ボランティア入門講座・令和6年5月20日、5月29日、6月5日、6月12日、6月19日、7月23日・入門講座参加者数41人、受講者数延べ213人(田無庁舎、田無第二庁舎) 公開講座(1)：令和6年5月18日、51人(田無第二庁舎) 公開講座(2)：令和6年6月29日、43人(JCOMコール田無) 日本語ボランティアフォローアップ講座・第1回：令和6年9月11日、26人(田無庁舎) 第2回：令和6年10月2日、24人(JCOMコール田無) 第3回：令和7年2月1日、24人(田無第二庁舎) 第4回：令和7年2月8日、21人(田無第二庁舎) 留学生ホームビジット：令和6年6月23日、留学生39人、受入家庭27組(田無庁舎、田無第二庁舎) 外国から来た保護者のための小学校入学前説明会：令和6年9月7日、7人(オンライン) 令和7年1月15日、7人(オンライン) 西東京市日本語スピーチコンテスト2024：令和6年10月6日、発表者10人、観覧者128人(JCOMコール田無) 多言語で楽しく！：令和7年3月29日、10人(南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」) 	地域への愛着	6つの行事を地域で開催し、延べ630人以上が参加することで地域への愛着向上に寄与した。	各行事、前年度の参加者人数を踏まえ、市SNSでの発信を複数行ったり、庁内掲示板を利用するなど工夫した。
4	多摩5美術展	文化振興課		令和6年11月23日(土)から29日(金)まで	西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」	<p>①圏域5市を代表する著名な画家の作品を、圏域住民に鑑賞いただくことにより、市域を越えた芸術家及び市民の交流を図るとともに、圏域内における文化芸術の普及と還元を図る。</p> <p>②キットバスを活用した文化芸術事業を通じて、市民の誰もが身近に文化芸術に親しめるよう鑑賞・体験機会の充実を図るとともに、圏域5市の広域的交流を促進し、文化芸術の更なる振興を図る。</p> <p>③圏域5市で活動する作家の方たちが描いた作品を選び、同じ地域の鑑賞者(圏域5市の市民)と対話型鑑賞をして作品を身近に感じてもらうしながら他者との見え方の違いに気づけたり、様々な意見を肯定的に受け入れることで新たな発見をするような体験をしてもらう。アートミーティングのことも知ってもらえる機会となる。</p>	<p>①小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の美術家</p> <p>②圏域5市(西東京市、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市)に在住、在学、在勤の小学4年生以上の方</p> <p>③多摩5美術展来場者</p>	<p>定員： ①③なし ②15</p> <p>実績： ①936 ②9 ③12</p> <p>応募： ①③なし ②15</p>	市報 ホームページ SNS チラシ	<p>①多摩5美術展</p> <p>②多摩5美術展ワークショップ「キットバスを使って会場のガラスを彩ろう！」</p> <p>③「対話による美術鑑賞」事業体験会</p>	共生社会の実現	年齢や障害の有無等に捉われず、幅広い市民を対象とし、市民の誰もが親しめる鑑賞機会を提供することで、多様な価値や個性、表現や考え方に会うことにつながり、共生社会の実現に寄与した。	新たな出品者や来場者を取り込むことが課題として挙がっているため、関連事業を実施することで、新たな出品者や来場者の掘り起こしにつながった。
5	高齢者大学	高齢者支援課		令和6年6月19日(水)ほか16回	老人福祉センター・住吉老人福祉センター	高齢者の生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かにするとともに、生き生きとした高齢者社会の実現を目指します。	市内に居住する60歳以上の高齢者	397人	市報 ホームページ	<p>事業は、西東京市社会福祉協議会への委託事業として実施している。令和6年度のテーマを生活、芸能、考古学、歴史、動物、福祉、健康、防災、音楽、国際、演芸と設定し各テーマに講師を招聘し、1時間45分の講義を実施している。</p>	共生社会の実現	生活、福祉、防災、国際をテーマとした講座では、生活環境コーディネーターによる生活の中の整理術、成年後見制度を紙芝居で学ぶ、困ったときの相談先、防災講座、エンディングノート、遺言の書き方、国際情勢の見方など多種多様なテーマにより、社会参加を促進した。	<ul style="list-style-type: none"> 定員30人に対し78人の応募があり、受講いただけない方が多数出ている。会場の定員を増やすなど一定の改善を図った。 応募者は、毎年度リピーターが多く、仲間同士で応募する例が見られ、受講決定に苦慮しているが、新規応募の方を優先とするなど、受講機会の均等化に努めている。
6	ルピナスまつり	子ども家庭課		令和6年10月6日(日)	住吉会館ルピナス	あらゆる世代の交流と活動拠点と目的としている住吉会館ルピナスを会場としたおまつりを行うことで、世代の枠を超えた地域のつながりがうまれ、子ども達にとってより安心・安全な場所になることを目的とし実施する。	西東京市民(主に住吉小学校区にお住いの方、住吉会館を利用のあらゆる世代の方)	1,127人	市報 ホームページ SNS	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会方式で企画・運営を行う。(主催：西東京市青少年育成会わかば) 実行委員会に参加の各団体は、緑日や体験型のブース形式による出し物を行う。 中学校・高校生・大学生のボランティア活動の場とする。 ルピナスまつり参加者に、住吉会館内にある「のどか広場」「ひいらぎ」「バリテ」「ほっとルーム」の持つ機能を周知するため、作品展示及びパンフレット、チラシを設置する。 	地域の活性化	老人福祉センター利用団体、小学校保護者会、住吉小5年生、田無第二中ボランティア部といったあらゆる団体が出し物を行った。出し物は、すべて無料で遊ぶことができるため、誰もが気軽に足を運べる環境が整い、地域の活性化に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを実施しており、そのアンケート結果から見てきた市民ニーズを踏まえ、ペピーカー置き場や駐輪場等、参加者がより立ち寄りやすく安心して楽しんでもらえるよう計画する。 高齢者の参加者を増やすため、老人福祉センターに高齢者に向けたチラシを配架した。(チラシは青少年育成会わかば作成による)

7	男女平等参画関連事業	協働コミュニケーション課		令和6年6月20日(木)ほか8回	住吉会館ほか	固定的性別役割分担意識の解消等に向けて男女平等参画に関する情報提供を行い、市民意識の醸成を図る。	市内在住・在勤・在学の市民など	124人	市報 ホームページ SNS チラシ	①男女共同参画週間講演会：令和6年6月20日、10人(会場)、409回(アーカイブ配信) ②女性に対する暴力をなくす運動期間講演会：令和6年11月11日から令和7年3月31日まで、476回(アーカイブ配信) ③FIRE父さんが子どもに贈りたい言葉～限りある人生、どのように生きていくべきか～：令和6年4月20日、22人(ライブ配信) ④カンタン！かわいい！癒しのハーバリウム～好きなお花、好きな色で世界に一つだけのハーバリウムを作ろう！～：令和6年6月5日、16人 ⑤女性がこれから更年期に向けて気をつけるべき生活習慣・セルフケア～更年期を一緒に考えよう！～：令和6年7月6日、10人 ⑥それって“男性更年期”？～明日からできる対策を知ろう～：令和6年7月10日から令和7年3月31日、2,401回(オンデマンド配信) ⑦ママとパパにきいてほしい「思春期」とは！？～子どもとの関わりのヒントにしよう～：令和6年10月16日、14人 ⑧赤ちゃんと一緒に、話そう、遊ぼう！初めてママのプログラム～マザースタート・プログラム～：令和6年10月17日、31日、11月7日、21日、延べ19人 ⑨やりたい事を見つけて自分らしく生きる秘訣：令和7年3月12日、42人(会場)、79人(ライブ配信視聴者数)	共生社会の実現	直接的な男女平等参画啓発をテーマとした講座だけでなく、興味を引けるような様々なテーマで事業を実施した。	市のYouTubeチャンネルやオンライン講座を実施することで、参加しやすい環境づくりに努めた。また、より興味をひく講座内容で開催することで、参加者数の増加に努める。
8	公民館における文化芸術事業	公民館		令和6年6月17日(水)ほか	各公民館	様々な世代を対象に文化芸術に触れる機会を創出するため、音楽会、映画会、講座などの主催事業を実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	846人	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	①ムービールーム柳沢(柳沢公民館) 令和6年6月17日(水)～令和7年3月19日(全10回) 延べ499人 ②サロンコンサート(芝久保公民館) 令和6年8月25日 38人、12月15日 39人 ③谷戸公民館40th Anniversary Concert(谷戸公民館) 令和3月20日 120人 ④保谷駅前バンドをよろう発表会(保谷駅前公民館) 令和7年3月9日 150人	心身の健康	各公民館で活動団体のロビー展示を行うことで、市民の文化芸術活動を身近に感じ、鑑賞による心身の健康に寄与した。	観客として鑑賞するだけでなく、参加者同士でコミュニケーションの取れる工夫などを行い、さらなる事業の充実を図る。
9	児童館・児童センターにおける文化芸術事業	児童青少年課		毎月複数回実施	各児童館・児童センター	子どもを対象とした季節事業を実施し、多様な児童の参加や交流を図る。	子ども	-	ホームページ 児童館だより	・子どもを対象とした季節事業 ・児童館・児童センターでの工作やスポーツイベント ・児童館・児童センターにおける折り紙や造形・読み聞かせ等行事等 ※毎月様々なイベントを各児童館・児童センターで実施のため、参加者数は様々。	心身の健康	興味や得意なことを発見し、無理なく自己表現できる場を経験することで、心理的な安心感や達成感を生むことにつながったため。	興味関心の異なる子どもたちへの対応が課題であり、多様な企画等を実施した。
10	学校における文化芸術事業	教育指導課		-	市内各学校等	小中学校において展覧会、学芸会、音楽会、合唱コンクール等を実施する。児童・生徒の豊かな感性を磨くための学芸的行事等を実施する。	西東京市立学校児童・生徒	-		校内学芸的行事の実施、その他学芸的行事の実施 ※参加者数については集計していないため、空欄となっています。	心身の健康	展覧会、学芸会、音楽会、合唱コンクール等の各学校の取組だけでなく、児童・生徒作品等を通じて、各学校の児童・生徒や関係者だけでなく、多くの市民等に十分な鑑賞する機会をもつことができた。	社会の状況に応じた行事の在り方について検討、改善するとともに行事の意義を考え、計画を作成するよう指導していく。子どもたちの実態に応じた内容を今後も検討していく。

11	図書館縁講演会	図書館		令和6年8月18日 (日) ほか1回	①谷戸公民館 ②田無公民館	地域に関連した講演会を行うことにより、地域への愛着や理解を深める機会を創設する。	①小学生以上だれでも ②年齢制限なし	①26 ②45 人	市報 ホームページ SNS チラシ 「たまろくナビ」ホームページ掲載	①西東京市図書館子どものための地域を知る講演会「刀・鉄砲と農民たちの幕末ー150年前の田無・保谷ー」 講師：行田健晃氏 令和6年8月18日(日) ②「地形と地図を読む-ハザードマップへの応用-」 講師：原芳生氏 令和6年12月14日(土)	地域の活性化	対象年齢を幅広く設定することにより、より多くの市民が、市内の歴史や文化情報に触れられるきっかけを生み出し、地域の活性化に寄与した。	毎年度、各部署に広報物等の資料について、移管を依頼しているものの、依頼する時期、方法によっては対応されないこともあり、各部署における広報物や計画書などは市の資料として保存する必要のあることを理解されていないことが間々あることから、依頼方法や時期などを変更するなどの対策を行った。加えて、各部署や機関に対し、個別の問い合わせや交渉をすることで、移管に至っている。また、市全体としてのペーパーレス化により、各部署の情報がインターネット(市ホームページ等)掲載のみになっているケースが散見されるため、今後の収集方法について、担当部署や機関と相談・交渉の上、検討していく必要がある。
12	フレンドリーまつり	障害福祉課		令和6年10月12日 (土)	フレンドリー	フレンドリーの利用団体間及び地域との交流を図るとともに、障害福祉への理解を求めて開催する。	フレンドリーの利用団体及び館内各事業所と地域商店	1,621 人	市報 ホームページ チラシ	フレンドリーを利用している各団体の活動発表や展示の機会を提供するとともに、地域の商店や障害福祉事業所の協力により模擬店を出店し、来場者や地域との交流を図る。	地域の活性化	地域商店の参加協力が継続的に行われており、情報交換しながら今後も講演会やコンサートなどを企画し、地域との交流を重ねていく。	コロナ禍等により、施設利用の制限や規制が続いたことにより、フレンドリーから離れた団体が戻り切っていない。したがって、稼働率も回復途上であり、まだ時間がかかると思われる。フレンドリー祭りも、6年ぶりの開催であったため、寂しさは否めなかった。7年度以降については、各団体への積極的なコミュニケーションを取りながら改善を図っていきたい。
13	保谷障害者福祉センター文化祭	障害福祉課		令和6年10月18日 (金),19日(土)	西東京市保谷障害者福祉センター	利用者の方の活動の様子の紹介、成果の発表の場 利用者の方と市民との交流	市民、当事者、当事者家族、支援者等	133 人	ホームページ チラシ	・教室活動、作業療法作品等の展示 ・音楽療法の発表 ・物づくり体験、機能訓練体操の体験 ・スタンブラリー 等	共生社会の実現	障害のある方たちの作品展示だけではなく、身体を動かす運動、ものづくり体験を企画し、市民の方に参加していただいている。	感染症対策を講じて、市民の方に来場していただく形式で行いました。新型コロナウイルス感染拡大以前より来場者は減っていますが、今後も感染対策を行いながら広報に力を入れて、一人でも多くの市民の方にご来場いただけるように努めていきたいと思っております。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針1 市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ
 施策4 市民に届く効果的な文化芸術情報の提供

番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	くらしの情報の発行	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年4月5日（土）ほか11回	-	外国籍市民への情報提供を目的とし、市報から記事を抜粋し、翻訳（英語・中国語・韓国語・やさしい日本語併記）した「くらしの情報」を毎月1回市ホームページに掲載。	-	-	ホームページ	市報から記事を抜粋し、翻訳（英語・中国語・韓国語・やさしい日本語併記）した「くらしの情報」を毎月1回市ホームページに掲載。	地域の活性化	外国籍市民のために、英語・中国語・韓国語で情報発信するだけでなく、子どもや高齢者、障害者にも伝わりやすい「やさしい日本語」でも情報発信を行うことで、文化芸術事業への参加等につながり、地域の活性化に寄与した。	より多くの人に見てもらえるよう、チラシや市HPで広報を行った。
			チラシ										
2	こもれびインフォメーションの発行	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年4月1日（月）ほか6回	西東京市内全域	タクトホームこもれびGRAFAREホールで毎月開催されるイベント内容告知のため、市内全域に配布される市報に挟み込み西東京市民に対して効率的に周知する。 配布日：令和6年4月1日、6月1日、8月1日、10月1日、12月1日、2月1日	西東京市民	-	市報	西東京市全戸に配布される市報に「こもれびインフォメーション」を挟み込むことにより、会館情報を市民に対して公平に周知する。年6回偶数月に定期的に発行することにより、各催事の応募期間を十分に確保し、より多くの市民に鑑賞の機会を提供する。	地域の活性化	幅広い年齢層に対応したイベントを定期的に周知することにより、普段あまり文化事業に関心のない方の興味喚起に寄与した。	発行当初より紙質や紙の大きさに対して改善要求の声があったが、紙のサイズを一回り大きくしレイアウトも横から縦に変更することにより、掲載情報量も増えた。掲載情報もイベント開催時期から十分な告知期間をとることにより、1つの公演に対して複数回の告知ができるようになった。
3	アーティストアーカイブス	文化振興課	3-1文化資源の継承・活用・発掘によるまちづくりの推進	通年	-	地域の文化振興を目的に、地域で活躍するアーティストや文化団体などの紹介コーナーをHP内につくり、活動内容などを紹介する仕組みとなる。	西東京市出身・在住及び活動の拠点とされているアーティスト・文化団体	-	ホームページ	西東京市内で活躍もしくは市に縁のあるアーティストや文化団体を紹介するポータルサイト「アーティスト・アーカイブス」を当館ホームページ内に設置。公募・登録制とし、登録アーティストは、自主事業等にも積極的に起用し、活動を支援している。アーティストにとっては、自身の活動を広くPRすることができ、閲覧者にとっては、地域のアーティストを知り、自身の文化活動や催し等を行う際に起用する人材の参考にすることが可能となる。また、アーティスト同士の横のつながりを形成するきっかけとなり、地域の文化活動の活性化を図る。	地域の活性化	アーティスト・アーカイブスを通じて、地域の人材を広く市民に紹介することで、地域とアーティストを結び付け、地域の文化活動の活性化に繋がった。	指定管理初年度の令和5年度にはアーティスト・アーカイブスの登録者（団体）が8組、今年度は2組登録があり、現在10組の登録となっている。登録数が鈍化しているため、今後はだれでもチャレンジライブ出演者、誰でもピアノ参加者、おいでよ！こもれびホールなどの自主事業へ興味を持つ方へ直接登録のご案内ご説明をするなど個人へのアプローチに加え、こもれびインフォメーションやSNSで登録者募集の記事を掲載するなど積極的にPRしていく。
4	文ブラ情報局の発行	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年12月1日（日）	西東京市民文化プラザ	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を発刊、市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの下地を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行う。	大人・子ども	-	市報	情報誌は「文ブラ 2024年冬号」を発行。10万部印刷し、西東京市報への折込を実施したことにより主催事業の告知に繋がり、内覧会の約1,300名来場により寄与した。年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。またInstagramの反応が良くフォロワーは350を超え、現在も増加中。自主事業開催を「インスタを見て知った」とのアンケート回答者数も増えている。	地域の活性化	「文ブラ情報局」を発行することが主催事業の告知に繋がり、地域の活性化につながった。	今後は市内各所の文化芸術関連施設にチラシの配架など積極的にPRをしていきたい。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										

5	駅前情報発信プロジェクト	企画政策課		通年実施	ASTA VISION	市内外に向けて地域の魅力を発信するため、駅前情報発信拠点（ASTA VISION）を活用した行政情報の発信、PRに取り組む。	田無駅及び駅前商業施設を利用する市民など	-	ASTA VISION	令和6年度ASTA VISIONを活用した行政情報の発信数合計182件	地域の活性化	ASTA VISIONで、文化芸術情報を含む市政情報を動画で発信することにより、市民に対して従来の活字や音声メディアとは異なるアプローチで市政情報を届けることができた。	発信数は、西東京市地域情報化アクションプランで設定された成果指標を上回っているが、利用申請をする課が固定化されている傾向にあり、発信内容のテーマに偏りが生じる懸念がある。多種多様な情報が発信できるよう、当該事業について庁内周知に努める。
6	西東京市PR親善大使の活用	広報プロモーション課		令和6年6月1日ほか21回	-	市に関心と愛着を持つPR親善大使を設置し、市の情報発信機能の強化とまちの活力や魅力の向上につなげることを目的とする。	市内在住・在勤・在学が問わず、すべての方	-	市報 ホームページ SNS チラシ	<p>①JSW_NHKみんなのうたに取り上げられたことの紹介 VTR：5月2日</p> <p>②完熟フレッシュ_市報6月1日号特集面出演（検診）：6月1日（号）</p> <p>③完熟フレッシュ_市報6月1日号特集面（検診）のエフエム出演：6月1日（号）</p> <p>④JSW_ひばりヶ丘駅100周年記念式典：6月8日</p> <p>⑤森園美咲_若者調査_Xリポスト：6月19日</p> <p>⑥森園政崇_市報7月15日号特集面出演（五輪）：7月15日（号）</p> <p>⑦森園美咲_市報7月15日号特集面出演（五輪）：7月15日（号）</p> <p>⑧森園美咲_パラオリンピック激励会：7月31日</p> <p>⑨森園美咲_パラオリンピック報告（市長訪問）：10月8日</p> <p>⑩完熟フレッシュ_市民文化祭司会：10月14日</p> <p>⑪林家久蔵_谷戸公民館40周年記念イベント：11月4日</p> <p>⑫林家久蔵_介護の日イベント_11月15日</p> <p>⑬JSW_市報12月1日号特集面（ひばりヶ丘駅100周年）：12月1日（号）</p> <p>⑭JSW_年末スペシャルライブ_12月21日</p> <p>⑮林家久蔵_シニアゲームLIVE_12月26日</p> <p>⑯JSW_シニアゲームLIVE_12月26日</p> <p>⑰JSW_市24th誕生日リポスト_1月21日</p> <p>⑱榎朝銀河_市24th誕生日リポスト_1月21日</p> <p>⑲完熟フレッシュ_市24th誕生日リポスト_1月21日</p> <p>⑳シチズン卓球部_市報3月1日号特集面出演（一店逸品）_3月1日（号）</p> <p>㉑シチズン卓球部_シチズンフェスティバル_3月1日</p> <p>㉒林家久蔵_明るい選挙推進啓発講演会_3月7日</p>	地域の活性化	10月14日に行われた市民文化祭では、オープニングイベントに司会として出演いただいたことで、経験や知名度を活かし、事業やイベント等の事前の広報力強化につながったため。	PR親善大使の更なる認知度向上を図るため、各課との継続的な事業連携が必要となる。そのため、イベント等への出演依頼については、計画的なスケジュール調整に努めている。
7	児童館・児童センターだよりの発行	児童青少年課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	毎月実施	各児童館・児童センター	児童館・児童センターが実施する行事や講座、文化芸術の紹介を発信し、地域の子育て世代や関係機関に広く情報を届ける。	-	-	ホームページ 児童館だよりの	月1回または季節ごとに「児童館・児童センターだよりの」を発行。	地域の活性化	地域住民の関心や参加意欲が高まるため。	HPIにおいても公開し、より広い層へのリーチを実現。レイアウトを分かりやすく見やすい構成へと改善。
8	ゆめこらぼ通信の発行	協働コミュニケーション課	3-1文化資源の継承・活用・発掘によるまちづくりの推進	令和6年6月・9月・12月・令和7年3月	-	市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を促すことを目的に、市民活動団体や市民活動に関連する情報を集約・発信する。	-	-		市民活動団体や市民活動に関連する情報を取材等で収集し、機関紙「ゆめこらぼ通信」を年4回発行する。あわせて、毎月イベント情報、団体紹介冊子の発行を行った。	地域の活性化	市民に広く市民活動の団体や事業の情報を発信することで、活動を知ってもらい、地域の活性化に寄与した。	より多くの方に読んでもらえるよう、内容の充実にも今後努める。

9	公民館だよりの発行	公民館							ホームページ	【毎月の発行部数】 104,383部(号あたりの平均) 【文化芸術関連の特集記事】 ・4月1日号「さあ新年度! 公民館で活動するのもいいかもしれない 地元で広がるつながりと活動の場」 ・10月1日号「6館ライブツアー 音楽で西東京市をつなぐ企画と一緒に考えませんか?」 ・2月1日号「僕たちの青春は公民館です 谷戸まつりから能登へ。そして…」 【市内団体の催しものと会員募集の掲載件数】 ・催し物: 29件 ・会員募集: 52件 【市民投稿の川柳の掲載】 ・毎月3句 合計36句	地域の活性化	事業やイベントのお知らせだけでなく、特集面やコラムで人物や経緯なども紹介することで、地域の文化活動を身近に感じられるようにしているため。	限られた紙面で、お知らせ以外の情報をどのように掲載していくか、レイアウトやカラー化も含めて紙面のリニューアルを検討・改善を行う。	
							SNS							
以下再掲														
1	東京都・西東京市芸術文化連携事業	文化振興課	-	令和7年3月26日(水)	タクトホームこもれびGRAFAREホール	第3期文化芸術振興計画の基本方針1(市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ)で掲げる施策を実現するため、東京都と連携しワークショップ及びコンサートを実施した。	-	-	定員: ①40 ②200 実績: ①11 ②45 応募: ①12 ②147	市報	①ワークショップ「みんなで楽器チャレンジ2025」公募した市内の子どもの対象とし、楽器演奏のワークショップを実施 ②コンサート「みんなで手づくりコンサートin西東京2025」誰でも参加できる管楽器を中心としたコンサートを実施し、ワークショップの参加者がコンサートにもゲスト出演し、ワークショップの成果を披露	地域の活性化	広報紙やSNS等、世代ごとに適した有効な手法による情報発信をすることで、多くの市民が文化芸術に関する情報に触れ、参加することにつながり、文化芸術によるつながりが生まれ、地域の活性化に寄与した。	子ども向けのワークショップだけでなく、成果発表のコンサートを実施することで、幅広い世代が文化芸術を身近に楽しむ機会につなげることができた。より幅広い市民が文化芸術を楽しむ機会を創出するため、効果的な文化芸術情報の提供が課題として挙げられる。これまで行ってきた事業と同様の広報手段に加え、東京都による広報、外部委員会への周知等を実施したが、引き続き広報手段の検討を行う必要がある。
										ホームページ				
										SNS				
										チラシ				
										外部委員会への周知				
2	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課(保谷こもれびホール指定管理者)	-	令和6年5月26日(日)ほか23回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、音楽、演劇、伝統芸能、映画、ショー等のさまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	-	子ども～シニア	8,954人	市報	①こもれびふらり寄席: 令和6年5月26日～令和7年1月9日(全4回)、261人 ②森山良子コンサートツアー My Story: 令和6年6月5日、616人 ③西東京市民名画座: 令和6年7月6日～令和7年3月15日(1日2回上映、全4回)、2751人 ④柳田理科雄 サイエンスショー: 令和6年8月11日、417人 ⑤和太鼓 東京打撃団: 令和6年9月14日、280人 ⑥こもれび笑笑ステージ「春風亭一之輔と華麗な仲間たち」: 令和6年9月30日、578人 ⑦舞台「裸足で散歩」: 令和6年10月13日、464人 ⑧こもれび狂言会 野村万作・萬斎「狂言の世界」: 令和6年11月15日、本公演: 363人、講座20人 ※「狂言をもっと楽しむための『狂言師による狂言講座』」を本公演に先駆け、令和6年10月6日に実施。 ⑨ビューティーククxよよちゃん 歌まねジョイントコンサート in こもれびホール: 令和6年11月17日、523人 ⑩JUN SKY WALKER(S) 2days Live トウギャザーしようぜ! 1日目:アコギな奴らの聖なる夜、2日目:ロックン! ホーリーナイト: 令和6年12月21、22日、791人(延べ人数) ⑪フレッシュ名曲キャンペーンコンサート「佐川冨和ピアノリサイタル」: 令和7年1月19日、157人 ⑫ビバ! 中南米音楽祭: 令和7年2月8日、191人 ⑬フレッシュ名曲コンサート 新日本フィルハーモニー交響楽団「新世界より」: 令和7年2月16日、606人 ⑭しまじろうコンサート「しまじろうとわくわくドーナツフェスティバル」: 令和7年3月8日(1日2回公演)、1319人(延べ人数)	地域の活性化	情報紙やホームページ、SNS、地域メディア、駅貼り等、世代ごとに適した有効な媒体による情報発信をすることで、多くの市民が文化芸術に関する情報に触れ、参加することにつながり、文化芸術によるつながりが生まれ、地域の活性化に寄与した。	・公演ごとにアンケートを実施しており、そのアンケート結果から見てきた市民ニーズを踏まえ、より多くの市民のニーズに応える事業を展開していく。事前講座付き公演やキャンペーンコンサート付き公演等、様々な手法を取り入れながら、タクトホームこもれびGRAFAREホールならではの公演を実施し、一人でも多くの市民が文化芸術に触れ、体験することができるように、さらなる機会の充実を図る。 ・事業を実施するにあたり、情報紙やホームページ、SNS等を活用しているが、こもれびホールチャンネルや地域メディア、PR親善大使等、発信力のある媒体やアーティストを活用し、より多くの市民等に文化芸術情報が行き届くように市の内外に向け情報発信を行っていく。 ・今後の課題として、「子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり」は当館のミッションの一つである。子ども向け及び親子向けの音楽、演劇、伝統芸能など多彩な公演ラインナップを充実していく。
									ホームページ					
									SNS					
									チラシ					
									友の会DM、市内掲示板、地域情報誌、地元ラジオ局					
3	音楽、演劇等の文化・芸術の振興に関する事業	文化振興課(市民文化プラザ指定管理者)	-	令和7年3月2日(日)ほか	西東京市民文化プラザ	地域のニーズや実情を考慮しつつ、幅広い年齢を対象として、さまざまな公演を通じて、市民の文化芸術に触れる機会を創出することを目的に実施する。	-	1,510人	SNS	【おきがるラテンコンサート】令和7年3月2日(日)文化芸術に市民が気軽に触れることのできる無料の公演。全2回公演とし、様々な打楽器による演奏で、小さなお子様をお連れの方も含め誰もが音楽に親しむ機会を提供する。 【施設見学会】令和6年12月5日(木)～9日(月)市内文化芸術団体の演奏・演技(12/8のみ)、市民団体の作品展示、市職員による機能紹介(プロジェクターで西東京市PR映像放映)、「ONE FOR ALL西東京」が出来るまでの履歴を展示 【施設竣工式】令和6年12月7日(土)式辞・来賓紹介・祝辞・感謝状贈呈・祝賀会	地域への愛着	地域で多くの方が文化芸術に触れる機会を提供したことにより、地域への愛着向上につながった。	「おきがるラテンコンサート」では、午前(1回目)の公演で、子どもにとって「スピーカーの音が大きい」との指摘があったため、2回目の公演では小さな子供連れの方はスピーカーからなるべく離れた席をご案内した。当館初の本格的な音楽イベントとなり機材関連のセッティングに時間を要するなど対応にも追われた部分があったため、今後の開催に向けた課題とした。	
									チラシ					

4	市民文化祭	文化振興課	令和6年9月19日(木)～11月4日(月・休)	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	日頃の文化活動の成果を発表し、市民の文化活動の向上及び相互交流する機会を提供することを目的とし、市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。	参加者(個人):市内在住・在勤・在学、参加団体:市内で活動しており、会員の半数以上が市内在住・在勤・在学の方で構成された団体	13,689人	市報	【西東京市民文化祭】令和6年10月14日(月・祝)～11月4日(月・休) 市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。 ・参加団体:18部(151団体) ・参加者数:2,154名 ・来場者数:9,977名(会場来場者数6,950名、ライブ配信視聴者数3,027名) 【西東京市民文化祭PR inアスタ】令和6年9月19日(木)～22日(日) 市民文化祭をより多くの市民に周知するため、アスタセンターコートにおいて、市民文化祭の概要等を紹介したパネル展示及びステージ発表を実施した。 来場者数:1,002名 【西東京市民文化祭オープニングイベント】10月14日(月・祝) 西東京市民文化祭を紹介するために、実施期間初日に、西東京市民文化祭に参加する一部団体による演目や、ポスターや総合プログラムに掲載した優秀作品に対して、表彰式を実施した。 来場者数:484名(会場来場者274名、ライブ配信視聴者数210名) 【「日本の文化体験フェス」in市民文化祭】10月20日(日)～11月3日(日) 市民文化祭に参加している日本の文化に知識の深い市民または市民団体を講師として、体験会を実施した。 ・応募者数:延べ162名 ・参加者数:延べ72名	地域の活性化	広報紙やSNS等、世代ごとに適した有効な手法による情報発信をすることで、多くの市民が文化芸術に関する情報に触れ、参加することにつながり、文化芸術によるつながりが生まれ、地域の活性化に寄与した。	西東京市民文化祭及び関連事業について、周知方法の検討が課題として挙げられている。令和6年度は、アスタビジョンへの動画放映、西東京市公式LINEにおける「市民文化祭つうしん」の運用等新たな周知方法を検討・実施し、来場者の増加につながった。引き続き、効果的な周知ができるよう検討する。
								ホームページ				
								SNS				
								チラシ				
								アスタビジョン				
5	市民まつり	文化振興課	令和6年11月9日(土)・10日(日)	西東京いこいの森公園	西東京市民まつりは、市の伝統、風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働により、人と人とのつながりをより大切にしたいまつりを目指すことを目的とする。	制限なし	97,000人	市報	テーマ みんなでつくる市民まつり 共催 西東京市民まつり実行委員会、西東京市 開催日時 令和6年11月9日(土)午前10時から午後4時まで 令和6年11月10日(日)午前9時から午後3時30分まで 会場 西東京いこいの森公園 来場者数 令和6年11月9日(土) 50,000人 令和6年11月10日(日) 47,000人 2日間合計97,000人	地域の活性化	市報やHPを利用した、出店者や演芸参加者等の募集、市内各所へのポスターの設置、チラシの市内全戸配布等、情報発信に寄与したため。	「課題解消に向けた工夫」 ・西東京市民まつりオリジナルグッズを販売し、実施資源の確保に取り組んだ。 ・環境学習の機会等として、環境フェスティバルを同時開催環境アワードの表彰式を野外ステージで実施、環境に配慮した容器等を使用し、プラスチックごみを削減、市民まつりで排出されるごみの削減を目指した。 ・子どもがより楽しめるように子どもゾーンの出店者をより子ども向けの出店となるよう募集をかけた。 「今後の課題」 ・重要行政課題にも挙げている、市民まつり実行委員会との役割分担について、持続可能な市民まつりの実施体制の構築を検討していく。 →商工会との連携、若い世代の実行委員会への参加、財源の確保等 ・事務負担の軽減 →紙資料の削減、電子申込フォームの利用等
								ホームページ				
								SNS				
								チラシ				

6	男女平等参画関連事業	協働コミュニケーション課		令和6年6月20日(木)ほか8回	住吉会館ほか	固定的性別役割分担意識の解消等に向けて男女平等参画に関する情報提供を行い、市民意識の醸成を図る。	市内在住・在勤・在学の市民など	124人	市報 ホームページ SNS チラシ	①男女共同参画週間講演会：令和6年6月20日、10人(会場)、409回(アーカイブ配信) ②女性に対する暴力をなくす運動期間講演会：令和6年11月11日から令和7年3月31日まで、476回(アーカイブ配信) ③FIRE父さんが子どもに贈りたい言葉～限りある人生、どのように生きていくべきか～：令和6年4月20日、22人(ライブ配信) ④カンタン！かわいい！癒しのハーバリウム～好きなお花、好きな色で世界に一つだけのハーバリウムを作ろう！～：令和6年6月5日、16人 ⑤女性がこれから更年期に向けて気をつけるべき生活習慣・セルフケア～更年期を一緒に考えよう！～：令和6年7月6日、10人 ⑥それって“男性更年期”？～明日からできる対策を知ろう～：令和6年7月10日から令和7年3月31日、2,401回(オンデマンド配信) ⑦ママとパパにきいてほしい「思春期」とは！？～子どもとの関わりのヒントにしよう～：令和6年10月16日、14人 ⑧赤ちゃんと一緒に、話そう、遊ぼう！初めてママのプログラム～マザースタート・プログラム～：令和6年10月17日、31日、11月7日、21日、延べ19人 ⑨やりたい事を見つけて自分らしく生きる秘訣：令和7年3月12日、42人(会場)、79人(ライブ配信視聴者数)	地域の活性化	市の広報媒体を活用すると共に、市民委員にも拡散を依頼するなど様々な方法で周知に努めた。	市のYouTubeチャンネルやオンライン講座を実施することで、参加しやすい環境づくりに努めた。また、より興味をひく講座内容で開催することで、参加者数の増加に努める。
7	公民館における文化芸術事業	公民館		令和6年6月17日(水)ほか	各公民館	様々な世代を対象に文化芸術に触れる機会を創出するため、音楽会、映画会、講座などの主催事業を実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	846人	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	①ムービールーム柳沢(柳沢公民館) 令和6年6月17日(水)～令和7年3月19日(全10回)延べ499人 ②サロンコンサート(芝久保公民館) 令和6年8月25日38人、12月15日 39人 ③谷戸公民館40th Anniversary Concert(谷戸公民館) 令和3月20日 120人 ④保谷駅前バンドをやる発表会(保谷駅前公民館) 令和7年3月9日 150人	地域の活性化	公民館だよりや各公民館ロビーで、様々な市内の催し物情報を発信し、参加につながっているため。	観客として鑑賞するだけでなく、参加者同士でコミュニケーションの取れる工夫などを行い、さらなる事業の充実を図る。
8	平和事業	協働コミュニケーション課		令和6年4月12日(金)ほか6回	アスタセンターコートほか	市民の参加と協力のもと、「非核・平和をすすめる西東京市民の会」とともに平和事業を実施する。「西東京市平和の日」事業等を実施し、市民に対して非核・平和の意義の普及と平和意識の高揚を図る。	市内在住・在勤・在学の市民など	2,048人	市報 ホームページ SNS チラシ 市内掲示板	①西東京市平和の日(4/12 500人) ②広島平和の旅(8/5～8/6 5人) ③非核・平和パネル展(8/7～8/9 300人) ④ピースウォーク(10/27 21人) ⑤平和映画会(3/20 300人)	地域への愛着	西東京市平和の日、非核・平和パネル展をアスタセンターコートにて実施し、多くの市民が目にする事ができたため。	各種事業において文化・芸術を活用した講座や事業を実施できた。平和を継承していくために、子どもや若者などの若い世代に対して関心を持ってもらえる事業に取り組んでいる。今後も引き続き、文化・芸術も活用しながら、若い世代を巻き込んだ平和推進の取り組みを進めていく。
9	NPO市民フェスティバル	協働コミュニケーション課		令和7年2月15日(土)ほか	ONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザ	市内で活動するNPO等の市民活動団体が一堂に会し、発表・交流を行う、イベントを市民から公募した実行委員会と市民協働推進センターゆめこらほの共催で行う。	市民、市民活動団体	800人	市報 ホームページ SNS チラシ	・パネル展 2月10日～14日 田無庁舎ロビー 34団体参加 内容：各団体の日頃の活動成果についてパネルにて展示 ・対面イベント 2月15日 ONEFORALL西東京地域交流スペース・西東京市民文化プラザ 内容：基調講演、各団体による物販、ワークショップ、ステージ発表等	地域の活性化	各種団体が一堂に会することで、単独での実施に比べて大きなイベントとして、広く市民にPRできた。市の媒体を効果的に使いながら、近隣には丁寧なポスティングも実施した。	会場にあえて、開設したばかりのONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザを選び、施設を管理する法人や指定管理者と、施設を今後使うことになる市民活動団体をつなげることで、今回のイベント後に当該施設を利用した例や、地域交流スペースの活用につながったケースがあった。また、基調講演に著名な作家をお呼びするとともに、子ども向けのチラシを別途作成し、キッチンカーや物販、施設管理者の独自企画など、単なる市民活動の紹介だけに留まらない、一般市民や子どもも参加しやすいイベントにして、集客を図った。課題としては、関係者以外の広く市民に感心を持ってもらうことで、イベントについてはある程度の成果があったが、パネル展については場所も含めてもっと多くの方に見ていただくにはどうすれば良い考える必要がある。

10	文化財普及事業	地域学習推進課		令和6年4月19日ほか4回	郷土資料室ほか	文化財の保存・活用を推進し、文化財の魅力を発信により、地域活性化や文化振興に貢献。 市が主催・共催となって文化財を活用するほか、石仏など、文化財の所有者に管理をお願いしつつ、市民に公開していただくことで文化財を確実に保存し、広く普及することが目的。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	①名勝小金井サクラ「桜樹接種碑」解説会 R6.4/19 ②下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活 R6.4/20～11/24 ③土器と生け花 R6. 11/20～11/24 ④秋の屋敷林企画 保谷のアイ R6. 11/3 ⑤”和紙わらべ人形”で伝えたい 昭和の子どもの暮らし R7. 1/30～3/16 ⑥市指定文化財36件を所有者・管理者に管理を依頼しており、管理報告書の確認と謝金の支払い。 また、新たに指定文化財のバトロールを開始した。 ⑦劣化石造物の3D撮影による記録保存。	地域の活性化	企画事業の広報などに市のSNSやプレスリリースを積極的に活用したり、HPの内容の充実化をはかることで市民への効果的な発信ができた。	文化財の保存・継承に関しては、所有者・保持者の高齢化、無形文化財の後継者の不足が課題となっている。活用事業の充実などを通して、価値と魅力を広く周知することが大切であるため、サクラの解説会や、生け花を絡めた展示などを行っている。
11	郷土資料室での文化財の収集、保管、展示	地域学習推進課		令和6年7月20日ほか6回	郷土資料室	市内の郷土資料（考古資料・歴史資料・民具・民俗資料）を収集・保管・保存・展示することで、文化財の保存・活用を実施する。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	①トレジャーハンター 歴史の宝ものさがし：R6. 7/20～9/1 ②自由研究応援ウィーク：R6. 6/23～8/25 ③下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④石物語：R6. 11/1～11/24 ⑤土器と生け花：R6. 11/20～11/24 ⑥文化財が語る 西東京市の江戸時代：R6. 11/24 ⑦”和紙わらべ人形”で伝えたい～昭和の子どもの暮らし～：R7. 1/30～3/16 その他、市民からの申し出を受けて民具等を収集し、新資料としてデータベース化した。	地域の活性化	西東京市の歴史をジオラマにしてわかりやすく展示するなど、市に帰属意識を持たせる展示を行った。	現在の郷土資料室は、「博物館」設置にいたる暫定的な施設との位置付けにあり、学芸員体制の不備、収蔵スペースの不足、収蔵環境の不備などの課題に加え、交通アクセスが悪い点なども課題となっている。新たな分野の講座や大学との連携など、見学者の興味、関心をよりひくような事業展開が必要。 収蔵環境とともに見学の環境もより良好にしていく事も必要。
12	史跡下野谷遺跡保存・活用事業	地域学習推進課		令和6年5月21日ほか	下野谷遺跡を中心とした市内全域	社会状況の変化や価値観の多様化により文化財を保護することが困難になりつつある中で、下野谷遺跡をはじめとした市内の歴史文化を広く周知し、後世に保存継承すること、また、その価値と魅力をまちづくりや人づくりに生かすことを目的とする。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	保存：追加指定1件・史跡地の公有地化3件 活用：①第14回縄文のムラで春風と遊ぼう！ R6.5/21 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③展示 下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④近隣市との共催によるスタンプラリー-R6.7/20～R7.1/31 その他学校教育や生涯学習での活用（団体見学や、探究学習の資料として） 整備：史跡地の復元展示物に説明看板を設置した。	地域の活性化	VR下野谷縄文ミュージアムの周知に努めたほか、史跡地の復元展示物に新たに設置した解説板にQRコードを付してHPでの解説に誘導するなど下野谷遺跡の情報を発信し続けた。	竪穴住居などの展示物をふくむ整備地の防犯面も含めた管理と、出土品の展示等も求める市民要望があり、下野谷遺跡整備地のガイド機能の強化が課題である。令和7年度は下野谷遺跡エントランスにモニター設置を行い、来訪者に遺跡の価値と魅力を伝えられるよう取り組む。
13	地域・行政資料の収集、提供、保存	図書館		通年	西東京市図書館	地域に関する専門図書館として、西東京市に関連する資料や情報を収集することで、後世への継承を担い、また収集した資料を整理、保存することで、必要に応じて利用者へ提供し地域を知るための基礎資料としての役割を果たしている。	全市民	-	市内ほか小学校や市内学校などへの移管依頼	5～6月に、市内各部署及び市内各学校へ行政資料や刊行物の移管を文書で依頼。また、市内図書館の地域・行政資料コーナーを定期的に確認し、刊行年の古い行政資料を新しい資料にすべく、該当部署への移管を依頼。令和6年度に地域行政資料として受け入れた資料数は2,838冊（内寄贈、移管1,969冊）で、他自治体や市内団体も含め多くの寄贈、移管いただいた。 市民だけでなく、市内からのレファレンス対応や、画像データの提供等も行う。 外部書庫で重要資料や除籍不可資料を保管しており、定期的に中身を確認し、精査、入れ替えをしている。	地域への愛着	地域の小学生から郷土史家の方まで、幅広い年代や目的に対応できるようにすることで、興味関心を持つ利用者の求める情報を提供できるように心掛けている。学んだことを通じ、地域への愛着向上に寄与していると考えられる。	毎年移管依頼を行っているが、行き届いていないことが間々あることから、依頼方法やタイミングを変更するなどの対策を行った。加えて、各部署や機関に対し、個別の問い合わせや交渉をすることで、移管いただけた。 ペーパーレス化により、情報がインターネット掲載のみになっているケースが散見されるため、今後の収集方法について、担当部署や機関と相談の上検討していく必要がある。
14	パリテまつり	協働コミュニケーション課		令和7年1月25日（土）ほか1回	J:COMコール田無	市民と協働で男女平等参画についての意識啓発や情報提供を行う。	市内在住・在勤・在学の市民など	312人	市報 ホームページ SNS チラシ	①エンタメでエンパワー～“わたしらしく”は私が決める～：令和7年1月25日、126人 ②iPadでキラキララインボー模様を作ろう！簡単操作で思いがけない模様が出来ます：令和7年1月25日、16人 ③みんな大好き「睡眠」のはなし～睡眠と姿勢の大切さについて～：令和7年1月25日、5人 ④赤ちゃん抱っこヨガハグヨガ：令和7年1月26日、28人 ⑤パパの初めてのバルーンアート講座：令和7年1月26日、15人 ⑥子どもが発達障がいでも、なくても、パパがやること全部：令和7年1月26日、3人 ⑦映画『ゲイビーベイビー』上映会&交流会：令和7年1月26日、11人 ⑧西東京プレーパーク★キャラバン パンプススペシャル&アウトドアおはなし広場：令和7年1月26日、63人 ⑨2025年 M's & K's メドレー：令和7年1月26日、45人	地域の活性化	市の広報媒体を活用すると共に、パリテまつり実行委員会独自のSNSアカウントにより情報を発信した。	各講座でアンケートを取り次回企画に反映するほか、継続して参加する団体が運営することで、それぞれの講座運営で得た課題や改善点をより具体的に反映していく。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える 施策1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	子どもの文化芸術事業に関わる団体への支援（子どもの文化芸術事業補助金）	文化振興課	1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり	令和6年5月3日（金）ほか	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業に対し、市がその事業に係る経費の一部を補助することにより、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動の場及び機会の充実を図ることを目的とする。	・市内に在住、在勤若しくは在学をする18歳以上の者 ・以下要件を満たす団体 (1) 市内に事務所又は活動の拠点を有する非営利団体であること。 (2) 団体の規約又はこれに類するものを有し、代表者及び所在地が明らかであること。 (3) 会計経理が明確であること。 (4) 国、地方公共団体、独立行政法人その他の公法人及びこれらに類する団体でないこと。	7 団体	市報	子どもの文化芸術事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、個人・団体を募集した。その結果、7団体より交付申請があり、ウエスト・ファン・ジュニアへ112,000円、Kidsミュージカルファクトリーへ200,000円、一般社団法人 西東京市文化芸術振興会へ26,000円、ウィンドアンサンブル和へ175,000円、西東京ジュニア・ユースオーケストラへ107,000円、碧山吹奏楽部へ200,000円、個人へ200,000円を交付し、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動に関わる個人及び団体への支援を行うことができた。	地域の活性化	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業を実施する個人及び団体に対し、補助金の交付を行うことで継続的な文化芸術活動の支援につながり、地域の活性化に寄与した。	令和6年度に新設された補助金であり、認知度が低いことが課題であることから、補助金の周知に努める。
			ホームページ										
			SNS										
			2-2文化芸術を支える人材の育成と活用						チラシ				
			2-3活動者の情報共有・連携による取組の充実										
2	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	2-2文化芸術を支える人材の育成と活用	令和6年4月17日（水）ほか75回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域の文化芸術団体との共催事業を通じて、音楽、演劇、映画、舞踊、伝統芸能など市民がさまざまな文化芸術に触れる機会を創出することや発表の場を市民に提供することで地域の文化芸術の育成・振興を目的に実施する。	子ども～シニア	4,575 人	市報	①アーティスト・アーカイブス：通年、10人（登録者数） ②こもれびチャンネル：通年 ③こもれび@ライブ：通年 ④ワンコインライブ：令和6年4月17日、6月26日、8月30日、10月30日、12月11日、令和7年1月24日（全6回）、554人 ⑤こもれびフリーライブ：令和6年5月6日、7月10日、9月24日、11月29日（全4回）、374人 ⑥第15回西東京Hulaフェスティバル：令和6年5月12日、192人 ⑦2024西東京市民映画祭 第20回自主製作映画コンペティション：令和7年5月25日、155人 ⑧西東京フィルハーモニーオーケストラ 第36回定期演奏会：令和6年7月7日、460人 ⑨子ども文化芸術フェア2024 あっとアート体験：令和6年8月25日、611人 ⑩西東京市民映画祭：令和6年9月21日～9月23日、851人 ⑪Kidsミュージカルファクトリー Presents 子どもミュージカルワークショップ発表公演「月のうさぎと転校生」：令和6年12月27日、28日、603人 ⑫西東京ジュニア・ユースオーケストラ 第15回定期演奏会：令和7年1月26日、255人 ⑬コーラスこもれび ワークショップ：通年(月2回)、発表会：令和7年2月2日、260人（発表会） ⑭つなぐ・みんなの笑顔2025：令和7年3月16日、250人 ⑮こども踊り教室：教室：通年(月2回)、発表会：令和7年3月30日、200人（発表会）	地域の活性化	日常的な活動の場や発表の場を提供することや情報誌やホームページによるPRを行うことで、地域団体が自立的・継続的に文化芸術活動を推進することに寄与した。	・地域で活躍する文化・芸術活動を行う団体や個人のイベントや発表の場にホール職員が自ら出向き、ワンコインライブやフリーライブへのオファーをすることにより出演が決定したり、当館のアーティスト・アーカイブスに登録していただいた事例があった。これからの文化芸術を支える地域の人材を育成する取り組みを継続していきたい。 ・今後の課題として「文化芸術に触れる機会をより多くの市民に提供すること」が挙げられる。当館事業や文化・芸術活動を行う団体の公演やイベントの模様をライブ配信することにより、当日会場にお越しいただけない市民の方々にも文化芸術に触れる機会を創出していきたい。
			ホームページ										
			SNS										
			2-3活動者の情報共有・連携による取組の充実						チラシ				

3	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課 (市民文化プラザ指定管理者)	2-2文化芸術を支える人材の育成と活用	令和6年12月1日 (月) ほか	-	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。	-	-	ホームページ	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの下地を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行った。その結果、主催事業の告知に繋がり、内覧会には約1,300名が来場し、年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。	地域の活性化	市内全戸配布の効果もあり、施設やイベント情報を多くの市民に伝えることができ、多くの方の来場につながった。地域のイベントに参加していただくことにより地域の活性化につながった。	引続き効果的に施設やイベント情報を伝えるため、内容を検討していく。
			SNS										
			チラシ										
4	アーティストバンクに登録のあるアーティストを登用した事業	文化振興課 (保谷こもれびホール指定管理者)		令和6年5月6日 (月・祝) ほか 1回	1階エントランス (5/6)、3階小ホール (5/19)	地域の文化振興を目的に、当館自主事業にてアーティスト・アーカイブス登録アーティストを起用することで、地域の文化活動の活性化を図る。	西東京市内で活躍もしくは市に縁のあるアーティストや文化団体	8人	チラシ	下記の自主事業内でアーティスト・アーカイブス登録アーティストを起用 ①こもれびフリーライブ：令和6年5月6日：小山尚子（ピアノ）（1名） ②だれでもチャレンジライブ：令和6年5月19日：フーテンのヒロ（1名）、ヒナタポッコ（3名）、J-Brothers（3名）	地域の活性化	登録アーティストを当館自主事業に積極的に起用し、活動を支援した。登録アーティストに発表の場を提供することで、地域の文化活動の活性化が図れた。	地域のアーティストを多く活用しているこもれびフリーライブ、だれでもチャレンジライブなどの自主事業の他に、ワンコインライブや西東京ゆかりのアーティストコンサートなど登録アーティストを起用する事業を拡大していきたい。さらに、今後はだれでもチャレンジライブ出演者や誰でもピアノ、おいでよ！こもれびホール参加者など自主事業へ興味を持つ方へアーティスト・アーカイブスのご案内をすることで、登録アーティストを増やしていきたい。
5	自治会・町内会等への支援（自治会・町内会等活性化補助金）	協働コミュニティ課	1-1誰もか親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年8月2日 (金) ほか12回	市内各所	自治会・町内会等の活性化及び良好な地域社会の維持、形成を目的として、自治会・町内会等がより良い地域社会実現のために行う事業に対して補助金の交付を行うもの。	市内自治会・町内会・マンション管理組合	-	チラシ	補助事業のうち、文化芸術に関するものの抜粋 ①地域交流活性化づくりの夏まつり：令和6年8月2～5日 約900人 ②秋の文化祭：令和6年9月28日、11月16日 381人 ③納涼盆踊り大会：令和6年8月24日 300人 ④多文化交流会：令和6年7月28日 25人 ⑤夏祭り：令和6年8月24日 78人 ⑥ウィーガーデン夏祭り：令和6年7月28日 923人 ⑦歌芝居「あなたの扉を開けて」上映：令和6年11月2日 41人 ⑧落語を楽しむ会：令和6年10月20日 30人 ⑨新春コンサート：令和7年3月2日 37人 ⑩早春のつどい：令和7年2月24日 180人 ⑪七夕まつり：令和6年7月1～7日及び11日 150人 ⑫七夕短冊飾りイベント：令和6年7月6日 94人 ⑬荒屋敷こどもまつり：令和6年7月20日 800人	地域の活性化	自治会・町内会等が運営するお祭りなどのイベントは、住民が自主的に企画・運営する自立した活動になり、世代を超えた交流や地域の文化を守るきっかけにもなる。また、イベントに人が集まることで地域の活性化にも繋がっている。	自治会・町内会等活性化補助金は、地域の伝統文化や様々な芸術鑑賞の機会の提供等、地域活動を支える大切な仕組みであるが、自治会等の会員の減少、役員の高齢化などにより、担い手の負担が増えている。市では、活性化補助金の地域連携部門を創設するなど、自治会等とそのほかの地域団体が連携して、地域の活動を担える仕組みづくりに取り組んでいる。
			ポスター										
			回覧板										
			掲示板等										
6	NPO市民フェスティバル	協働コミュニティ課	1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供	令和7年2月15日 (土) ほか	ONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザ	市内で活動するNPO等の市民活動団体が一堂に会し、発表・交流を行う、イベントを市民から公募した実行委員会と市民協働推進センターゆめこらほの共催で行う。	市民、市民活動団体	800人	市報	・パネル展 2月10日～14日 田無庁舎ロビー 34団体参加 内容：各団体の日頃の活動成果についてパネルにて展示 ・対面イベント 2月15日 ONEFORALL西東京地域交流スペース・西東京市民文化プラザ 内容：基調講演、各団体による物販、ワークショップ、ステージ発表等	地域の活性化	文化や、音楽、芸術などの市民活動団体が、パネル展や対面イベントへの出店を通じて、自身の活動の成果を発表し、市民や他団体との交流の場となった。	会場にあえて、開設したばかりのONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザを選び、施設を管理する法人や指定管理者と、施設を今後使うことになる市民活動団体をつなげることで、今回のイベント後に当該施設を利用した例や、地域交流スペースの活用につながったケースがあった。また、基調講演に著名な作家をお呼びするとともに、子ども向けのチラシを別途作成し、キッチンカーや物販、施設管理者の独自企画など、単なる市民活動の紹介だけに留まらない、一般市民や子どもも参加しやすいイベントにして、集客を図った。課題としては、関係者以外の広く市民に感心を持ってもらうことで、イベントについてはある程度の成果があったが、パネル展については場所も含めてもっと多くの方に見ていただくにはどうすれば良い考える必要がある。
			ホームページ										
			SNS										
7	市民協働企画提案事業	協働コミュニティ課	2-2文化芸術を支える人材の育成と活用	-	-	氏とNPOや市民活動団体等との協働を推進することを目的に、NPOや市民活動団体等と市が協働で、地域の課題解決と市民サービスの向上に向けて取り組む事業に対して、補助金を交付する。	市内で事業を実施するNPOや市民活動団体	4団体	市報	①藍染め&きりたんぼづくり体験会：令和6年8月17日、25人 ②とくしまワークショップ：令和6年12月15日、15人 ③コミュニティFMを利用した西芳教師の魅力発信と中高生ラジオプロジェクト ④One scene 西東京	地域の活性化	NPOや市民活動団体等の自主性、自立性を高め、事業の安定的運営、拡充を図ることに寄与した。	団体との連絡やスケジュール管理をさらに大切にすることで、団体と市が適切な役割分担をしてスムーズに事業を実施できるようにする。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										

8	サークル見学会	公民館	2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実	令和6年6月11日 (火) ほか 全7回	田無公民館 ロビー	田無公民館の利用団体が、田無公民館ロビーで活動報告や発表を行い、興味のある市民が見学体験する。 公民館で活動するサークルの紹介の場、新規会員獲得の機会、サークル間交流の場として、活動の活性化や継続を支援することを目的とする。また市民にとっては公民館のサークル活動を知り、地域での活動参加につながっていくきっかけとなる。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ	実施回数：7回 見学者数：延べ140人 参加団体：22団体（中国語、スマホ・タブレット・パソコン、茶道、ウクレレ、着付け・組紐、フラダンス、国際理解学習、パンチニードル、絵画、エッグアート、刺繍、女声コーラス、沖縄三線、二胡、韓国語、自力整体、地域から孤立をなくす語り合い、マジック、コスベル、交響楽団、編み物）	地域の活性化	本番に向けて、ポスター・チラシ作りや発表体験内容を仲間と相談し合うことでサークル内の活性化が図れたため。また見学会をきっかけにサークルに加入する。	参加団体同士だけでなく、職員と参加団体との交流も深まったため、今後そのつながりをどう活かしていけるか検討し、さらなる充実につなげる。
			SNS										
			チラシ										
			公民館だより										
以下再掲													
1	ホールボランティアの活用	文化振興課		通年	タクトホームこもれびGRAFAREホールメインホール及び小ホール ほか	地域の文化芸術を支える人材の育成と活用やアートマネジメントへの興味関心を喚起することを目的に、随時、ホールボランティアの募集を行い、主に自主事業において会場運営業務に協力していただいている。	ホールボランティアに関心がある方であれば、どなたでも参加可能。	1 人	ホームページ チラシ	ボランティア活動として、主に自主事業公演等（12事業）における、もぎり、プログラム・アンケート配布、客席案内などの会場運営に参加。活動前にレセプションの業務に関する事前研修を受講。	地域の活性化	市民の地域参画や社会教育の場として、ボランティアが機能しており、地域の活性化に寄与した。	指定管理初年度の令和5年度にはホールボランティア登録者が18名、今年度は1名登録があり、現在、19名の登録となっている。登録数が鈍化しているため、今後はこもれびインフォメーションへ募集記事を掲載することに加え、ボランティアに興味のある学生に対するPRも積極的にやっていきたい。今年度から希望者には、ボランティア活動証明書を発行している。
2	市民まつり	文化振興課		令和6年11月9日（土）・10日（日）	西東京いこいの森公園	西東京市民まつりは、市の伝統、風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働により、人と人とのつながりをより大切にしたいまつりを目指すことを目的とする。	制限なし	97,000 人	市報 ホームページ SNS チラシ	テーマ みんなでつくる市民まつり 共催 西東京市民まつり実行委員会、西東京市 開催日時 令和6年11月9日（土）午前10時から午後4時まで 令和6年11月10日（日）午前9時から午後3時30分まで 会場 西東京いこいの森公園 来場者数 令和6年11月9日（土） 50,000人 令和6年11月10日（日） 47,000人 2日間合計97,000人	地域への愛着	市内構成団体・市民で構成された実行委員会と市が共催して、子どもたちが楽しめる内容の検討や環境への配慮等、市民まつりがより充実したものであるための検討をしたため。	「課題解消に向けた工夫」 ・西東京市民まつりオリジナルグッズを販売し、実施資源の確保に取り組んだ。 ・環境学習の機会等として、環境フェスティバルを同時開催環境アワードの表彰式を野外ステージで実施、環境に配慮した容器等を使用し、プラスチックごみを削減、市民まつりで排出されるごみの削減を目指した。 ・子どもがより楽しめるように子どもゾーンの出店者をより子ども向けの出店となるよう募集をかけた。 「今後の課題」 ・重要行政課題にも挙げている、市民まつり実行委員会との役割分担について、持続可能な市民まつりの実施体制の構築を検討していく。 →商工会との連携、若い世代の実行委員会への参加、財源の確保等 ・事務負担の軽減 →紙資料の削減、電子申込フォームの利用等
3	保谷こもれびホール利用者意見交換会	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和7年2月7日（金）ほか回	音楽練習室	こもれびホールの利用者に普段利用に際し感じていることを自由に語っていただき、今後の会館運営に活かしていくことを目的とする。	こもれびホールの利用団体・個人	12 人	こもれびインフォメーション	実施日：令和7年2月7日（金） 参加団体・個人：西東京フィルハーモニーオーケストラ、富士町カラオケ同好会、西東京稲門会、西東京ジュニア・ユースオーケストラ、ウインドアンサンブル和、保谷民謡連合会、ドリームウエストウインドオーケストラ、西東京文化芸出振興会、TOHNO DANCE STUDIO、参加個人：三瓶衛、佐伯充代子 会場：音楽練習室	地域への愛着	西東京市民まつりオリジナルグッズの作成・販売をすることで市民まつり実施財源の確保及び地域への愛着向上に寄与したため。	・特定の団体だけではなく広く市民からの意見を収集できるように、会館側から利用の多い団体や個人に参加の要請を行った。 ・議題やテーマを設けず、会館利用に際しての率直な意見を伺う事により、普段は見過ごしがちな視点に気が付いた。 ・開催に対しての周知が不十分であるとの指摘があったため、次年度はチラシだけでなく、会館HPや館内パネルへの掲示も行う。
4	伝統文化親子教室事業への支援	文化振興課		令和7年11月23日（金）ほか4日	タクトホームこもれびGRAFAREホール ほか	市内の親子が伝統文化に親しむきっかけとなるよう西東京市親子体験教室事業実行委員会が事業を実施しており、西東京市が文化庁への補助金申請等を支援している。	小学1年生～高校3年生と保護者	定員：270 実績：306 応募：306	チラシ	・11月23日（土）J:COMコール田無：琴体験、和装着付け・日本舞踊体験 ・11月24日（日）J:COMコール田無：日本かつら・舞台化粧・和装体験、日本舞踊体験 ・12月22日（日）J:COMコール田無：華道体験、茶道体験 ・1月11日（土）タクトホームこもれびGRAFAREホール：古典芸能である日本舞踊の舞台を体験	地域の活性化	子どもたちが地域に伝わる伝統文化等を体験することや、指導者をはじめ地域の伝統文化等に携わる人と関わることで、地域文化を活性化することにつながり、文化芸術によるつながりが生まれ、地域の活性化に寄与した。	例年多くの方に参加していただいているが、さらに多くの方に参加していただくため、広報支援等を継続して実施していく。

5	伝統文化等継承事業に関わる団体への支援（伝統文化等継承事業補助金）	文化振興課		令和6年7月13日（土）ほか 28回	津島神社ほか	西東京市における伝統芸能、民俗芸能及び文化財を後継者が受け継ぎ、地域に根付かせ継承する事業を行う団体に対して、補助金を交付することによって、伝統文化等継承事業を推進し、もって市民の郷土に対する認識と愛着の向上、担い手となる後継者の育成及び地域の連携を図ることを目的とする。	・西東京市の歴史の中で培ってきた事業で、継承を行うことが必要と認められる事業 ・過去に西東京市で実施されていた事業で、復活・発掘を行うことが必要と認められる事業 ・その他市長が認める事業	定員：5 実績：5団体 応募：5	市報 ホームページ SNS チラシ	伝統文化等継承事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、団体を募集した。その結果、5団体より交付申請があり、保二小子ども焼き実行委員会へ93,475円、上台台子ども焼き実行委員会へ100,000円、明保中子ども焼き実行委員会へ100,000円、田無囃子保存会100,000円、保谷和太鼓会へ100,000円を交付し、伝統文化等継承事業に関わる団体への支援を行うことができた。	心身の健康	伝統文化等継承事業補助金交付団体に対し、自立的な事業実施に向けた助言をすることで、多くの市民が継続的に文化芸術に触れる機会を提供することにつながり、心身の健康づくりに寄与した。	新たに地域の伝統文化を発掘することが課題であるため、情報収集に努め、関係部署と連携を図り文化資源を発掘する取組みについて検討を行う。
6	多摩5美術展	文化振興課		令和6年11月23日（土）から29日（金）まで	西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」	①圏域5市を代表する著名な画家の作品を、圏域住民に鑑賞いただくことにより、市域を越えた芸術家及び市民の交流を図るとともに、圏域内における文化芸術の普及と還元を図る。 ②キットバスを活用した文化芸術事業を通じて、市民の誰もが身近に文化芸術に親しめるよう鑑賞・体験機会の充実を図るとともに、圏域5市の広域的交流を促進し、文化芸術の更なる振興を図る。 ③圏域5市で活動する作家の方たちが描いた作品を選び、同じ地域の鑑賞者（圏域5市の市民）と対話型鑑賞をして作品を身近に感じてもらいながら他者との見え方の違いに気づけたり、様々な意見を肯定的に受け入れることで新たな発見をするような体験をしてもらう。アートみーるのことも知ってもらえる機会となる。	①小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の美術家 ②圏域5市（西東京市、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市）に在住、在学、在勤の小学4年生以上の方 ③多摩5美術展来場者	定員：①③なし ②15 実績：①936 ②9 ③12 応募：①③なし ②15	市報 ホームページ SNS チラシ	①多摩5美術展 ②多摩5美術展ワークショップ「キットバスを使って会場のガラスを彩ろう！」 ③「対話による美術鑑賞」事業体験会	心身の健康	多摩5美術展の実施に関して必要な助言を行うこと等により、多摩5美術展を継続して実施できるよう支援を行い、文化芸術に触れる機会の継続的な提供に繋がったことで、活動者及び来場者の心身の健康づくりに寄与した。	新たな出品者や来場者を取り込むことが課題として挙げられているため、関連事業を実施することで、新たな出品者や来場者の掘り起こしにつながった。
7	中学・高校生年代イベントプロジェクト	児童青少年課		令和7年2月9日（日）	タクトホームこもれびGRAFAREホール	・イベントの運営や実施を通して中学・高校生年代の交流の場を設定する。 ・中学・高校生年代に対して、発表の場を通して様々な体験をする機会を提供する。 ・中高校生の興味関心のあるプロフェッショナルとのコラボレーションを図る。	市内および近隣に在住、在学、在勤の高校生	定員：30 実績：28 応募：28	チラシ 各高等学校へ協力依頼	高校生スタッフによる、イベントの企画から運営までの実践 中学・高校生年代による、特技や技術の発表 高校生スタッフが選んだ講師によるゲスト出演	地域への愛着	自ら企画・運営に関わる体験を通じて、地域の文化資源と関わり、地域への理解と関心が深まったため。	情報発信を強化し、学校・地域と連携して参加促進を図った。 振り返り機会の設置により、活動の質と継続性を高めた。
8	公民館まつり	公民館		令和6年11月11日（水）ほか	各公民館	公民館を利用して活動する団体の活動成果発表の場、地域住民や参加団体の交流の場、日ごろ公民館を利用しない市民に公民館に関心を持ち、足を運んでもらう機会とするため各公民館で公民館祭まつりを実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	6,581人	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	①ヤギフェスVol.13（柳沢公民館）令和6年11月11日（水）～11月24日 2,025人 ②田無公民館ロビーまつり（田無公民館）令和6年7月14日 860人 ③第41回芝久保公民館まつり（芝久保公民館）令和6年10月26日、27日 926人 ④谷戸まつり（谷戸公民館）令和6年4月27日、28日 1,489人 ⑤第16回ひばりが丘フェスティバル（ひばりが丘公民館）令和7年3月2日 552人 ⑥第15回駅前フェスタ2024（保谷駅前公民館）令和6年10月19日、20日 729人	地域の活性化	すべて市民による実行委員会が中心となり公民館と力を合わせ実施しており、団体の自立性・継続性を念頭に支援しているため。	実行委員会の世代循環が課題。新たなまつり参加者や担い手等の人材発掘のため広報や呼びかけを強化し、事業の継続とさらなる充実を図る。
9	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会	スポーツ振興課		令和6年5月15日（水）ほか1回	イングビル3階第3会議室ほか	西東京市のスポーツ相談窓口事業の維持・充実のため、庁内関係各課及び外部関係機関が情報交換及び共通認識を図ることを目的とする。	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会設置要綱第3による	-	庁内メールによる	スポーツ相談窓口の運営に当たり、関係各課及び外部関係機関との情報交換を行う。 （主な議題） ・スポーツ相談窓口運営実績報告 ・第2期西東京市スポーツ推進計画に基づく庁内連携について ・新年度予算要求に伴う各課スポーツ関連事業及びスポーツ相談窓口との連携について ・スポーツ関連事業補助金について	地域の活性化	文化芸術活動の周知については、担当課と連携し情報提供に寄与することができた。	スポーツ相談窓口の存在を多くの市民の方に知っていただき、気軽に利用していただくために市民周知や情報提供について検討する必要がある。

10	商店街活性化推進補助事業	産業振興課		令和6年10月12日 (土) ほか1回	田無神社	文化資源である田無神社を中心とした地域との連携事業を行い、商店街の認知度向上、地域及び商店街の活性化を目的とする。	市民など	3,000 人	ホームページ	10月12日(土)に行われた宵宮祭では、五龍神神輿、女神輿渡御を行った。 10月13日(日)に行われた本宮祭では、本宮神輿渡御を行った。 両日ともに御旅所の一ヶ所を田無商業協同組合が設営し、神輿の担ぎ手等を労った。	地域への愛着	神輿の担ぎ手だけでなく、幅広い世代の見物客が訪れ、大きな賑わいを創出したことにより、地域への愛着に寄与した。	御旅所において、飲食物を提供しているが、提供物についても商店街会員や地域の事業者が手掛けるものを用意することにより、事業実施後の集客及び個店の売上増加につながり、更なる地域の活性化を図る。
11	市民交流施設の運営への利用者意見の反映	協働コミュニティ課		令和7年1月中旬～2月中旬	コミュニティセンター	施設利用者のご意見を伺い、いただいたご意見を反映した施設運営を行うため。	コミュニティセンター利用者	1,506 人	コミュニティセンター広報紙	施設管理者(住民による協議会)との意見交換会や、利用者へのアンケートを通じて、施設利用者のご意見を伺い、いただいたご意見を反映した施設運営を行う。	地域の活性化	施設管理者(住民による協議会)との意見交換会を通じて、利用者のニーズを把握し、情報を共有しているため。	施設管理者(住民による協議会)との定例的な意見交換会において、施設の利用実態等を把握し、利用拡大について意見交換、検討することができた。引き続き、利用者アンケートや地域型交流施設における住民協議会での意見交換会等を通じて、利用者の意見を把握して、施設管理に活かしていく。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える 施策2 文化芸術を支える人材の育成と活用													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	ホールボランティアの活用	文化振興課	2-1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進	通年	タクトホーム こもれび GRAFARE ホール メインホール 及び小ホール ほか	地域の文化芸術を支える人材の育成と活用やアートマネジメントへの興味関心を喚起することを目的に、随時、ホールボランティアの募集を行い、主に自主事業において会場運営業務に協力していただいている。	ホールボランティアに関心がある方であれば、どなたでも参加可能。	1 人	ホームページ	ボランティア活動として、主に自主事業公演等（12事業）における、もぎり、プログラム・アンケート配布、客席案内などの会場運営に参加。活動前にレセプションの業務に関する事前研修を受講。	地域への愛着	ホールボランティアへの参加は、地域の文化芸術を支える人材の育成と活用に関与したといえる。また、ホールの業務に携わることで、ホール運営へのより深い理解と地域の文化施設に対する愛着を持っていただくきっかけとなった。	指定管理初年度の令和5年度にはホールボランティア登録者が18名、今年度は1名登録があり、現在、19名の登録となっている。登録数が鈍化しているため、今後はこもれびインフォメーションへ募集記事を掲載することに加え、ボランティアに興味のある学生に対するPRも積極的に行っていく。今年度から希望者には、ボランティア活動証明書を発行している。
			チラシ										
2	地域福祉コーディネーター事業	地域共生課	3-2 文化芸術を通じた多様性の理解と交流の促進	令和6年10月24日（木）、25日（金）	アスタセンターコート	企画・運営に関わる市民ボランティアのスキル向上や地域活動の紹介、普及啓発を目的として「みんなの居場所（サードプレイス）展」を実施。	制限なし	227 人	市報	市が委託している「西東京市ほっとするまちネットワークシステム事業」の一環として、市民に対する事業周知としてパネル展示や地域活動の紹介、交流コーナーとして、レジン制作体験やカードゲームやボードゲームを実施した。	地域への愛着	地域活動の情報提供により、文化芸術に触れる機会の提供につながり、地域への愛着向上に寄与した。	様々な開催方法、場所での開催を検討する。
			チラシ										
3	地域介護予防活動支援事業	高齢者支援課	1-1 誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	月1回以上	北町コミュニティセンター ほか	街中いきいきなサロンは、住民の方々が運営している”誰でも気軽に参加できる”集いの場である。サロン活動では、住民の方々が工夫を凝らしながら、様々な活動を提供している。	-	13,068 人	チラシ	住民による自主活動であるため、活動場所や運営についても住民主体で実施している集いの場である。サロン活動で、子どもから高齢者まで誰でも参加できる。46の団体（令和6年4月現在）により、茶話会、健康体操、傾聴、囲碁、将棋、麻雀、俳句など様々な活動。月に1回以上の開催が補助金交付の条件であるが、中には補助金を受けず、完全な自主運営の団体もある。参加費は無料が基本であるが、茶菓等の実費負担の団体もある。	地域への愛着	46あるサロンは、それぞれが近隣地域に根差した活動をしている。	・住民による自主活動であり、その運営内容に行政が関与することなく補助金についても活動を支える文具、通信運搬費等となっている。補助金の交付を受けず、完全に自主運営による団体もあることから、本事業の目指すべき方向としては、補助金を要せず実施できる仕組みに成熟させていく。
			3-2 文化芸術を通じた多様性の理解と交流の促進										
4	したのやサポーターの活用	地域学習推進課	3-1 文化資源の継承・活用・発掘によるまちづくりの推進	令和6年10月13日ほか 2回	したのや縄文の里	下野谷遺跡の保存・活用に寄与する活動を行っている個人又は団体をしたのやサポーターとして、協働による地域資源としての活用につなげ、文化財保護並びに地域活性化及び地域連携を推進を目的とする。	一般	-	市報	現在、したのやサポーターは総合型地域スポーツクラブ「ココスポ！東伏見」所属のダンスチーム「ココスポ！じょうもんず♪」のみ。 令和6年度の活動としては、 ① 第18回したのや縄文の里 秋まつり R6.10/13 ② 市民まつり R6.11/10 の出演により、「したのや縄文体操！」を披露することにより、下野谷遺跡の普及と地域資源の活用を進めた。	地域の活性化	下野谷遺跡や市のイベントで「したのやじょうもん体操！」を踊り、下野谷遺跡のブランド化に寄与している。メンバーが代替わりをしながらも継続し活動することで人材の育成も図られている。	・地域活性化及び地域連携の推進を現状は、したのやサポーターの存在や活動が限定的であることから、活動が活躍できる機会を増やす、サポーターの育成を図ったりするなど、取組を検討し、地域活性化及び地域連携の推進を図る必要がある。
			ホームページ										
			SNS										
5	したのやムラびとの活用	地域学習推進課	3-1 文化資源の継承・活用・発掘によるまちづくりの推進	令和6年12月15日ほか	したのや縄文の里	下野谷遺跡を愛し、下野谷遺跡に係る活動を楽しみ、下野谷遺跡を守り未来に伝える個人または団体の活動をとりまとめ、下野谷遺跡の保存・活用を市民が主体的に進めることをめざす。	下野谷遺跡に係る活動者	-	ホームページ	下野谷遺跡の管理としての落ち葉掃き、イベントの運営協力、縄文里山の復元活動など ①下野谷遺跡 落ち葉掃きチャレンジ R6.12/15 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③「里山つくり隊」として縄文植生の実験的復元などを実施。 R6.5/22、10/10、11/9 など ④「縄布の会」（縄文の布づくり）などムラびとの中から自主サークルも誕生している。 月2回活動（イベントとしての参加ではないが、自主的に草刈り、ゴミ拾いなどしていただける方もいる）	地域への愛着	下野谷遺跡に興味がある方が活躍できる環境を用意し、地域を支える人材を育成した。	地域への愛着をもってもらい、積極的な参加をしてもらうため、協働での遺跡整備やイベント開催について情報発信することで、ムラびとの理念に沿った「自主的」な活動がより盛んになる仕組みや、環境を整えることを目指している。
			SNS										

6	図書館縁講演会	図書館	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年8月18日 (日) ほか1回	①谷戸公民館 ②田無公民館	地域に関連した講演会を行うことにより、地域への愛着や理解を深める機会を創設する。	①小学生以上だれでも ②年齢制限なし	①26 ②45	人	市報	①西東京市図書館子どものための地域を知る講演会「刀・鉄砲と農民たちの幕末ー150年前の田無・保谷ー」 講師：行田健晃氏 令和6年8月18日(日) ②「地形と地図を読むーハザードマップへの応用ー」 講師：原芳生氏 令和6年12月14日(土)	地域への愛着	地域の歴史や地理情報などを学ぶ機会を設けることで、興味関心が芽生え、地域への思い入れや愛着を向上させるきっかけとなった。	毎年度、各部署に広報物等の資料について、移管を依頼しているものの、依頼する時期、方法によっては対応されないこともあり、各部署における広報物や計画書などは市の資料として保存する必要があることを理解されていないことが間々あることから、依頼方法や時期などを変更するなどの対策を行った。加えて、各部署や機関に対し、個別の問い合わせや交渉をすることで、移管に至っている。また、市全体としてのペーパーレス化により、各部署の情報がインターネット(市ホームページ等)掲載のみになっているケースが散見されるため、今後の収集方法について、担当部署や機関と相談・交渉の上、検討していく必要がある。
			ホームページ											
			SNS											
			チラシ											

以下再掲

1	「対話による美術鑑賞」事業	文化振興課		令和6年5月20日 (月) ほか 14回	西東京市立小学校対象校、その他事業内容のとおり	第3期文化芸術振興計画に基づいた複数の施策の推進するため、市民ボランティア(以下「アートミール」という。)を活用した「対話による美術鑑賞」事業を市内小学校や市内のイベント等を活用して実施し、①子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり、②誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供、③文化芸術活動を支える市民ボランティア育成と活用を目的とする。	小学校4年生、その他事業内容のとおり	-		【小学校における事業】 専門的な研修を受けたアートミールが小学校に出向いて、児童と対話をしながら美術鑑賞を行う。実施校のうち1校では、学校の授業と併せて美術館訪問授業を実施する。また、小学校における事業の実施を担うコーディネーターを養成するため、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。 (1)実施校 田無小学校、保谷小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、谷戸小学校、東伏見小学校、中原小学校、向台小学校、暮山小学校、住吉小学校(事前授業2回、美術館訪問を実施) 計10校 (2)対象児童 4年生 (3)実施内容 少人数ワーク(アートカードの鑑賞)、少人数VTS(ポスター作品の鑑賞) 【地域活動】 美術館を持たない西東京市で気軽に美術鑑賞ができるように、市内のイベント等を活用して、地域活動を実施する。また、地域活動を実施するために必要な企画・運営に関しては、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。 (1)～おしゃべりアート鑑賞会～ ミール・みーる・みーる お気に入りさがそう 実施日：令和6年7月20日(土) 場 所：栄小学校体育館 体験者：12人 内 容：アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS (2)アートミール対話型鑑賞ワークショップ(青空ギャラリー アートでおしゃべり つながりを探そう！) 実施日：令和6年10月27日(日) 場 所：ひばりテラス118隣接けやき公園内 体験者：87人 内 容：アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS (3)多摩5美術展「対話による美術鑑賞」事業体験会 実施日：令和6年11月24日(日) 場 所：南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」 体験者：12人 内 容：グループ鑑賞	地域への活性化	小学校における事業や地域活動を通して、市民ボランティアの活動の場を提供ことやボランティアへの人材育成の実施に寄与したため。	【課題解消に向けた工夫】 ・小学校での事業実施について、先生の負担軽減のため、打ち合わせの時間短縮を心掛けるよう市民ボランティアと調整した。 【課題】 ・年度内での全校実施に向けた、市民ボランティアの育成と人材の確保 ・練馬区立美術館の改修工事による、美術館訪問の実施場所の検討・調整
---	---------------	-------	--	-------------------------	-------------------------	--	--------------------	---	--	--	---------	---	--

2	子どもの文化芸術事業に関わる団体への支援（子どもの文化芸術事業補助金）	文化振興課		令和6年5月3日（金）ほか	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業に対し、市がその事業に係る経費の一部を補助することにより、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動の場及び機会の充実を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に在住、在勤若しくは在学をする18歳以上の者 ・以下要件を満たす団体 (1) 市内に事務所又は活動の拠点を有する非営利団体であること。 (2) 団体の規約又はこれに類するものを有し、代表者及び所在地が明らかであること。 (3) 会計経理が明確であること。 (4) 国、地方公共団体、独立行政法人その他の公法人及びこれらに類する団体でないこと。 	7 団体	市報 ホームページ SNS チラシ	子どもの文化芸術事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、個人・団体を募集した。その結果、7団体より交付申請があり、ウエスト・ファン・ジュニアへ112,000円、Kidsミュージカルファクトリーへ200,000円、一般社団法人 西東京市文化芸術振興会へ26,000円、ウィンドアンサンブル和へ175,000円、西東京ジュニア・ユースオーケストラへ107,000円、碧山吹奏楽部へ200,000円、個人へ200,000円を交付し、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動に関わる個人及び団体への支援を行うことができた。	地域の活性化	子どもの文化芸術事業を実施する個人及び団体については、事業実施の際、後継者の育成を行っており、今後子どもが文化芸術を身近に楽しむ機会を創出することにつながり、地域の活性化に寄与した。	令和6年度に新設された補助金であり、認知度が低いことが課題であることから、補助金の周知に努める。
3	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和6年4月17日（水）ほか75回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域の文化芸術団体との共催事業を通じて、音楽、演劇、映画、舞踊、伝統芸能など市民がさまざまな文化芸術に触れる機会を創出することや発表の場を市民に提供することで地域の文化芸術の育成・振興を目的に実施する。	子ども～ジュニア	4,575 人	市報 ホームページ SNS チラシ	①アーティスト・アーカイブス：通年、10人（登録者数） ②こもれびチャンネル：通年 ③こもれび@ライブ：通年 ④ワンコインライブ：令和6年4月17日、6月26日、8月30日、10月30日、12月11日、令和7年1月24日（全6回）、554人 ⑤こもれびフリーライブ：令和6年5月6日、7月10日、9月24日、11月29日（全4回）、374人 ⑥第15回西東京Hulaフェスティバル：令和6年5月12日、192人 ⑦2024西東京市民映画祭 第20回自主製作映画コンペティション：令和7年5月25日、155人 ⑧西東京フィルハーモニーオーケストラ 第36回定期演奏会：令和6年7月7日、460人 ⑨子ども文化芸術フェア2024 あっとアート体験：令和6年8月25日、611人 ⑩西東京市民映画祭：令和6年9月21日～9月23日、851人 ⑪Kidsミュージカルファクトリー Presents 子どもミュージカルワークショップ発表公演「月のうさぎと転校生」：令和6年12月27日、28日、603人 ⑫西東京ジュニア・ユースオーケストラ 第15回定期演奏会：令和7年1月26日、255人 ⑬コーラスこもれび ワークショップ：通年(月2回)、発表会：令和7年2月2日、260人（発表会） ⑭つなぐ・みんなの笑顔2025：令和7年3月16日、250人 ⑮こども踊り教室：教室：通年(月2回)、発表会：令和7年3月30日、200人（発表会）	地域への愛着	文化芸術団体との共催事業やワンコインライブやフリーライブ等地元アーティストと連携した事業を実施することで、活躍の機会を創出するとともに、地域の人的資源の認知度を高め、市民の地域への愛着や誇りを醸成することに寄与した。	・地域で活躍する文化・芸術活動を行う団体や個人のイベントや発表の場にホール職員が自ら出向き、ワンコインライブやフリーライブへのオファーをすることにより出演が決定したり、当館のアーティスト・アーカイブスに登録していただいた事例があった。これからは文化芸術を支える地域の人材を育成する取り組みを継続していきたい。 ・今後の課題として「文化芸術に触れる機会をより多くの市民に提供すること」が挙げられる。当館事業や文化・芸術活動を行う団体の公演やイベントの模様をライブ配信することにより、当日会場にお越しいただけない市民の方々にも文化芸術に触れる機会を創出していきたい。
4	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）		令和6年12月1日（月）ほか	-	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。	-	-	ホームページ SNS チラシ	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの下地を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行った。その結果、主催事業の告知に繋がり、内覧会には約1,300名が来場し、年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。	地域への愛着	団体・活動者のPR発信のサポートを行うことにより、地域で活動する団体・活動者の情報が市民に伝わり、地域への愛着向上に寄与した。	引き続き効果的に施設やイベント情報を伝えるため、内容を検討していく。

5	伝統文化等継承事業に関する団体への支援（伝統文化等継承事業補助金）	文化振興課		令和6年7月13日（土）ほか28回	津島神社ほか	西東京市における伝統芸能、民俗芸能及び文化財を後継者が受け継ぎ、地域に根付かせ継承する事業を行う団体に対して、補助金を交付することによって、伝統文化等継承事業を推進し、もって市民の郷土に対する認識と愛着の向上、担い手となる後継者の育成及び地域の連携を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 西東京市の歴史の中で培ってきた事業で、継承を行うことが必要と認められる事業 過去に西東京市で実施されていた事業で、復活・発掘を行うことが必要と認められる事業 その他市長が認める事業 	定員：5 実績：5団体 応募：5	市報 ホームページ SNS チラシ	伝統文化等継承事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、団体を募集した。その結果、5団体より交付申請があり、保二小とんど焼き実行委員会へ93,475円、上向台とんど焼き実行委員会へ100,000円、明保中とんど焼き実行委員会へ100,000円、田無囃子保存会100,000円、保谷和太鼓会へ100,000円を交付し、伝統文化等継承事業に関する団体への支援を行うことができた。	地域の活性化	伝統文化等継承事業補助金交付団体については、事業実施の際、ボランティアの活用や後継者の育成を行っており、今後も市民が文化芸術を身近に楽しむ機会を創出することにつながり、地域の活性化に寄与した。	新たに地域の伝統文化を発掘することが課題であるため、情報収集に努め、関係部署と連携を図り文化資源を発掘する取組みについて検討を行う。
6	高齢者大学	高齢者支援課		令和6年6月19日（水）ほか16回	老人福祉センター・住吉老人福祉センター	高齢者の生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かにするとともに、生き生きとした高齢者社会の実現を目指します。	市内に居住する60歳以上の高齢者	397人	市報 ホームページ	事業は、西東京市社会福祉協議会への委託事業として実施している。令和6年度のテーマを生活、芸能、考古学、歴史、動物、福祉、健康、防災、音楽、国際、演芸と設定し各テーマに講師を招聘し、1時間45分の講義を実施している。	地域への愛着	考古学、歴史をテーマとした講座では、社会教育課学芸員による西東京市の郷土史入門講座を実施したため。	<ul style="list-style-type: none"> 定員30人に対し78人の応募があり、受講いただけない方が多数出ている。会場の定員を増やすなど一定の改善を図った。 応募者は、毎年度リピーターが多く、仲間同士で応募する例が散見され、受講決定に苦慮しているが、新規応募の方を優先とするなど、受講機会の均等化に努めている。
7	中学・高校生年代イベントプロジェクト	児童青少年課		令和7年2月9日（日）	タクトホームこもれびGRAFAREホール	<ul style="list-style-type: none"> イベントの運営や実施を通して中学・高校生年代の交流の場を設定する。 中学・高校生年代に対して、発表の場を通じた様々な体験をする機会を提供する。 中高校生の興味関心のあるプロフェッショナルとのコラボレーションを図る。 	市内および近隣に在住、在学、在勤の高校生	定員：30 実績：28 応募：28	チラシ 各高等学校へ協力依頼	高校生スタッフによる、イベントの企画から運営までの実践 中学・高校生年代による、特技や技術の発表 高校生スタッフが選んだ講師によるゲスト出演	地域の活性化	イベントの企画運営や表現活動を行う高校生自身が、将来的には地域の文化芸術を担う存在へと成長してことで、地域に継続的な創造性と発信力が生まれるため。	情報発信を強化し、学校・地域と連携して参加促進を図った。 振り返り機会の設置により、活動の質と継続性を高めた。
8	市民協働企画提案事業	協働コミュニケーション課		-	-	氏とNPOや市民活動団体等との協働を推進することを目的に、NPOや市民活動団体等と市が協働で、地域の課題解決と市民サービスの向上に向けて取り組む事業に対して、補助金を交付する。	市内で事業を実施するNPOや市民活動団体	4団体	市報 ホームページ SNS チラシ	<ol style="list-style-type: none"> ①藍染め&きりたんぼづくり体験会：令和6年8月17日、25人 ②とくしまワークショップ：令和6年12月15日、15人 ③コミュニティFMを利用した西労教師の魅力発信と中高生ラジオプロジェクト ④One scene 西東京 	地域の活性化	補助金を交付し、NPOや市民活動団体等と市が適切な役割分担のもと協働で事業を行うことで人材の育成に寄与した。	団体との連絡やスケジュール管理をさらに大切にすることで、団体と市が適切な役割分担をしてスムーズに事業を実施できるようにする。
9	パリテまつり	協働コミュニケーション課		令和7年1月25日（土）ほか1回	JCOMコール田無	市民と協働で男女平等参画についての意識啓発や情報提供を行う。	市内在住・在勤・在学の市民など	312人	市報 ホームページ SNS チラシ	<ol style="list-style-type: none"> ①エンタメでエンパワー～“わたしらしく”は私が決める～：令和7年1月25日、126人 ②iPadでキラキラレインボー模様を作ろう！簡単操作で思いがけない模様が出来ます：令和7年1月25日、16人 ③みんな大好き「睡眠」のはなし～睡眠と姿勢の大切さについて～：令和7年1月25日、5人 ④赤ちゃん抱っこヨガ ハグヨガ：令和7年1月26日、28人 ⑤パパの初めてのバルーンアート講座：令和7年1月26日、15人 ⑥子どもが発達障がいでも、なくても、パパがやること全部：令和7年1月26日、3人 ⑦映画『ゲイビーベイビー』上映会&交流会：令和7年1月26日、11人 ⑧西東京プレーパーク★キャラバン パンプススペシャル&アウトドアおはなし広場：令和7年1月26日、63人 ⑨2025年 M's & K's ヌドレー：令和7年1月26日、45人 	地域への愛着	地域で活動する市民団体が講座の企画・運営を行うことで、地域の愛着を醸成した。	各講座でアンケートを取り次回の企画に反映するほか、継続して参加する団体が運営することで、それぞれの講座運営で得た課題や改善点をより具体的に反映していく。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える 施策3 活動者の情報共有・連携による取組の充実													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	市民文化祭	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年9月19日（木）～11月4日（月・休）	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	日頃の文化活動の成果を発表し、市民の文化活動の向上及び相互交流する機会を提供することを目的とし、市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。	参加者（個人）：市内在住・在勤・在学、参加団体：市内で活動しており、会員の半数以上が市内在住・在勤・在学の方で構成された団体	13,689 人	市報	【西東京市民文化祭】令和6年10月14日（月・祝）～11月4日（月・休） 市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。 ・参加団体：18部（151団体） ・参加者数：2,154名 ・来場者数：9,977名（会場来場者数6,950名、ライブ配信視聴者数3,027名） 【西東京市民文化祭PR inアスタ】令和6年9月19日（木）～22日（日） 市民文化祭をより多くの市民に周知するため、アスタセンターコートにおいて、市民文化祭の概要等を紹介したパネル展示及びステージ発表を実施した。 来場者数：1,002名 【西東京市民文化祭オープニングイベント】10月14日（月・祝） 西東京市民文化祭を紹介するために、実施期間初日に、西東京市民文化祭に参加する一部団体による演目や、ポスターや総合プログラムに掲載した優秀作品に対して、表彰式を実施した。 来場者数：484名（会場来場者274名、ライブ配信視聴者数210名） 【「日本の文化体験フェス」in 市民文化祭】10月20日（日）～11月3日（日） 市民文化祭に参加している日本の文化に知識の深い市民または市民団体を講師として、体験会を実施した。 ・応募者数：延べ162名 ・参加者数：延べ72名	地域への愛着	市民文化祭各部の開催では類似ジャンルの文化芸術活動者の交流に繋がり、市民文化祭運営委員会では各部の部長及び役員との交流に繋がり、文化芸術による地域のつながりが生まれ、地域への愛着向上に寄与した。	西東京市民文化祭及び関連事業について、周知方法の検討が課題として挙げられている。令和6年度は、アスタビジョンへの動画放映、西東京市公式LINEにおける「市民文化祭つうしん」の運用等新たな周知方法を検討・実施し、来場者の増加につながった。引き続き、効果的な周知ができるよう検討する。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
			1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供						アスタビジョン				
2	市民まつり	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年11月9日（土）・10日（日）	西東京いこいの森公園	西東京市民まつりは、市の伝統、風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働により、人と人とのつながりをより大切にしたいまつりを目指すことを目的とする。	制限なし	97,000 人	市報	テーマ みんなでつくる市民まつり 共催 西東京市民まつり実行委員会、西東京市 開催日時 令和6年11月9日（土）午前10時から午後4時まで 令和6年11月10日（日）午前9時から午後3時30分まで 会場 西東京いこいの森公園 来場者数 令和6年11月9日（土） 50,000人 令和6年11月10日（日） 47,000人 2日間合計97,000人	地域の活性化	市内構成団体・市民で構成された実行委員会と市が共催して、子どもたちが楽しめる内容の検討や環境への配慮等、市民まつりがより充実したものになるための検討を行ったため。	「課題解消に向けた工夫」 ・西東京市民まつりオリジナルグッズを販売し、実施資源の確保に取り組んだ。 ・環境学習の機会等として、環境フェスティバルを同時開催環境アワードの表彰式を野外ステージで実施、環境に配慮した容器等を使用し、プラスチックごみを削減、市民まつりで排出されるごみの削減を目指した。 ・子どもがより楽しめるように子どもゾーンの出店者をより子ども向けの出店となるよう募集をかけた。 「今後の課題」 ・重要行政課題にも挙げている、市民まつり実行委員会との役割分担について、持続可能な市民まつりの実施体制の構築を検討していく。 →商工会との連携、若い世代の実行委員会への参加、財源の確保等 ・事務負担の軽減 →紙資料の削減、電子申込フォームの利用等
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
			2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進										
3	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会	スポーツ振興課	2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和6年5月15日（水）ほか1回	イングビル3階第3会議室ほか	西東京市のスポーツ相談窓口事業の維持・充実のため、庁内関係各課及び外部関係機関が情報交換及び共通認識を図ることを目的とする。	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会設置要綱第3による	-	庁内メールによる	スポーツ相談窓口の運営に当たり、関係各課及び外部関係機関との情報交換を行う。 （主な議題） ・スポーツ相談窓口運営実績報告 ・第2期西東京市スポーツ推進計画に基づく庁内連携について ・新年度予算要求に伴う各課スポーツ関連事業及びスポーツ相談窓口との連携について ・スポーツ関連事業補助金について	地域の活性化	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会を実施することで、これまでの情報をアップデートし、最新の情報を含むスポーツに関する情報を相談に来た市民の方々に提供することができた。	スポーツ相談窓口の存在を多くの市民の方に知っていただき、気軽に利用していただくために市民周知や情報提供について検討する必要がある。
			2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実										

1	子どもの文化芸術事業に関わる団体への支援（子どもの文化芸術事業補助金）	文化振興課	[Blank]	令和6年5月3日（金）ほか	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業に対し、市がその事業に係る経費の一部を補助することにより、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動の場及び機会の充実を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に在住、在勤若しくは在学をする18歳以上の者 ・以下要件を満たす団体 (1) 市内に事務所又は活動の拠点を有する非営利団体であること。 (2) 団体の規約又はこれに類するものを有し、代表者及び所在地が明らかであること。 (3) 会計経理が明確であること。 (4) 国、地方公共団体、独立行政法人その他の公法人及びこれらに類する団体でないこと。 	7	団体	<ul style="list-style-type: none"> 市報 ホームページ SNS チラシ 	<p>子どもの文化芸術事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、個人・団体を募集した。その結果、7団体より交付申請があり、ウエスト・ファン・ジュニアへ112,000円、Kidsミュージカルファクトリーへ200,000円、一般社団法人 西東京市文化芸術振興会へ26,000円、ウインドアンサンブル和へ175,000円、西東京ジュニア・ユースオーケストラへ107,000円、碧山吹奏楽部へ200,000円、個人へ200,000円を交付し、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動に関わる個人及び団体への支援を行うことができた。</p>	地域への愛着	<p>子どもの文化芸術事業を実施する団体が連携して実施する事業があり、団体同士の情報共有を図る場となった。また、子どもが事業に参加することで、地域の子どもの交流の場ともなり、地域への愛着向上につながった。</p>	<p>令和6年度に新設された補助金であり、認知度が低いことが課題であることから、補助金の周知に努める。</p>													
								2	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	令和6年4月17日（水）ほか75回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域の文化芸術団体との共催事業を通じて、音楽、演劇、映画、舞踊、伝統芸能など市民がさまざまな文化芸術に触れる機会を創出することや発表の場を市民に提供することで地域の文化芸術の育成・振興を目的に実施する。	子ども～ジュニア	4,575	人	<ul style="list-style-type: none"> 市報 ホームページ SNS チラシ 	<p>①アーティスト・アーカイブス：通年、10人（登録者数） ②こもれびチャンネル：通年 ③こもれび@ライブ：通年 ④ワンコインライブ：令和6年4月17日、6月26日、8月30日、10月30日、12月11日、令和7年1月24日（全6回）、554人 ⑤こもれびフリーライブ：令和6年5月6日、7月10日、9月24日、11月29日（全4回）、374人 ⑥第15回西東京Hulaフェスティバル：令和6年5月12日、192人 ⑦2024西東京市民映画祭 第20回自主製作映画コンペティション：令和7年5月25日、155人 ⑧西東京フィルハーモニーオーケストラ 第36回定期演奏会：令和6年7月7日、460人 ⑨子ども文化芸術フェア2024 あっとアート体験：令和6年8月25日、611人 ⑩西東京市民映画祭：令和6年9月21日～9月23日、851人 ⑪Kidsミュージカルファクトリー Presents 子どもミュージカルワークショップ発表公演「月のうさぎと転校生」：令和6年12月27日、28日、603人 ⑫西東京ジュニア・ユースオーケストラ 第15回定期演奏会：令和7年1月26日、255人 ⑬コーラスこもれび ワークショップ：通年(月2回)、発表会：令和7年2月2日、260人（発表会） ⑭つなぐ・みんなの笑顔2025：令和7年3月16日、250人 ⑮こども踊り教室：教室：通年(月2回)、発表会：令和7年3月30日、200人（発表会）</p>	地域への活性化	<p>あっとアート体験では、地域の芸術団体、写真家、アーティスト、地元中学校の文科系部活と連携し、さまざまなアートに触れるきっかけを市民に提供することを通じ、芸術活動者同士が情報共有、連携する機会を創出することに寄与した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍する文化・芸術活動を行う団体や個人のイベントや発表の場にホール職員が自ら出向き、ワンコインライブやフリーライブへのオファーをすることにより出演が決定したり、当館のアーティスト・アーカイブスに登録していただいた事例があった。これからは文化芸術を支える地域の人材を育成する取り組みを継続していきたい。 ・今後の課題として「文化芸術に触れる機会をより多くの市民に提供すること」が挙げられる。当館事業や文化・芸術活動を行う団体の公演やイベントの様子をライブ配信することにより、当日会場にお越しいただけない市民の方々にも文化芸術に触れる機会を創出していきたい。 						
															3	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）	令和6年12月1日（月）ほか	-	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。	-	-	ホームページ	<p>施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの折込を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行った。</p> <p>その結果、主催事業の告知に繋がり、内覧会には約1,300名が来場し、年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。</p>	地域への愛着	<p>団体・活動者と連携してPRを行うことにより、地域で活動する団体・活動者の情報が市民に伝わり、地域への愛着向上に寄与した。</p>	<p>引き続き効果的に施設やイベント情報を伝えるため、内容を検討していく。</p>
																							SNS		チラシ		

4	市民協働企画提案事業	協働コミュニティ課	-	-	氏とNPOや市民活動団体等との協働を推進することを目的に、NPOや市民活動団体等と市が協働で、地域の課題解決と市民サービスの向上に向けて取り組む事業に対して、補助金を交付する。	市内で事業を実施するNPOや市民活動団体	4	団体	市報	①藍染め&きりたんぼづくり体験会：令和6年8月17日、25人 ②とくしまワークショップ：令和6年12月15日、15人 ③コミュニティFMを利用した西労教師の魅力発信と中高生ラジオプロジェクト ④One scene 西東京	地域の活性化	ゆめこらぼ団体交流会などを通して、採択された団体同士で交流を行うことで、今後の事業の連携に繋がり、地域の活性化に寄与した。	団体との連絡やスケジュール管理をさらに大切にすることで、団体と市が適切な役割分担をしてスムーズに事業を実施できるようにする。
									ホームページ				
									SNS				
									チラシ				
5	公民館利用者懇談会	公民館	令和6年9月28日（土）ほか	各公民館	公民館から利用者に報告を行う場、利用者と公民館や利用者同士の意見交換の場、両者を含めた地域の課題解決の話し合いの場として、各館年間2回（9月、3月）実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ	①柳沢公民館 令和6年9月28日（土）29人、令和7年3月23日（日）72人 ②田無公民館 令和6年9月7日（土）36人、令和7年3月29日（土）102人 ③芝久保公民館 令和6年9月28日（土）16人、令和7年3月23日（日）44人 ④谷戸公民館 令和6年10月5日（土）23人、令和7年3月15日（土）34人 ⑤ひばりが丘公民館 令和6年10月5日（土）21人、令和7年3月15日（土）44人 ⑥保谷駅前公民館 令和6年9月7日（土）25人、令和7年3月8日（水）64人	地域の活性化	参加者同士、お互いの活動を知り会話することで今後の活動の参考になったり、コラボ発表に繋がったりと活動の幅を広げる機会となったため。	公民館からのお知らせや願いを伝えるだけでなく、各館少人数のグループに分かれて話し合う時間を設け、利用者同士の交流を積極的に促したことで、「有意義な利用者懇談会だった」という声を多くいただくことができた。今後も継続して、公民館での活動を盛り上げていけるよう支援していく。	
								SNS					
								公民館だより					
6	商店街活性化推進補助事業	産業振興課	令和6年10月12日（土）ほか1回	田無神社	文化資源である田無神社を中心とした地域との連携事業を行い、商店街の認知度向上、地域及び商店街の活性化を目的とする。	市民など	3,000	人	ホームページ	10月12日（土）に行われた宵宮祭では、五龍神神輿、女神輿渡御を行った。 10月13日（日）に行われた本宮祭では、本宮神輿渡御を行った。 両日ともに御旅所の一ヶ所を田無商業協同組合が設営し、神輿の担ぎ手等を労った。	地域の活性化	事業実施前より、商店街区内の街路灯に商店街名入りのフラッグを掲げたことで、商店街の認知度向上及び集客につながった。	御旅所において、飲食物を提供しているが、提供物についても商店街会員や地域の事業者が手掛けるものを用意することにより、事業実施後の集客及び個店の売上増加につながり、更なる地域の活性化を図る。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える
 施策4 文化芸術に親しむ場の確保と充実

番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	保谷こもれびホールの改修・修繕	文化振興課		令和6年度中4回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	公共施設等マネジメント実行計画に沿って、改修等工事を実施する。また、修繕計画に基づき、緊急性や優先順位などを考慮した修繕作業を実施する。	タクトホームこもれびGRAFAREホール	-	ホームページ	・保谷こもれびホールにおいて、4件（①特定天井改修工事、②メインホール舞台吊物装置改修工事③屋上防水及び外壁改修工事④給排水ポンプ更新工事）の工事を実施した。 ・保谷こもれびホール指定管理が保谷こもれびホールを安心・安全に利用できるように、修繕作業を28件実施した。	心身の健康	改修工事や修繕を行うことにより、誰もが安心して文化芸術活動を行うことができる環境を整えることができ、活動者の心身の健康に寄与した。	休館を伴う工事については、利用の妨げにならないように考慮した上で工事の時期を決定した。保谷こもれびホールは、築年数が25年を超えており、修繕箇所が増えてきているので、個別施設計画等に沿って計画的に修繕を行うとともに、故障等を未然に防げるように指定管理者と連携して修繕を行っていく。
2	保谷こもれびホール利用者意見交換会	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和7年2月7日（金）ほか回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	こもれびホールの利用者に普段利用に際し感じていることを自由に語っていただき、今後の会館運営に活かしていくことを目的とする。	こもれびホールの利用団体・個人	12人	こもれびインフォメーション	実施日：令和7年2月7日（金） 参加団体・個人：西東京フィルハーモニーオーケストラ、富士町カラオケ同好会、西東京稲門会、西東京ジュニア・ユースオーケストラ、ウインドアンサンブル和、保谷民謡連合会、ドリームウエストウインドオーケストラ、西東京文化芸出振興会、TOHNO DANCE STUDIO、参加個人：三瓶衛、佐伯充代子 会場：音楽練習室	地域の活性化	利用者が忌憚のない意見を交換する場を設けることにより、今後の利用に際しての率直な意見を伺う事により、普段は見逃しがちな視点に気が付いた。	・特定の団体だけではなく広く市民からの意見を収集できるように、会館側から利用の多い団体や個人に参加の要請を行った。 ・議題やテーマを設けず、会館利用に際しての率直な意見を伺う事により、普段は見逃しがちな視点に気が付いた。 ・開催に対するの周知が不十分であるとの指摘があったため、次年度はチラシだけでなく、会館HPや館内パネルへの掲示も行う。
3	市民交流施設の運営への利用者意見の反映	協働コミュニティ課	2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和7年1月中旬～2月中旬	コミュニティセンター	施設利用者のご意見等を伺い、いただいたご意見等を反映した施設運営を行うため。	コミュニティセンター利用者	1,506人	コミュニティセンター広報紙	施設管理者（住民による協議会）との意見交換会や、利用者へのアンケートを通じて、施設利用者のご意見等を伺い、いただいたご意見等を反映した施設運営を行う。	地域の活性化	利用者アンケートを通じて、施設利用者の実際の要望を伺うことで、地域に適したサービスを提供できるため。	施設管理者（住民による協議会）との定例的な意見交換会において、施設の利用実態等を把握し、利用拡大について意見交換、検討することができた。引き続き、利用者アンケートや地域型交流施設における住民協議会での意見交換会等を通じて、利用者の意見を把握して、施設管理に活かしていく。
4	公民館利用者懇談会	公民館	2-3活動者の情報共有・連携による取組の充実	令和6年9月28日（土）ほか	各公民館	公民館から利用者に報告を行う場、利用者と公民館や利用者同士の意見交換の場、両者を含めた地域の課題解決の話し合いの場として、各館年間2回（9月、3月）実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ	①柳沢公民館 令和6年9月28日（土）29人、令和7年3月23日（日）72人 ②田無公民館 令和6年9月7日（土）36人、令和7年3月29日（土）102人 ③芝久保公民館 令和6年9月28日（土）16人、令和7年3月23日（日）44人 ④谷戸公民館 令和6年10月5日（土）23人、令和7年3月15日（土）34人 ⑤ひばりが丘公民館 令和6年10月5日（土）21人、令和7年3月15日（土）44人 ⑥保谷駅前公民館 令和6年9月7日（土）25人、令和7年3月8日（水）64人	地域の活性化	利用しやすい公民館に向けて実際の利用者から生の声を聞き、改善につなげられたため。	公民館からのお知らせやお願いを伝えるだけでなく、各館少人数のグループに分かれて話し合う時間を設け、利用者同士の交流を積極的に促したことで、「有意義な利用者懇談会だった」という声を多くいただくことができた。今後も継続して、公民館での活動を盛り上げていけるよう支援していく。
			SNS										
			公民館だより										

以下再掲

1	学校へのアウトリーチ事業	文化振興課 (保谷こもれび指定管理者)		令和6年7月16日 (火) ほか7回	西東京市内 小学校7校	若年層が文化芸術に触れる機会をつくることを目的に、西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、アウトリーチ公演を行う。	田無小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、碧山小学校、栄小学校、東小学校、本町小学校、住吉小学校、けやき小学校	871 人	各対象校に連絡し、事業主旨を説明	西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、体育館、音楽室を会場にアウトリーチ公演を行う。学校側には事前に複数組アーティスト候補を提示し、学校側に選定いただいた。市内小学校全18校を2グループに分け、1年に9校ずつ順に巡回する。昨年度9校巡回、今年度は残り9校を実施する予定であったが、田無小学校、栄小学校の2校については学校の都合により実施が見送りとなった。	地域の活性化	こもれびホールが施設外に出向き、市内の子どもたちに文化芸術を身近に親しむ機会を継続的に提供することで、地域の文化振興に寄与した。	昨年度の反省も踏まえ、年度当初から各学校に調整を行った結果、7校へのアーティスト派遣は調整が付いたが、残りの2校については学校の都合により実施が見送りとなった。担当課である文化振興課と協議した結果、未実施の2校に関しては、次年度予定の中学校を2校繰り上げて実施することとなり、各中学校に打診してみたが、調整が付かず、実施には至らなかった。実施した小学校の担当者に学校行事のスケジュールを伺ったところ、例年3月までに次年度のスケジュールが決定するサイクルのため、次年度は3月までに各学校へ周知を完了する予定である。また、学校の働き方改革により、年間の授業のコマ数が削減された関係で、アウトリーチなどに割けるコマが少なくなったということも確認できた。今後も地元で活躍するアーティストを学校に派遣することで、地域の人的資源の活用、人材育成に寄与していきたい。
2	東京多摩公立文化施設協議会	文化振興課		令和6年5月17日 (金) ほか5回	東京自治会館、くにたち市民芸術小ホール、彩の国さいたま芸術劇場、たましんR I S U R Uホール	東京都多摩地区の公立文化施設により構成される協議会で、相互に調査研究及び情報交換を行うことにより、その機能を高め合い、もって地域文化の進捗に資することを目的としている。	公立文化施設	-		<研究会>…事業部門、管理部門それぞれ調査研究の実施。 【講演会】「様々なバックグラウンドを持つ子どもたちとアーティストとの出会い ～ワークショップを通じて社会課題と向き合う～」 【施設見学】彩の国さいたま芸術劇場 <多摩フレッシュ音楽コンサート2024>…平成5年から実施してきた「多摩フレッシュ音楽コンクール」を前身とし、コンクールの要素を取り入れた新人コンサートとして「多摩フレッシュ音楽コンサート」を開催している。令和4年度よりピアノ部門・声楽部門をそれぞれ各年で実施。令和6年度はピアノ部門のコンサートを7月11日(木)に開催し、最優秀賞・優秀賞を選出し表彰した。	地域の活性化	他の施設の情報を参考に、施設の事業や利用等の充実につながるため。また、新人コンサートが、文化芸術の担い手の育成の機会となっているため。	協議会を構成する各施設の実施事業、施設の利用、管理に関する情報共有について、引き続き行う。施設見学については、施設規模や築年数に応じ必要となる改修工事の種別などを考慮しながら偏りのないよう選定しており、引き続きそのような観点から選定を行う。
3	文化芸術施策担当実務者連絡会	文化振興課		令和6年5月29日 (水) ほか1回	小平市役所	多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の実務者が、多摩北部都市広域行政圏協議会文化芸術施策担当実務者連絡会を設置し、圏域5市の文化芸術に関する施策及び共同事業である多摩六都フェア(文化事業)における相互協力を促進することにより、圏域市民の文化芸術活動及び文化芸術を通じた交流の場を拡大し、文化芸術の普及、向上、推進に寄与することを目的とする。	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の実務者	26 人		【第1回】令和6年5月29日(水) 議題1 多摩北部5市美術家展の課題と対応策について 議題2 その他 【第2回】令和7年1月27日(月) 議題1 第37回多摩5美術展の実績報告について 議題2 意見交換について 議題3 その他	地域の活性化	多摩5美術展等の課題の解決に向けて、多摩北部都市広域行政圏協議会文化芸術施策担当実務者連絡会を開催し、関連事業を実施することで、多くの市民の参加に繋がり、地域の活性化に寄与した。	多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の共通課題であった多摩5美術展に関する課題をまとめた、整理することができた。今後も圏域5市の文化芸術に関する施策及び共同事業である多摩六都フェア(文化事業)における相互協力を促進する。
4	多文化共生施策担当意見交換会	文化振興課		令和6年5月24日 (金) ほか1回	オンライン 保谷庁舎	多摩北部広域5市が各市の多文化共生施策の状況や課題を共有する。	多摩北部広域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)、多摩北部広域行政圏事務局	20 人		・第1回：令和6年5月24日、8人(オンライン) ・第2回：令和7年1月30日、12人(保谷庁舎)	心身の健康	一部の日本語教室では、季節のイベント等を行っており、教室に通う外国人が文化芸術に親しむ場となり、心身の健康づくりに寄与している。意見交換会を通じて、各市の日本語教室の現状や課題を共有し、文化芸術に親しむ場の確保と充実にも寄与することができた。	前年度から各市の意向を調査するなど情報整理を行ってきたが、実務者連絡会への引き上げや、既存の他会議体とのありかたについて引き続き整理をする必要がある。
5	ルピナスまつり	子ども家庭課		令和6年10月6日(日)	住吉会館ルピナス	あらゆる世代の交流と活動拠点を目として住吉会館ルピナスを会場としたおまつりを行うことで、世代の枠を超えた地域のつながりがうまれ、子ども達にとってより安心・安全な場所になることを目的とし実施する。	西東京市民(主に住吉小学校区にお住いの方、住吉会館を利用のあらゆる世代の方)	1,127 人	市報 ホームページ SNS	・実行委員会方式で企画・運営を行う。(主催：西東京市青少年育成会わかば) ・実行委員会に参加の各団体は、緑日や体験型のブース形式による出し物を行う。 ・中学校・高校生・大学生のボランティア活動の場とする。 ・ルピナスまつり参加者に、住吉会館内にある「のどか広場」「ひいらぎ」「バリテ」「ほっとルーム」の持つ機能を周知するため、作品展示及びパンフレット、チラシを設置する。	心身の健康	西東京しゃきしゃき体操の実演及び保谷和太鼓会の生演奏が行われた。体操では、参加者が自然と身体を動かすことができ、和太鼓の生演奏では、躍動感にあふれ迫力ある演奏を体験することができた貴重な機会となった。身体活性及び心の豊かさを育み、住民の健康的な暮らしづくりに寄与するイベントとなった。	・アンケートを実施しており、そのアンケート結果から見てきた市民ニーズを踏まえ、ペビーカー置き場や駐輪場等、参加者がより立ち寄りやすく安心して楽しんでもらえるよう計画する。 ・高齢者の参加者を増やすため、老人福祉センターに高齢者に向けたチラシを配架した。(チラシは青少年育成会わかば作成による)

6	公民館まつり	公民館		令和6年11月11日 (水) ほか	各公民館	公民館を利用して活動する団体の活動成果発表の場、地域住民や参加団体の交流の場、日ごろ公民館を利用しない市民に公民館に関心を持ち、足を運んでもらう機会とするため各公民館で公民館祭まつりを実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	6,581 人	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	①ヤギフェスVol.13 (柳沢公民館) 令和6年11月11日 (水) ~11月24日 2,025人 ②田無公民館ロビーまつり (田無公民館) 令和6年7月14日 860人 ③第41回芝久保公民館まつり (芝久保公民館) 令和6年10月26日、27日 926人 ④谷戸まつり (谷戸公民館) 令和6年4月27日、28日 1,489人 ⑤第16回ひばりが丘フェスティバル (ひばりが丘公民館) 令和7年3月2日 552人 ⑥第15回駅前フェスタ2024 (保谷駅前公民館) 令和6年10月19日、20日 729人	地域の活性化	館ごとの特徴を踏まえ、来館者に分かりやすい会場作りを進めており、優先席や子どもへの配慮など、誰もがまつりを楽しめるよう工夫しているため。	実行委員会の世代循環が課題。新たなまつり参加者や担い手等の人材発掘のため広報や呼びかけを強化し、事業の継続とさらなる充実を図る。
7	サークル見学体験会	公民館		令和6年6月11日 (火) ほか 全7回	田無公民館ロビー	田無公民館の利用団体が、田無公民館ロビーで活動報告や発表を行い、興味のある市民が見学体験する。 公民館で活動するサークルの紹介の場、新規会員獲得の機会、サークル間交流の場として、活動の活性化や継続を支援することを目的とする。また市民にとっては公民館のサークル活動を知り、地域での活動参加につながっていくきっかけとなる。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	実施回数：7回 見学者数：延べ140人 参加団体：22団体 (中国語、スマホ・タブレット・パソコン、茶道、ウクレレ、着付け・組紐、フラダンス、国際理解学習、パンチニードル、絵画、エッグアート、刺繍、女声コーラス、沖縄三線、二胡、韓国語、自力整体、地域から孤立をなくす語り合い、マジック、ゴスペル、交響楽団、編み物)	地域への愛着	自主グループの発表の場というだけでなく、たまたまロビーや図書館を訪れた人が地域で活動する市民を知る機会となったため。	参加団体同士だけでなく、職員と参加団体との交流も深まったため、今後そのつながりをどう活かしていけるか検討し、さらなる充実につなげる。
8	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会	スポーツ振興課		令和6年5月15日 (水) ほか1回	インギビルほか	西東京市のスポーツ相談窓口事業の維持・充実のため、庁内関係各課及び外部関係機関が情報交換及び共通認識を図ることを目的とする。	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会設置要綱第3による	-	庁内メールによる	スポーツ相談窓口の運営に当たり、関係各課及び外部関係機関との情報交換を行う。 (主な議題) ・スポーツ相談窓口運営実績報告 ・第2期西東京市スポーツ推進計画に基づく庁内連携について ・新年度予算要求に伴う各課スポーツ関連事業及びスポーツ相談窓口との連携について ・スポーツ関連事業補助金について	共生社会の実現	スポーツ相談窓口を設置している南町・スポーツ・文化交流センター「きらら」とは、スポーツでの利用だけでなく、文化活動団体も利用し展示等を行うなど、施設利用者が文化芸術に触れる機会もあり、文化芸術に親しむ場としても充実している。	スポーツ相談窓口の存在を多くの市民の方々に知っていただき、気軽に利用していただくために市民周知や情報提供について検討する必要がある。
9	郷土資料室での文化財の収集、保管、展示	地域学習推進課		令和6年7月20日ほか 6回	郷土資料室	市内の郷土資料 (考古資料・歴史資料・民具・民俗資料) を収集・保管・保存・展示することで、文化財の保存・活用を実施する。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	①トレジャーハンター 歴史の宝ものさがし：R6. 7/20 ~9/1 ②自由研究応援ウィーク：R6. 6/23~8/25 ③下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20 ~11/24 ④石物語：R6. 11/1~11/24 ⑤土器と生け花：R6. 11/20~11/24 ⑥文化財が語る 西東京市の江戸時代：R6. 11/24 ⑦”和紙わらべ人形” で伝えたい～昭和の子どものくらし～：R7. 1/30~3/16 その他、市民からの申し出を受けて民具等を収集し、新資料としてデータベース化した。	地域への愛着	実際に使用した民具・民俗資料を展示し、使い方の解説も併せて展示を行うことで、身近に感じていただいた。	現在の郷土資料室は、「博物館」設置にいたる暫定的な施設との位置付けにあり、学芸員体制の不備、収蔵スペースの不足、収蔵環境の不備などの課題に加え、交通アクセスが悪い点なども課題となっている。新たな分野の講座や大学との連携など、見学者の興味、関心をよりひくような事業展開が必要。収蔵環境とともに見学の環境もより良好にしていく事も必要。
10	史跡下野谷遺跡保存・活用事業	地域学習推進課		令和6年5月21日ほか	下野谷遺跡を中心とした市内全域	社会状況の変化や価値観の多様化により文化財を保護することが困難になりつつある中で、下野谷遺跡をはじめとした市内の歴史文化を広く周知し、後世に保存継承すること、また、その価値と魅力をまちづくりや人づくりに生かすことを目的とする。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	保存：追加指定1件・史跡地の公有地化3件 活用：①第14回縄文のムラで春風と遊ぼう！ R6.5/21 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③展示 下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20~11/24 ④近隣市との共催によるスタンプラリー-R6.7/20~R7.1/31 その他学校教育や生涯学習での活用 (団体見学や、探究学習の資料として) 整備：史跡地の復元展示物に説明看板を設置した。	地域の活性化	学校教育や生涯学習の教材としての利用のほか、秋まつりをはじめとしたイベントなどに利用し、遺跡に親しむ場として活用した。	竪穴住居などの展示物をふくむ整備地の防犯面も含めた管理と、出土品の展示等も求める市民要望があり、下野谷遺跡整備地のガイド機能の強化が課題である。令和7年度は下野谷遺跡エンターランスにモニター設置を行い、来館者に遺跡の価値と魅力を伝えられるよう取り組む。
11	スポーツ施設の相互利用	スポーツ振興課		通年	各スポーツ施設	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の多摩六都構成市で、個人開放に限り、屋内スポーツ施設の相互利用を行うことを目的としている。	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の在住・在勤・在学の方	-	たまろくナビ	トレーニング室、プール等、個人開放で利用する場合は、市民と同じように利用できる。 (西東京市民と同じように利用できる施設は個人開放で利用できる屋内スポーツ施設に限る)	地域の活性化	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の多摩六都構成市のスポーツ施設を開放することで、スポーツ施設のみならず、近隣市の文化財等も触れる機会に寄与している。	多摩六都構成市で、個人開放に限り、屋内スポーツ施設の相互利用ができることを多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法について検討する必要がある。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針3 文化芸術の力を地域や社会の中で活かす・つなげる													
施策1 文化資源の継承・活用・発掘によるまちづくりの推進													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	伝統文化親子教室事業への支援	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和7年11月23日（金）ほか4日	タクトホームこもれびGRAFAREホール ほか	市内の親子が伝統文化に親しむきっかけとなるよう西東京市親子体験教室事業実行委員会が事業を実施しており、西東京市が文化庁への補助金申請等を支援している。	小学1年生～高校3年生と保護者	定員：270 実績：306 応募：306	チラシ	<ul style="list-style-type: none"> 11月23日（土）J.COMコール田無：琴体験、和装着付け・日本舞踊体験 11月24日（日）J.COMコール田無：日本かつら・舞台化粧・和装体験、日本舞踊体験 12月22日（日）J.COMコール田無：華道体験、茶道体験 1月11日（土）タクトホームこもれびGRAFAREホール：古典芸能である日本舞踊の舞台を体験 	心身の健康	子どもたちが地域に伝わる伝統文化等を体験することや、指導者をはじめ地域の伝統文化等に携わる人と関わることで、文化芸術によるつながりが生まれ、心身の健康づくりに寄与した。	例年多くの方に参加していただいているが、さらに多くの方に参加していただくため、広報支援等を継続して実施していく。
			1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり										
			2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進										
2	伝統文化等継承事業に関する団体への支援（伝統文化等継承事業補助金）	文化振興課	2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和6年7月13日（土）ほか28回	津島神社 ほか	西東京市における伝統芸能、民俗芸能及び文化財を後継者が受け継ぎ、地域に根付かせ継承する事業を行う団体に対して、補助金を交付することによって、伝統文化等継承事業を推進し、もって市民の郷土に対する認識と愛着の向上、担い手となる後継者の育成及び地域の連携を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 西東京市の歴史の中で培ってきた事業で、継承を行うことが必要と認められる事業 過去に西東京市で実施されていた事業で、復活・発掘を行うことが必要と認められる事業 その他市長が認める事業 	定員：5 実績：5団体 応募：5	市報	伝統文化等継承事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、団体を募集した。その結果、5団体より交付申請があり、保二小とんど焼き実行委員会へ93,475円、上向台とんど焼き実行委員会へ100,000円、明保中とんど焼き実行委員会へ100,000円、田無囃子保存会100,000円、保谷和太鼓会へ100,000円を交付し、伝統文化等継承事業に関わる団体への支援を行うことができた。	地域への愛着	伝統文化継承事業補助金の交付等による団体の支援を行うことで、多くの市民が地域で文化芸術に触れ、体験し、文化芸術を身近に楽しむ機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。	新たに地域の伝統文化を発掘することが課題であるため、情報収集に努め、関係部署と連携を図り文化資源を発掘する取組みについて検討を行う。
			2-2文化芸術を支える人材の育成と活用										
			2-3活動者の情報共有・連携による取組の充実										
3	商店街活性化推進補助事業	産業振興課	2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和6年10月12日（土）ほか1回	田無神社	文化資源である田無神社を中心とした地域との連携事業を行い、商店街の認知度向上、地域及び商店街の活性化を目的とする。	市民など	3,000人	ホームページ	10月12日（土）に行われた宵宮祭では、五龍神神輿、女神輿渡御を行った。 10月13日（日）に行われた本宮祭では、本宮神輿渡御を行った。 両日ともに御旅所の一ヶ所を田無商業協同組合が設営し、神輿の担ぎ手を労った。	地域活性化	田無神社例大祭及び商店街のPRができ、田無神社参拝客の増加をはじめ、商店街への集客の流れを作ることにつながり、商店街の認知度向上や地域の活性化に寄与した。	御旅所において、飲食物を提供しているが、提供物についても商店街会員や地域の事業者が手掛けるものを用意することにより、事業実施後の集客及び個店の売上増加につながり、更なる地域の活性化を図る。
			2-3活動者の情報共有・連携による取組の充実										
			2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進										
4	下保谷四丁目特別緑地保全地区活用事業	みどり公園課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年4月4日（金）ほか27回	下保谷四丁目特別緑地保全地区	春（桜）、夏（緑陰）、秋（紅葉）等のイベントを実施し、より多くの方に屋敷林という特徴を持っている下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全活用へ関心を持ってもらう。また、イベントや自然文化体験をした来場者がより「日常的な場所」として利用する習慣を醸成するために、定期的な一般開放を行う。	市内在住・在勤・在学の市民など	2,211人	市報	<ul style="list-style-type: none"> ①一般開放（月2回） 917人 ②深緑のイベント 令和6年6月23日 80名 ③秋のイベント 令和6年9月23日 179名 ④冬のイベント 令和6年12月8日 366名 ⑤春のイベント 令和7年3月30日 669名 	地域への愛着	イベント等を通して、市民が屋敷林の保全活用を行う市民ボランティアや樹木の専門家などとの関わりのなかで新たな出会いやつながりが生まれ、地域への愛着が生まれ地域活動へ積極的に参加する意識につながっている。	下保谷四丁目特別緑地保全地区を安心して活用するには、建物の整備や植物の適切な維持管理が必要になる。当該地区の保全活用計画をより具体的に実践するための方針を定める「保全活用ガイドライン」を令和6年度に策定した。ガイドラインに沿って保全活用を行っていく。
			1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり										
			2-1自立的・継続的な文化芸術活動の推進										

5	文化財普及事業	地域学習推進課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年4月19日ほか4回	郷土資料室ほか	文化財の保存・活用を推進し、文化財の魅力を発信により、地域活性化や文化振興に貢献。 市が主催・共催となって文化財を活用するほか、石仏など、文化財の所有者に管理をお願いしつつ、市民に公開していただくことで文化財を確実に保存し、広く普及することが目的。	一般	-	市報	①名勝小金井サクラ「桜樹接種碑」解説会 R6.4/19 ②下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活 R6.4/20～11/24 ③土器と生け花 R6. 11/20～11/24 ④秋の屋敷林企画 保谷のアイ R6. 11/3 ⑤”和紙わらべ人形”で伝えたい 昭和の子どもの暮らし R7. 1/30～3/16 ⑥市指定文化財36件を所有者・管理者に管理を依頼しており、管理報告書の確認と謝金の支払い。 また、新たに指定文化財のバトルールを開始した。 ⑦劣化石造物の3D撮影による記録保存。	地域への愛着	国、都、市の指定、登録制度を用いて文化財を確実に保存できた。また、劣化石造物7点に対し3D撮影を行い、記録保存の新たな手法を見出すことができた。各種企画事業を通して西東京市の文化財の魅力を発信することができた。	文化財の保存・継承に関しては、所有者・保持者の高齢化、無形文化財の後継者の不足が課題となっている。活用事業の充実などを通して、価値と魅力を広く周知することが大切であるため、サクラの解説会や、生け花を絡めた展示などを行っている。
			ホームページ										
			SNS										
6	郷土資料室での文化財の収集、保管、展示	地域学習推進課	1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供	令和6年7月20日ほか6回	郷土資料室	市内の郷土資料（考古資料・歴史資料・民具・民俗資料）を収集・保管・保存・展示することで、文化財の保存・活用を実施する。	一般	-	市報	①トレジャーハンター 歴史の宝ものさがし：R6. 7/20～9/1 ②自由研究応援ウィーク：R6. 6/23～8/25 ③下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④石物語：R6. 11/1～11/24 ⑤土器と生け花：R6. 11/20～11/24 ⑥文化財が語る 西東京市の江戸時代：R6. 11/24 ⑦”和紙わらべ人形”で伝えたい～昭和の子どもの暮らし～：R7. 1/30～3/16 その他、市民からの申し出を受けて民具等を収集し、新資料としてデータベース化した。	地域への愛着	西東京市の歴史に紐づいた郷土資料の展示を行うことにより、子どもたちを含めた幅広い年代に文化財を意識させ、地域に愛着をもってもらえた。	現在の郷土資料室は、「博物館」設置にいたる暫定的な施設との位置付けにあり、学芸員体制の不備、収納スペースの不足、収蔵環境の不備などの課題に加え、交通アクセスが悪い点なども課題となっている。新たな分野の講座や大学との連携など、見学者の興味、関心をよりひくような事業展開が必要。収蔵環境とともに見学的环境もより良好にしていく事も必要。
			ホームページ										
			SNS										
7	史跡下野谷遺跡保存・活用事業	地域学習推進課	1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供	令和6年5月21日ほか	下野谷遺跡を中心とした市内全域	社会状況の変化や価値観の多様化により文化財を保護することが困難になりつつある中で、下野谷遺跡をはじめとした市内の歴史文化を広く周知し、後世に保存継承すること、また、その価値と魅力をまちづくりや人づくりに生かすことを目的とする。	一般	-	市報	保存：追加指定1件・史跡地の公有地化3件 活用：①第14回縄文のムラで春風と遊ぼう！ R6.5/21 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③展示 下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④近隣市との共催によるスタンプラリー-R6.7/20～R7.1/31 その他学校教育や生涯学習での活用（団体見学や、探究学習の資料として） 整備：史跡地の復元展示物に説明看板を設置した。	地域への愛着	下野谷遺跡の確実な保存と整備により、市民協働での遺跡の活用機会が増した。そのことで、市内外から遺跡を訪れる人が増加し、地域の魅力の周知に寄与した。	竪穴住居などの展示物をふくむ整備地の防犯面も含めた管理と、出土品の展示等も求める市民要望があり、下野谷遺跡整備地のガイド機能の強化が課題である。令和7年度は下野谷遺跡エントランスにモニター設置を行い、来跡者に遺跡の価値と魅力を伝えられるよう取り組む。
			ホームページ										
			SNS										
8	地域・行政資料の収集、提供、保存	図書館	1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供	通年	西東京市図書館	地域に関する専門図書館として、西東京市に関連する資料や情報を収集することで、後世への継承を担い、また収集した資料を整理、保存することで、必要に応じて利用者へ提供し地域を知るための基礎資料としての役割を果たしている。	全市民	-	市報	5～6月に、庁内各部署及び市内各学校へ行政資料や刊行物の移管を文書で依頼。また、市内図書館の地域・行政資料コーナーを定期的に確認し、刊行年の古い行政資料を新しい資料にすべく、該当部署への移管を依頼。令和6年度に地域行政資料として受け入れた資料数は2,838冊（内寄贈、移管1,969冊）で、他自治体や市内団体も含め多くの寄贈、移管いただいた。 市民だけでなく、庁内からのレファレンス対応や、画像データの提供等も行う。 外部書庫で重要資料や除籍不可資料を保管しており、定期的に中身を確認し、精査、入れ替えをしている。	地域の活性化	地域資料、行政資料を適切に保存、継承することで活用へつなげ、地域の歴史や情報を得るためのツールとしての一環を担っている。適切に保存していたからこそ出来る利活用を通じて、地域の活性化に寄与している。	毎年移管依頼を行っているが、行き届いていないことが間々あることから、依頼方法やタイミングを変更するなど対策を行った。加えて、各部署や機関に対し、個別の問い合わせや交渉をすることで、移管いただいた。バーベレス化により、情報がインターネット掲載のみになっているケースが散見されるため、今後の収集方法について、担当部署や機関と相談の上検討していく必要がある。
			ホームページ										
			SNS										
以下再掲													
1	アーティストアーカイブス	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	通年	-	-	地域の文化振興を目的に、地域で活躍するアーティストや文化団体などの紹介コーナーをHP内につくり、活動内容などを紹介する仕組みとなる。	西東京市出身・在住及び活動の拠点とされているアーティスト・文化団体	-	ホームページ	西東京市内で活躍もしくは市に縁のあるアーティストや文化団体を紹介するポータルサイト「アーティスト・アーカイブス」を当館ホームページ内に設置。公募・登録制とし、登録アーティストは、自主事業等にも積極的に起用し、活動を支援している。アーティストにとっては、自身の活動を広くPRすることができ、閲覧者にとっては、地域のアーティストを知り、自身の文化活動や催し等を行う際に起用する人材の参考にすることが可能となる。また、アーティスト同士の横のつながりを形成するきっかけとなり、地域の文化活動の活性化を図る。	地域の活性化	登録アーティストを当館自主事業にも積極的に起用し、活動を支援した。登録アーティストに発表の場を提供することで、地域の文化資源の活用にも寄与した。	指定管理初年度の令和5年度にはアーティスト・アーカイブスの登録者（団体）が8組、今年度は2組登録があり、現在10組の登録となっている。登録数が鈍化しているため、今後はそれでもチャレンジライブ出演者、誰でもビデオ参加者、おいでよ！こもれびホールなどの自主事業へ興味を持つ方へ直接登録のご案内ご説明をするなど個人へのアプローチに加え、こもれびインフォメーションやSNSで登録者募集の記事を掲載するなど積極的にPRしていく。
									市報				
2	まちなか先生	地域学習推進課	令和6年9月12日ほか12回	-	市内各学校	学芸員、司書、公民館を拠点とする団体などが「まちなか先生」として、学校の授業やイベントに協力している。地域全体で子どもたちの成長をサポートし、学校を核とした地域づくりを目的とする。	西東京市立小中学校の児童・生徒	-	市内各校に直接連絡	①「したのやいせき」のどんぐりアート：R6. 10/17・11/6・11/28 3校 ②やってみよう！考えよう！縄文時代と下野谷遺跡：R6. 11/22 1校 ③民具に触れて 昔の暮らしを考える：R6. 9/12・11/13・12/4・R7. 1/14・2/21 5校 ④縄文のムラ 下野谷遺跡を知ろう！：R6. 11/15・12/23・R7. 1/21・2/14 4校 合計13校（重複含む）	地域の活性化	授業の中で文化財の大切さや価値を学ぶことで、地域の歴史文化の継承の重要性の理解につながった。また、文化財や歴史文化がそれぞれの地域と深くつながっていることを理解することで、地域への愛着やまちづくりへの興味を深化させることに寄与した。	・児童・生徒の学習ニーズに合った柔軟な対応が可能となるよう内容を充実させることを目指し、講座ごとに従来以上に丁寧に学校と連絡調整を図りながら、計画的な実施を進めた。また、講師となる地域人材の発掘や養成が引き続き課題である。
									ホームページ				

3	ゆめこらぼ通信の発行	協働コミュニティ課		令和6年6月・9月・12月・令和7年3月	-	市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を促すことを目的に、市民活動団体や市民活動に関連する情報を集約・発信する。	-	-	市民活動団体や市民活動に関連する情報を取材等で収集し、機関紙「ゆめこらぼ通信」を年4回発行する。あわせて、毎月イベント情報、団体紹介冊子の発行を行った。	地域の活性化	市民に文化芸術に関する市民活動の情報を発信することで、新たに市民活動を知ってもらい、団体を探している人が活用できるなど、地域の活性化に寄与した。	より多くの方に読んでもらえるよう、内容の充実にも今後務める。	
4	したのやサポーターの活用	地域学習推進課		令和6年10月13日ほか 2回	したのや縄文の里	下野谷遺跡の保存・活用に寄与する活動を行っている個人又は団体をしたのやサポーターとして、協働による地域資源としての活用につなげ、文化財保護並びに地域活性化及び地域連携を推進を目的とする。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	地域の活性化	現在、したのやサポーターは総合型地域スポーツクラブ「ココスポ！東伏見」所属のダンスチーム「ココスポ！じょうもんず♪」のみ。 令和6年度の活動としては、 ① 第18回したのや縄文の里 秋まつり R6.10/13 ② 市民まつり R6.11/10 の出演により、「したのや縄文体操！」を披露することにより、下野谷遺跡の普及と地域資源の活用を進めた。	下野谷遺跡という地域資源を活用することで、地域コミュニティの活性化に寄与している。	・地域活性化及び地域連携の推進を現状は、したのやサポーターの存在や活動が限定的であることから、活動が活躍できる機会を増やす、サポーターの育成を図ったりするなど、取組を検討し、地域活性化及び地域連携の推進を図る必要がある。
5	したのやムラびとの活用	地域学習推進課		令和6年12月15日ほか	したのや縄文の里	下野谷遺跡を愛し、下野谷遺跡に係る活動を楽しみ、下野谷遺跡を守り未来に伝える個人または団体の活動をとりまとめ、下野谷遺跡の保存・活用を市民が主体的に進めることをめざす。	下野谷遺跡に係る活動者	-	ホームページ SNS	地域の活性化	下野谷遺跡の管理としての落ち葉掃き、イベントの運営協力、縄文里山の復元活動など ①下野谷遺跡 落ち葉掃きチャレンジ R6.12/15 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③「里山つくり隊」として縄文植生の実験的復元などを実施。 R6.5/22、10/10、11/9 など ④「綿布の会」（縄文の布づくり）などムラびとの中から自主サークルも誕生している。 月2回活動（イベントとしての参加ではないが、自主的に草刈り、ゴミ拾いなどしていただける方もいる）	市民協働での文化財の保存、活用を通して、まちの活性化に寄与した。	地域への愛着をもってもらい、積極的な参加をしてもらうため、協働での遺跡整備やイベント開催について情報発信することで、ムラびとの理念に沿った「自主的」な活動がより盛んになる仕組みや、環境を整えることを目指している。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針3 文化芸術の力を地域や社会の中で活かす・つなげる 施策2 文化芸術を通じた多様性の理解と交流の促進													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	多摩六都フェア パラアート制作 ワークショップ 及びパラアート 展覧会	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供 3-3関係機関・他分野と結び付けた文化芸術活動の促進 3-4近隣市や姉妹都市・友好都市との交流	8月24日（土） ほか30日	障害者総合 支援セン ター「フレ ンドリー」 ほか	【事業概要】多摩北部都市広域行政圏協議会（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）（以下「圏域5市」という。）の市民の内、在住・在学している中学生以上18歳以下で、障害のある方を対象として希望者を募集し、専門講師のもとでオリエンテーションを含む講習会を行い、パラアートを制作し、作品完成後に、圏域5市を順番に回り、展覧会を実施する。 作品の展覧会については、圏域5市に在住・在勤・在学している障害のある方からも広く募集し、展示する。また、展覧会にて展示した作品の中から表彰する作品を選考し、表彰式を開催する。 【目的】障害の有無にかかわらず、文化芸術に触れ、創造する環境づくりを促進するため、圏域市民が相互に交流しながら作品の制作や展覧会の実施などに取り組み、多摩北部地域の振興を図ることを目的とする。	①圏域5市（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）に在住・在学の中学生以上18歳以下で、障害のある方 ②圏域5市（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）に在住・在勤・在学で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、または発達障害、難病などがある方 ③パラアート制作ワークショップ受講生、パラアート展覧会優秀作品受賞者	定員： ①10 ②③なし 実績： ①10 ②722 ③45 人 応募： ①10 ②③なし	市報 ホームページ SNS チラシ 圏域4市ホームページ	①パラアート制作ワークショップ：8月24日（土）～9月14日（土）の土曜日4回、障害者総合支援センター「フレンドリー」 ②パラアート展覧会：10月16日（水）～12月8日（日）の27日間、清瀬市郷土博物館、東久留米市立東部地域センター、小平市中央公民館、東村山市立中央公民館、J:COMコール田無 ③表彰式：12月8日（日）、J:COMコール田無	心身の健康	障害の有無に関わらず、誰もが文化芸術に親しめるよう圏域5市の障害のある方を対象に本事業を実施することで、文化芸術を通じた障害者同士の交流を創出し、参加者の活力向上に寄与した。	・パラアート制作ワークショップ受講生の申込者数が定員と同数であるなど、さらに効果的な広報が必要であるため、チラシ等の配布先や市ホームページ・SNSの掲載方法等について検討していく。 ・パラアート制作ワークショップ パラアート展覧会・表彰式の実施内容については、これまでの実施内容を振り返り、新たな内容を盛り込んでいく等見直す必要があるため、委託事業者から意見をもらいながら検討していく。

2	多文化共生推進事業	文化振興課	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	令和6年5月18日(土)ほか16回	田無第二庁舎ほか	日本人と外国人が協力し合いながら地域社会を創っていく多文化共生社会の実現のため、多文化共生推進関係行事を実施する。	外国籍市民ほか	約630人	市報	<ul style="list-style-type: none"> 日本語ボランティア入門講座・令和6年5月20日、5月29日、6月5日、6月12日、6月19日、7月23日・入門講座参加者数41人、受講者数延べ213人(田無庁舎、田無第二庁舎) 公開講座(1): 令和6年5月18日、51人(田無第二庁舎) 公開講座(2): 令和6年6月29日、43人(J:COM コール田無) 日本語ボランティアフォローアップ講座・第1回: 令和6年9月11日、26人(田無庁舎) 第2回: 令和6年10月2日、24人(J:COM コール田無) 第3回: 令和7年2月1日、24人(田無第二庁舎) 第4回: 令和7年2月8日、21人(田無第二庁舎) 留学生ホームビジット: 令和6年6月23日、留学生39人、受入家庭27組(田無庁舎、田無第二庁舎) 外国から来た保護者のための小学校入学前説明会: 令和6年9月7日、7人(オンライン) 	共生社会の実現	特に留学生ホームビジットでは、日本人の家庭に留学生が滞在し、日本文化に対する理解を深めるだけでなく、日本人も留学生の母国の話を聞くことで、異文化に対する理解も深めた。	各行事、前年度の参加者人数を踏まえ、市SNSでの発信を複数行ったり、庁内掲示板を利用するなど工夫した。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
3	ともに生きるまちづくりフェス	地域共生課	3-3関係機関・他分野と結び付けた文化芸術活動の促進	令和6年11月16日(土)	防災センター保谷保健福祉総合センター、タクトホームこもれびGRAFAREホール	<ul style="list-style-type: none"> 第5期地域福祉計画に掲げる6つの基本目標に沿った取組の紹介や体験等とおし、地域共生社会の浸透を図る 地域福祉計画にて掲げる重点的な課題、基本目標、成年後見制度及び再犯防止、重層的支援体制整備事業、地域福祉計画及び関連計画に掲げる課題に対する取組の普及・啓発 	制限なし	243人	市報	<ul style="list-style-type: none"> 第5期地域福祉計画に掲げる6つの基本目標を基とした各種取組の普及啓発(体験型イベント(消火体験、スポーツ体験等)、出張相談窓口、地域団体の出店、関係者の講演等) 講演会: テーマ「健やかな毎日を送るために～こどもの心と体を支える睡眠～」 	共生社会の実現	イベントを開催し、地域共生社会の考え方について、講演会や体験型イベントを通じた紹介を行うことで、地域共生社会の実現、地域の活性化に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な開催方法、場所での開催を検討する。 参加者に対してアンケートを実施することで、ニーズを把握することができたとともに、次期地域福祉計画策定に向けても課題を明らかにすることができた。引き続き、各事業ごとにアンケートを実施し、多様なニーズ把握することに努め、ニーズを生かした事業を検討する。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
4	フレンドリーまつり	障害福祉課	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	令和6年10月12日(土)	フレンドリー	フレンドリーの利用団体間及び地域との交流を図るとともに、障害福祉への理解を求めて開催する。	フレンドリーの利用団体及び館内各事業所と地域商店	1,621人	市報	フレンドリーを利用している各団体の活動発表や展示の機会を提供するとともに、地域の商店や障害福祉事業所の協力により模擬店を出店し、来場者や地域との交流を図る。	共生社会の実現	障害者施設であると同時に、日頃からの社会教育活動団体や一般市民団体への施設開放とともに、祭りの参加を通じて相互理解が生まれている。	コロナ禍等により、施設利用の制限や規制が続いたことにより、フレンドリーから離れた団体が戻り切っていない。したがって、稼働率も回復途上であり、まだ時間がかかると思われる。フレンドリー祭りも、6年ぶりの開催であったため、寂しさは否めなかった。7年度以降については、各団体への積極的なコミュニケーションを取りながら改善を図っていきたい。
			ホームページ										
			チラシ										
5	保谷障害者福祉センター文化祭	障害福祉課	1-3さまざまな参加機会を促す事業の充実	令和6年10月18日(金)、19日(土)	西東京市保谷障害者福祉センター	利用者の方の活動の様子を紹介、成果の発表の場 利用者の方と市民との交流	市民、当事者、当事者家族、支援者等	133人	ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> 教室活動、作業療法作品等の展示 音楽療法の発表 物づくり体験、機能訓練体操の体験 スタンプラリー 等 	共生社会の実現	障害のある方たちの日頃の活動を市民の方に知っていただく機会として、当事業所としても大切にしている行事である。	感染症対策を講じて、市民の方に来場していただく形式で行いました。新型コロナウイルス感染拡大以前より来場者は減っていますが、今後も感染症対策を行いながら広報に力を入れて、一人でも多くの市民の方にご来場いただけるように努めていきたいと思っております。
			チラシ										

6	障害者週間等事業	障害福祉課	3-3関係機関・他分野と結び付けた文化芸術活動の促進	令和6年12月6日(金) 令和6年12月8日(日)	アスタ西東京 2階センターコート J:COM コール田無	概要：事業所・福祉団体等の活動内容や通所者の自主製作品の展示・販売 目的：市民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。 概要：競技用の車椅子やポッチャ、義足等の体験会の実施 目的：市民の間に障害や障害者についての関心を深めるとともに、パラスポーツ周知や障害理解の促進を図ることを目的とする。	市民、当事者、支援者等	12/6:100 12/8:32	ホームページ	12月3日から9日の障害者週間に、【市内障害者団体等による手作り品販売・作業展示等】及び【パラスポーツ及び障害を体験する事業】を実施する。	共生社会の実現	手作り品販売・展示を行うことで、障害のある方たちの日頃の活動を市民の方に知っていただいたため。パラスポーツや障害の疑似体験を通して、障害者スポーツの楽しさや障害者の理解を深めることができたため。	12/6【手作り品販売・作業展示等】 ・参加を希望する団体や事業所が増える中で、活動内容の展示をパネルだけでなく販売する机で直接行うことで、スペースの確保と購入者に対して直接活動内容を知ってもらう機会を作ることができた。 ・今後も参加を規模する事業者が増える場合は、2日に分けるなどの試みが必要になる。より多くの事業所・団体が活動内容の展示や、手作り品の販売を行えるように、さらなる機会の充実を図る。 12/8【パラスポーツ体験・障害疑似体験イベント】 ・活躍されているパラスリートの方をお呼びすることで、よりパラスポーツの魅力を感じていただける機会を作ることができた。 ・より多くの市民の方に参加いただくために、イベントの周知方法を改善していく。
			SNS										
			チラシ										
7	バリエまつり	協働コミュニケーション課	1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供	令和7年1月25日(土)ほか1回	J:COMコール田無	市民と協働で男女平等参画についての意識啓発や情報提供を行う。	市内在住・在勤・在学の市民など	312	市報	①エンタメでエンパワー～“わたしらしく”は私が決める～：令和7年1月25日、126人 ②iPadでキラキラレインボー模様を作ろう！簡単操作で思いがけない模様が出来ます：令和7年1月25日、16人 ③みんな大好き「睡眠」のはなし～睡眠と姿勢の大切さについて～：令和7年1月25日、5人 ④赤ちゃん抱っこヨガハグヨガ：令和7年1月26日、28人 ⑤パパの初めてのバルーンアート講座：令和7年1月26日、15人 ⑥子どもが発達障がいでも、なくても、パパがやること全部：令和7年1月26日、3人 ⑦映画『ゲイビーベイビー』上映会&交流会：令和7年1月26日、11人 ⑧西東京プレーパーク★キャラバン パンプススペシャル&アウトドアおはなし広場：令和7年1月26日、63人 ⑨2025年 M's & K's メドレー：令和7年1月26日、45人	共生社会の実現	講座のテーマをジェンダー平等や性的マイノリティに関する内容とすることで、理解促進に努めた。	各講座でアンケートを取り次回企画に反映するほか、継続して参加する団体が運営することで、それぞれの講座運営で得た課題や改善点をより具体的に反映していく。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
以下再掲													
1	児童館・児童センターにおける文化芸術事業	児童青少年課	毎月複数回実施	各児童館・児童センター	子どもを対象とした季節事業を実施し、多様な児童の参加や交流を図る。	子ども	-	ホームページ 児童館だより	・子どもを対象とした季節事業 ・児童館・児童センターでの工作やスポーツイベント ・児童館・児童センターにおける折り紙や造形・読み聞かせ等行事等 ※毎月様々なイベントを各児童館・児童センターで実施のため、参加者数は様々。	共生社会の実現	創作活動を通じて、作品を通じて互いを認め合う経験や、自然に交流しやすくなる環境を育めたため。	興味関心の異なる子どもたちへの対応が課題であり、多様な企画等を実施した。	
2	NPO市民フェスティバル	協働コミュニケーション課	令和7年2月15日(土)ほか	ONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザ	市内で活動するNPO等の市民活動団体が一堂に会し、発表・交流を行う、イベントを市民から公募した実行委員会と市民協働推進センターゆめこらほの共催で行う。	市民、市民活動団体	800	市報 ホームページ SNS チラシ	・パネル展 2月10日～14日 田無庁舎ロビー 34団体参加 内容：各団体の日頃の活動成果についてパネルにて展示 ・対面イベント 2月15日 ONEFORALL西東京地域交流スペース・西東京市民文化プラザ 内容：基調講演、各団体による物販、ワークショップ、ステージ発表等	共生社会の実現	多くの団体が一堂に会することで、多様な団体間の理解や交流が促進された。	会場にあえて、開設したばかりのONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザを選び、施設を管理する法人や指定管理者と、施設を今後使うことになる市民活動団体をつなげることで、今回のイベント後に当該施設を利用した例や、地域交流スペースの活用につながったケースがあった。 また、基調講演に著名な作家をお呼びするとともに、子ども向けのチラシを別途作成し、キッチンカーや物販、施設管理者の独自企画など、単なる市民活動の紹介だけに留まらない、一般市民や子どもも参加しやすいイベントにして、集客を図った。 課題としては、関係者以外の広く市民に感心を持ってもらうことで、イベントについてはある程度の成果があったが、パネル展については場所も含めてもっと多くの方に見ていただくにはどうすれば良い考える必要がある。	

3	地域福祉コーディネーター事業	地域共生課		令和6年10月24日(木)、25日(金)	アスタセンターコート	企画・運営に関わる市民ボランティアのスキル向上や地域活動の紹介、普及啓発を目的として「みんなの居場所(サードプレイス)展」を実施。	制限なし	227 人	市報	市が委託している「西東京市ほっとするまちネットワークシステム事業」の一環として、市民に対する事業周知としてパネル展示や地域活動の紹介、交流コーナーとして、レジン制作体験やカードゲームやボードゲームを実施した。	共生社会の実現	地域活動の情報提供により、様々な方が文化芸術に触れるの提供に繋がり、共生社会の実現に寄与した。	様々な開催方法、場所での開催を検討する。
									チラシ				
4	地域介護予防活動支援事業	高齢者支援課		月1回以上	北町コミュニティセンター ほか	街中いこいなサロンは、住民の方々が運営している”誰でも気軽に参加できる”集いの場である。サロン活動では、住民の方々が工夫を凝らしながら、様々な活動を提供している。	-	13,068 人	チラシ	住民による自主的活動であるため、活動場所や運営についても住民主体で実施している集いの場である。サロン活動で、子どもから高齢者まで誰でも参加できる。46の団体(令和6年4月現在)により、茶話会、健康体操、傾聴、囲碁、将棋、麻雀、俳句など様々である。月に1回以上の開催が補助金交付の条件であるが、中には補助金を受けず、完全な自主運営の団体もある。参加費は無料が基本であるが、茶果等の実費負担の団体もある。	共生社会の実現	サロンは、子どもから高齢者までどなたでも参加できるため。	・住民による自主活動であり、その運営内容に行政が関与することなく補助金についても活動を支える文具、通信運搬費等となっている。補助金の交付を受けず、完全に自主運営による団体もあることから、本事業の目指すべき方向としては、補助金を要せず実施できる仕組みに成熟させていく。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針3 文化芸術の力を地域や社会の中で活かす・つなげる													
施策3 関係機関・他分野と結び付けた文化芸術活動の促進													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	市内大学との人材交流	職員課		令和6年8月19日（火）から8月23日（金）まで他4回	各実習部署	市内にある武蔵野大学、早稲田大学、東京大学他と人材交流や育成、文化芸術関連事業等において連携を図る。	市内外の大学の学生	5人	大学内での募集	人材交流や育成という観点に基づき、夏季と春季に分け、武蔵野大学を含む市内外の大学の学生に対してインターンシップ（就業体験）を実施した。（夏季：5校から5名受け入れ／春季：受け入れなし）	地域の活性化	市内大学との人材交流という観点において、市での就業体験を通して、学生の就業意識の向上や市政に対する理解を深める機会を提供した。	引き続き、大学と連携を図るとともに、文化芸術活動を所管する部署との連携も取り入れながら実施していく。
2	大学等連携事業	教育企画課		令和6年8月18日（日）ほか3回	武蔵野大学武蔵野キャンパスほか	市内の大学等と連携し、体験活動や交流活動を通じて、児童・生徒の学びに向かう力や人間性を育む。	市内在住・在学の小学生及び中学生	101人	市報	8月18日 理科・数学・美術だいすき未来教室（武蔵野大学） 11月23日 のぞいてみよう！トマトの世界～環境の変化と次世代農業～（東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構） 11月23日 生き物博士になろう！～こうもり博士2024～（東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林） 12月8日 理科・算数だいすき実験教室（早稲田大学高等学院教諭）	地域への愛着	市内の大学等教育機関と連携し、市内施設（武蔵野大学武蔵野キャンパス、東京大学大学院生態調和農学機構、田無演習林、田無第一中学校）で体験・交流活動を実施することで地域の地域資源を認識し、改めて地域を知るきっかけとなっている。	引き続き、市内大学等と連携・協力を図り、地域への愛着、地域への活性化につなげていく。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
3	市内大学との人材交流	教育指導課		-	市内各学校	市内大学等との連携の充実。	-	-		児童生徒の多様な特性を踏まえた学びの場を提供するために、日本語指導や特別支援教育にかかわる学級や教室についてパンフレット等で周知することができた。	地域の活性化	大学との人材交流を積極的にできた。武蔵野大学からインターンの受け入れを行い、小・中学校の教育に係る内容に触れることができるようにした。また、学生ボランティアを受け入れも行っており、配慮が必要な児童生徒への支援を行った。	今後も人材交流を引き続き、行っていく。

以下再掲

1	多摩六都フェア パラアート制作 ワークショップ 及びパラアート 展覧会	文化振興課		8月24日(土) ほか30日	障害者総合 支援セン ター「フレ ンドリー」 ほか	<p>【事業概要】多摩北部都市広域行政協議会(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)(以下「圏域5市」という。)の市民の内、在住・在学している中学生以上18歳以下で、障害のある方を対象として希望者を募集し、専門講師のもとでオリエンテーションを含む講習会を行い、パラアートを制作し、作品完成後に、圏域5市を順番に回り、展覧会を実施する。</p> <p>作品の展覧会については、圏域5市に在住・在勤・在学している障害のある方からも広く募集し、展示する。また、展覧会にて展示した作品の中から表彰する作品を選出し、表彰式を開催する。</p> <p>【目的】障害の有無にかかわらず、文化芸術に触れ、創造する環境づくりを促進するため、圏域市民が相互に交流しながら作品の制作や展覧会の実施などに取り組み、多摩北部地域の振興を図ることを目的とする。</p>	<p>①圏域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)に在住・在学の中学生以上18歳以下で、障害のある方</p> <p>②圏域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)に在住・在勤・在学で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、または発達障害、難病などがある方</p> <p>③パラアート制作ワークショップ受講生、パラアート展覧会優秀作品受賞者</p>	<p>定員： ①10 ②③なし</p> <p>実績： ①10 ②722 ③45</p> <p>応募： ①10 ②③なし</p>	<p>市報</p> <p>ホームページ</p> <p>SNS</p> <p>チラシ</p> <p>圏域4市ホームページ</p>	<p>①パラアート制作ワークショップ：8月24日(土)～9月14日(土)の土曜日4回、障害者総合支援センター「フレンドリー」</p> <p>②パラアート展覧会：10月16日(水)～12月8日(日)の27日間、清瀬市郷土博物館、東久留米市立東部地域センター、小平市中央公民館、東村山市立中央公民館、J:COMコール田無</p> <p>③表彰式：12月8日(日)、J:COMコール田無</p>	共生社会の実現	表彰式を障害者週間に合わせて実施し、障害福祉課及びスポーツ振興課と同じ会場でコラボレーション事業を実施することで、他分野と結び付けた文化芸術活動を促進することができた。	<p>・パラアート制作ワークショップ受講生の申込者数が定員と同数であるなど、さらに効果的な広報が必要であるため、チラシ等の配布先や市ホームページ・SNSの掲載方法等について検討していく。</p> <p>・パラアート制作ワークショップ パラアート展覧会・表彰式の実施内容については、これまでの実施内容を振り返り、新たな内容を盛り込んでいく等見直す必要があるため、委託事業者から意見をもらいながら検討していく。</p>
2	多文化共生推進 事業	文化振興課		令和6年5月18日(土) ほか16回	田無第二庁舎ほか	日本人と外国人が協力し合いながら地域社会を創っていく多文化共生社会の実現のため、多文化共生推進関係行事を実施する。	外国籍市民ほか	約630人	<p>市報</p> <p>ホームページ</p> <p>SNS</p> <p>チラシ</p> <p>市内掲示板、 庁内掲示板</p>	<p>・日本語ボランティア入門講座・令和6年5月20日、5月29日、6月5日、6月12日、6月19日、7月23日・入門講座参加者数41人、受講者数延べ213人(田無庁舎、田無第二庁舎)公開講座(1)：令和6年5月18日、51人(田無第二庁舎)公開講座(2)：令和6年6月29日、43人(J:COMコール田無)</p> <p>・日本語ボランティアフォローアップ講座・第1回：令和6年9月11日、26人(田無庁舎)第2回：令和6年10月2日、24人(J:COMコール田無)</p> <p>第3回：令和7年2月1日、24人(田無第二庁舎)第4回：令和7年2月8日、21人(田無第二庁舎)</p> <p>・留学生ホームビジット：令和6年6月23日、留学生39人、受入家庭27組(田無庁舎、田無第二庁舎)</p> <p>・外国から来た保護者のための小学校入学前説明会：令和6年9月7日、7人(オンライン)</p> <p>令和7年1月15日、7人(オンライン)</p> <p>・西東京市日本語スピーチコンテスト2024：令和6年10月6日、発表者10人、観覧者128人(J:COMコール田無)</p> <p>・多言語で楽しく！：令和7年3月29日、10人(南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」)</p>	共生社会の実現	留学生ホームビジットでは近隣の大学に留学生の参加を呼びかけ、西東京市日本語スピーチコンテスト2024では、武蔵野大学に協力を仰ぐなど、大学を巻き込んだ文化芸術活動の促進をした。	各行事、前年度の参加者人数を踏まえ、市SNSでの発信を複数行ったり、庁内掲示板を利用するなど工夫した。
3	高齢者大学	高齢者支援課		令和6年6月19日(水) ほか16回	老人福祉センター・住吉老人福祉センター	高齢者の生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かにするとともに、生き生きとした高齢者社会の実現を目指します。	市内に居住する60歳以上の高齢者	397人	<p>市報</p> <p>ホームページ</p>	事業は、西東京市社会福祉協議会への委託事業として実施している。令和6年度のテーマを生活、芸能、考古学、歴史、動物、福祉、健康、防災、音楽、国際、演芸と設定し各テーマに講師を招聘し、1時間45分の講義を実施している。	地域の活性化	芸能、音楽、演芸、動物をテーマとした講座では、能の世界をする講座、音楽療法士による音楽の持つ力、マンドリン倶楽部によるコンサート、落語などが開催され多様な関係機関からの参画による講座を実施した。	<p>・定員30人に対し78人の応募があり、受講いただけない方が多数出ている。会場の定員を増やすなど一定の改善を図った。</p> <p>・応募者は、毎年度リピーターが多く、仲間同士で応募する例が散見され、受講決定に苦慮しているが、新規応募の方を優先とするなど、受講機会の均等化に努めている。</p>

4	食育推進事業	健康課		原画展実施期間： 令和6年12月10日か ら令和7年1月10日	防災・保谷 保健福祉総 合センター	野菜たっぷりカレンダーの作成・野菜たっ ぷりカレンダーイラスト原画展の実施を通して 園児・児童へ食育推進を行う。	公立保育園 児・公立小 学校児童	320 人	市報 ホームページ チラシ	保育園児及び小学生から「やさい」をテーマとしたイラストを募集し、入選作品12点を掲載した野菜たっぷりカレンダーを作成した。また応募作品320点の中から一次選考を通過した78点に関して、防災・保谷保健福祉総合センター4階にて「野菜たっぷりカレンダーイラスト原画展」を行った。	地域の活性化	学務課・保育園・小学校と連携した事業を行うことで、関係機関と共に文化芸術活動の促進ができた。市内公共機関へのカレンダー掲示、市内でのイラスト原画展の実施を行ったことで地域の活性化に貢献した。	今後も継続して保育園及び小学校と連携し、食育を進める。
5	まちなか先生	地域学習推進課		令和6年9月12日ほか 12回	市内各学校	学芸員、司書、公民館を拠点とする団体などが「まちなか先生」として、学校の授業やイベントに協力している。地域全体で子どもたちの成長をサポートし、学校を核とした地域づくりを目的とする。	西東京市立 小中学校の 児童・生徒	-	市内各校に直接連絡	①「したのやいせき」のどんぐりアート：R6. 10/17・11/6・11/28 3校 ②やってみよう！考えよう！縄文時代と下野谷遺跡：R 6. 11/22 1校 ③民具に触れて 昔の暮らしを考える：R6. 9/12・11/13・12/4・R7. 1/14・2/21 5校 ④縄文のムラ 下野谷遺跡を知ろう！：R6. 11/15・12/23・R7. 1/21・2/14 4校 合計13校（重複含む）	地域の活性化	図書館・公民館・社会教育課それぞれの強みを生かして、幅広い分野での授業を実施するとともに、地域の多様な魅力を伝えることで地域への愛着の増進につながった。	・児童・生徒の学習ニーズに合った柔軟な対応が可能となるよう内容を充実させることを目指し、講座ごとに従来以上に丁寧に学校と連絡調整を図りながら、計画的な実施を進めた。また、講師となる地域人材の発掘や養成が引き続き課題である。
6	スポーツ関連事業	スポーツ振興課		①令和6年4月28日 (日)ほか 10回 ②-1令和6年5月11日 (土) ②-2令和7年1月5日 (日) ③令和6年12月8日 (日)	①スポーツセンター、きらっと川駅→玉川上水緑道→残堀川歩道→昭和記念公園 ②-2鶯谷駅→下谷七福神（神社、寺等）→東盛公園 ③J.COM コール田無	①ENJOYニュースポーツ：老若男女、障害の有無に関わらず、レクリエーションスポーツからパラリンピック正式種目までスポーツが体験できる機会を提供し、参加者の交流、健康増進を目的とする。 ②ウォーキング事業：ウォーキングを通して、参加者同士交流を図りながら、市民の健康と体力づくりを目的とする。 ③多摩六都フェアバラアート展覧会でのスポーツ体験：会場に来られた方にスポーツ（モルック）を体験してもらいスポーツへの理解促進と普及啓発を目的とする。	①市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ②市内在住・在勤・在学の小学生以上の方 ③来場者ならどなたでも	①360 ②-1：20 ②-2：58 ③16	市報 ホームページ チラシ	①②③の事業は、いずれも様々なスポーツ・運動を定期的に実施することで、参加者との交流を図りつつ、健康づくりやスポーツを実施する機会をつくる。	心身の健康	スポーツ推進委員に協力してもらい、ウォーキングを通じて、神社やお寺等、文化財等に触れる機会を提供することができた。	各種事業については、継続的に参加してもらおう、スポーツ推進委員や体育協会等と連携を図り内容を検討して事業を実施している。また、参加された事業だけではなく、他の事業についてもチラシの配布や市報等でご案内するなど、生涯スポーツの推進を目指してスポーツの理解促進及び普及啓発に努めている。一方で、事業に参加される方々が同じ傾向にあるため、これまで事業に参加されたことがない方でも参加しやすく楽しめる事業を検討する必要がある。あわせて多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法についても検討する必要がある。
7	NPO市民フェスティバル	協働コミュニケーション課		令和7年2月15日 (土)ほか	ONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザ	市内で活動するNPO等の市民活動団体が一堂に会し、発表・交流を行う、イベントを市民から公募した実行委員会と市民協働推進センターゆめこらほの共催で行う。	市民、市民活動団体	800 人	市報 ホームページ SNS チラシ	・パネル展 2月10日～14日 田無庁舎ロビー 34団体参加 内容：各団体の日頃の活動成果についてパネルにて展示 ・対面イベント 2月15日 ONEFORALL西東京地域交流スペース・西東京市民文化プラザ 内容：基調講演、各団体による物販、ワークショップ、ステージ発表等	地域の活性化	新しく開館した会場を利用したことで、各団体にとって施設や関係機関との連携につながった。	会場にあえて、開設したばかりのONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザを選び、施設を管理する法人や指定管理者と、施設を今後使うことになる市民活動団体をつなげることで、今回のイベント後に当該施設を利用した例や、地域交流スペースの活用につながったケースがあった。また、基調講演に著名な作家をお呼びするとともに、子ども向けのチラシを別途作成し、キッチンカーや物販、施設管理者の独自企画など、単なる市民活動の紹介だけに留まらない、一般市民や子どもも参加しやすいイベントにして、集客を図った。課題としては、関係者以外の広く市民に感心を持ってもらうことで、イベントについてはある程度の成果があったが、パネル展については場所も含めてもっと多くの方に見ていただくにはどうすれば良い考える必要がある。
8	文化財普及事業	地域学習推進課		令和6年4月19日ほか 4回	郷土資料室ほか	文化財の保存・活用を推進し、文化財の魅力を発信により、地域活性化や文化振興に貢献。市が主催・共催となって文化財を活用するほか、石仏など、文化財の所有者に管理をお願いしつつ、市民に公開していただくことで文化財を確実に保存し、広く普及することが目的。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	①名勝小金井サクラ「桜樹接種碑」解説会 R6.4/19 ②下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活 R6.4/20～11/24 ③土器と生け花 R6. 11/20～11/24 ④秋の屋敷林企画 保谷のアイ R6. 11/3 ⑤”和紙わらべ人形”で伝えたい 昭和の子どもの暮らし R7. 1/30～3/16 ⑥市指定文化財36件を所有者・管理者に管理を依頼しており、管理報告書の確認と謝金の支払い。また、新たに指定文化財のバトロールを開始した。 ⑦炭化石造物の3D撮影による記録保存。	地域への愛着	名勝小金井（サクラ）や屋敷林の魅力を伝える企画事業を実施することで、みどり環境を含めた文化財普及を行うことで、地域に対する愛着や理解を進めた。	文化財の保存・継承に関しては、所有者・保持者の高齢化、無形文化財の後継者の不足が課題となっている。活用事業の充実などを通して、価値と魅力を広く周知することが大切であるため、サクラの解説会や、生け花を絡めた展示などを行っている。

9	郷土資料室での文化財の収集、保管、展示	地域学習推進課		令和6年7月20日ほか6回	郷土資料室	市内の郷土資料（考古資料・歴史資料・民具・民俗資料）を収集・保管・保存・展示することで、文化財の保存・活用を実施する。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	①トレジャーハンター 歴史の宝ものさがし：R6. 7/20～9/1 ②自由研究応援ウィーク：R6. 6/23～8/25 ③下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④石物語：R6. 11/1～11/24 ⑤土器と生け花：R6. 11/20～11/24 ⑥文化財が語る 西東京市の江戸時代：R6. 11/24 ⑦”和紙わらべ人形”で伝えたい～昭和の子どものくらし～：R7. 1/30～3/16 その他、市民からの申し出を受けて民具等を収集し、新資料としてデータベース化した。	地域の活性化	スマホと黒電話といった、現代との違いと繋がりを意識させるなど、様々な分野に対して興味を持たせた。	現在の郷土資料室は、「博物館」設置にいたる暫定的な施設との位置付けにあり、学芸員体制の不備、収納スペースの不足、収納環境の不備などの課題に加え、交通アクセスが悪い点なども課題となっている。新たな分野の講座や大学との連携など、見学者の興味、関心をよりひくような事業展開が必要。 収納環境とともに見学の環境もより良好にしていける事も必要。
10	ともに生きるまちづくりフェス	地域共生課		令和6年11月16日（土）	防災センター保谷保健福祉総合センター、タクトホームこもれびGRAFAREホール	・第5期地域福祉計画に掲げる6つの基本目標に沿った取組の紹介や体験等をおし、地域共生社会の浸透を図る ・地域福祉計画にて掲げる重点的な課題、基本目標、成年後見制度及び再犯防止、重層的支援体制整備事業、地域福祉計画及び関連計画に掲げる課題に対する取組の普及・啓発	制限なし	243 人	市報 ホームページ SNS チラシ	・第5期地域福祉計画に掲げる6つの基本目標を基とした各種取組の普及啓発（体験型イベント（消火体験、スポーツ体験等）、出張相談窓口、地域団体の出店、関係者の講演等） ・講演会：テーマ「健やかな毎日を送るために～こどもの心と体を支える睡眠～」	共生社会の実現	イベントを開催し、地域共生社会の考え方について、講演会や体験型イベントを通じた紹介を行うことで、地域共生社会の実現、地域の活性化に寄与した。	・様々な開催方法、場所での開催を検討する。 ・参加者に対してアンケートを実施することで、ニーズを把握することができたとともに、次期地域福祉計画策定に向けても課題を明らかにすることができた。引き続き、各事業ごとにアンケートを実施し、多様なニーズ把握することに努め、ニーズを生かした事業を検討する。
11	障害者週間等事業	障害福祉課		令和6年12月6日（金） 令和6年12月8日（日）	アスタ西東京 2階センターコートJ：COM コール田無	概要：事業所・福祉団体等の活動内容や通所者の自主製作品の展示・販売 目的：市民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とする。 概要：競技用の車椅子やポッチャ、義足等の体験会の実施 目的：市民の間に障害や障害者についての関心を深めるとともに、バラスポーツ周知や障害理解の促進を図ることを目的とする。	市民、当事者、支援者等	12/6:100 12/8:32 人	ホームページ SNS チラシ	12月3日から9日の障害者週間に、【市内障害者団体等による手作り品販売・作業展示等】及び【バラスポーツ及び障害を体験する事業】を実施する。	地域の活性化	12/8に実施したバラスポーツ体験・障害疑似体験イベントでは同会場でスポーツ振興課がポッチャの体験会を行った。 また、同日別会場で文化振興課のバラアートの表彰式が行われており、関係機関と連携しながら障害者スポーツの楽しさや障害者の理解を深めるイベントを開催することができたため。	12/6【手作り品販売・作業展示等】 ・参加を希望する団体や事業所が増える中で、活動内容の展示をパネルだけでなく販売する机で直接行うことで、スペースの確保と購入者に対して直接活動内容を知ってもらう機会を作ることができた。 ・今後も参加を規模する事業者が増える場合は、2日に分けるなどの試みが必要になる。より多くの事業所・団体が活動内容の展示や、手作り品の販売を行えるように、さらなる機会の充実を図る。 12/8【バラスポーツ体験・障害疑似体験イベント】 ・活躍されているパラアスリートの方をお呼びすることで、よりバラスポーツの魅力を感じていただける機会を作ることができた。 ・より多くの市民の方に参加いただくために、イベントの周知方法を改善していく。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表

基本方針3 文化芸術の力を地域や社会の中で活かす・つなげる													
施策4 近隣市や姉妹都市・友好都市との交流													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	都市間交流事業	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和7年3月20日 (木・祝)	オンライン (Zoom)	西東京市の参加者の北杜市への興味・関心を高め、都市間の交流の発展に寄与することを目的に西東京市の友好都市である山梨県北杜市とともにワークショップを実施した。	市内在住・在勤・在学の小学1年生以上	定員：20 実績：21 応募：428	市報	北杜市から産出される水晶（石英）を用いて、オンライン（Zoom）で水晶アクセサリー（ネックレス）を作る。	地域への愛着	友好都市である山梨県北杜市と交流事業を実施することで、多くの子どもが参加し、西東京市及び友好都市への興味・関心を高める機会につながり、地域への愛着向上に寄与した。	姉妹都市・友好都市と交流事業を実施するにあたり、限られた特産等を用いて実施しなければならないため、内容の検討に課題がある。庁内各課長が集って行う西東京市都市間交流検討会議の場等を活用し、魅力的な事業になるよう内容を検討する。
			ホームページ										
			SNS チラシ										
2	多摩5美術展	文化振興課	1-1誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年11月23日 (土)から29日(金)まで	西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」	①圏域5市を代表する著名な画家の作品を、圏域住民に鑑賞いただくことにより、市域を越えた芸術家及び市民の交流を図るとともに、圏域内における文化芸術の普及と還元を図る。 ②キットパスを活用した文化芸術事業を通じて、市民の誰もが身近に文化芸術に親しめるよう鑑賞・体験機会の充実を図るとともに、圏域5市の広域的交流を促進し、文化芸術の更なる振興を図る。 ③圏域5市で活動する作家の方たちが描いた作品を選び、同じ地域の鑑賞者（圏域5市の市民）と対話型鑑賞をして作品を身近に感じてもらいながら他者との見え方の違いに気づけたり、様々な意見を肯定的に受け入れることで新たな発見をするような体験をしてもらう。アートみーるのことも知ってもらえる機会となる。	①小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の美術家 ②圏域5市（西東京市、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市）に在住、在学、在勤の小学4年生以上の方 ③多摩5美術展来場者	定員：①③なし ②15 実績：①936 ②9 ③12 応募：①③なし ②15	市報	①多摩5美術展 ②多摩5美術展ワークショップ「キットパスを使って会場のガラスを彩ろう！」 ③「対話による美術鑑賞」事業体験会	地域の活性化	圏域5市を代表する著名な画家の作品を圏域住民に鑑賞いただくことで、市をまたいだ文化芸術によるつながりが生まれ、地域の活性化に寄与した。	新たな出品者や来場者を取り込むことが課題として挙がっているため、関連事業を実施することで、新たな出品者や来場者の掘り起こしにつながった。
			ホームページ										
			SNS チラシ										
3	東京多摩公立文化施設協議会	文化振興課	2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実	令和6年5月17日 (金)ほか5回	東京自治会館、くにたち市民芸術小ホール、彩の国さいたま芸術劇場、たましんR1SU Rホール	東京都多摩地区の公立文化施設により構成される協議会で、相互に調査研究及び情報交換を行うことにより、その機能を高め合い、もって地域文化の進捗に資することを目的としている。	公立文化施設	-		<研究会>…事業部門、管理部門それぞれ調査研究の実施。 【講演会】「様々なバックグラウンドを持つ子どもたちとアーティストとの出会い ～ワークショップを通じて社会課題と向き合う～」 【施設見学】彩の国さいたま芸術劇場<多摩フレッシュ音楽コンサート2024>…平成5年から実施してきた「多摩フレッシュ音楽コンクール」を前身とし、コンクールの要素を取り入れた新人コンサートとして「多摩フレッシュ音楽コンサート」を開催している。令和4年度よりピアノ部門・声楽部門をそれぞれ各年で実施。令和6年度はピアノ部門のコンサートを7月11日（木）に開催し、最優秀賞・優秀賞を選出し表彰した。	地域の活性化	近隣自治体の各文化施設で行われている事業や施設の利用、管理に関する情報共有、意見交換を行うことができ、今後の施設運営、管理の参考とすることができた。	協議会を構成する各施設の実施事業、施設の利用、管理に関する情報共有について、引き続き行う。施設見学については、施設規模や築年数に応じ必要となる改修工事の種別などを考慮しながら偏りのないよう選定しており、引き続きそのような観点から選定を行う。
4	文化芸術施策担当実務者連絡会	文化振興課	2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実	令和6年5月29日 (水)ほか1回	小平市役所	多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の実務者が、多摩北部都市広域行政圏協議会文化芸術施策担当実務者連絡会を設置し、圏域5市の文化芸術に関わる施策及び共同事業である多摩六都フェア（文化事業）における相互協力を促進することにより、圏域市民の文化芸術活動及び文化芸術を通じた交流の場を拡大し、文化芸術の普及、向上、推進に寄与することを目的とする。	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の実務者	26人		【第1回】令和6年5月29日（水） 議題1 多摩北部5市美術家展の課題と対応策について 議題2 その他 【第2回】令和7年1月27日（月） 議題1 第37回多摩5美術展の実績報告について 議題2 意見交換について 議題3 その他	地域の活性化	多摩北部都市広域行政圏協議会文化芸術施策担当実務者連絡会を開催し、圏域5市の文化芸術に関わる施策及び共同事業である多摩六都フェア（文化事業）における相互協力を促進することにより、5市における地域の活性化に寄与した。	多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の共通課題であった多摩5美術展に関する課題をまとめ、整理することができた。今後も圏域5市の文化芸術に関わる施策及び共同事業である多摩六都フェア（文化事業）における相互協力を促進する。

5	多文化共生施策担当意見交換会	文化振興課	2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実	令和6年5月24日(金)ほか1回	オンライン 保谷庁舎	多摩北部広域5市が各市の多文化共生施策の状況や課題を共有する。	多摩北部広域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)、多摩北部広域行政圏事務局	20人		・第1回：令和6年5月24日、8人(オンライン) ・第2回：令和7年1月30日、12人(保谷庁舎)	共生社会の実現	意見交換会を全2回開催し、各市の状況を把握することができた。	前年度から各市の意向を調査するなど情報整理を行ってきたが、実務者連絡会への引き上げや、既存の他会議体とのありかたについて引き続き整理をする必要がある。
6	スポーツ施設の相互利用	スポーツ振興課	2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実	通年	各スポーツ施設	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の多摩六都構成市で、個人開放に限り、屋内スポーツ施設の相互利用を行うことを目的としている。	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の在住・在勤・在学の方	-	たまろくナビ	トレーニング室、プール等、個人開放で利用する場合は、市民と同じように利用できる。 (西東京市民と同じように利用できる施設は個人開放で利用できる屋内スポーツ施設に限る)	地域の活性化	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の多摩六都構成市のスポーツ施設を開放することで、スポーツ施設のみならず、近隣市の文化財等も触れる機会に寄与している。	多摩六都構成市で、個人開放に限り、屋内スポーツ施設の相互利用ができることを多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法について検討する必要がある。

以下再掲

1	多摩六都フェア パラアート制作 ワークショップ 及びパラアート 展覧会	文化振興課		8月24日(土)ほか30日	障害者総合支援センター「フレンドリー」ほか	【事業概要】多摩北部都市広域行政圏協議会(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)(以下「圏域5市」という。)の市民の内、在住・在学している中学生以上18歳以下で、障害のある方を対象として希望者を募集し、専門講師のもとでオリエンテーションを含む講習会を行い、パラアートを制作し、作品完成後に、圏域5市を順番に回り、展覧会を実施する。 作品の展覧会については、圏域5市に在住・在勤・在学している障害のある方からも広く募集し、展示する。また、展覧会にて展示した作品の中から表彰する作品を選考し、表彰式を開催する。 【目的】障害の有無にかかわらず、文化芸術に触れ、創造する環境づくりを促進するため、圏域市民が相互に交流しながら作品の制作や展覧会の実施などに取り組み、多摩北部地域の振興を図ることを目的とする。	①圏域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)に在住・在学の中・高校生以上18歳以下で、障害のある方 ②圏域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)に在住・在勤・在学で、身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、または発達障害、難病などがある方 ③パラアート制作ワークショップ受講生、パラアート展覧会優秀作品受賞者	定員： ①10 ②③なし 実績： ①10 ②722 ③45 応募： ①10 ②③なし	市報 ホームページ SNS チラシ 圏域4市ホームページ	①パラアート制作ワークショップ：8月24日(土)～9月14日(土)の土曜日4回、障害者総合支援センター「フレンドリー」 ②パラアート展覧会：10月16日(水)～12月8日(日)の27日間、清瀬市郷土博物館、東久留米市立東部地域センター、小平市中央公民館、東村山市立中央公民館、J.COMコール田無 ③表彰式：12月8日(日)、J.COMコール田無	地域の活性化	広報紙やSNS等、世代ごとに適した有効な手法による情報発信をすることで、多くの市民が文化芸術に関する情報に触れ、参加することにつながり、文化芸術によるつながりが生まれ、地域の活性化に寄与した。	・パラアート制作ワークショップ受講生の申込者数が定員と同数であるなど、さらに効果的な広報が必要であるため、チラシ等の配布先や市ホームページ・SNSの掲載方法等について検討していく。 ・パラアート制作ワークショップ パラアート展覧会・表彰式の実施内容については、これまでの実施内容を振り返り、新たな内容を盛り込んでいく等見直す必要があるため、委託事業者から意見をもらいながら検討していく。
2	史跡下野谷遺跡保存・活用事業	地域学習推進課		令和6年5月21日ほか	下野谷遺跡を中心とした市内全域	社会状況の変化や価値観の多様化により文化財を保護することが困難になりつつある中で、下野谷遺跡をはじめとした市内の歴史文化を広く周知し、後世に保存継承すること、また、その価値と魅力をまちづくりや人づくりに生かすことを目的とする。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	保存：追加指定1件・史跡地の公有地化3件 活用：①第14回縄文のムラで春風と遊ぼう！ R6.5/21 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③展示 下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④近隣市との共催によるスタンプラリー-R6.7/20～R7.1/31 その他学校教育や生涯学習での活用(団体見学や、探究学習の資料として) 整備：史跡地の復元展示物に説明看板を設置した。	地域の活性化	北多摩地域で縄文時代の史跡や重要文化財を有する市と連携して事業を行うことで広い範囲に下野谷遺跡と地域の魅力を発信し、地域の活性化に寄与した。	竪穴住居などの展示物をふくむ整備地の防犯面も含めた管理と、出土品の展示等も求める市民要望があり、下野谷遺跡整備地のガイド機能の強化が課題である。令和7年度は下野谷遺跡エントランスにモニター設置を行い、来訪者に遺跡の価値と魅力を伝えられるよう取り組む。